

名
称

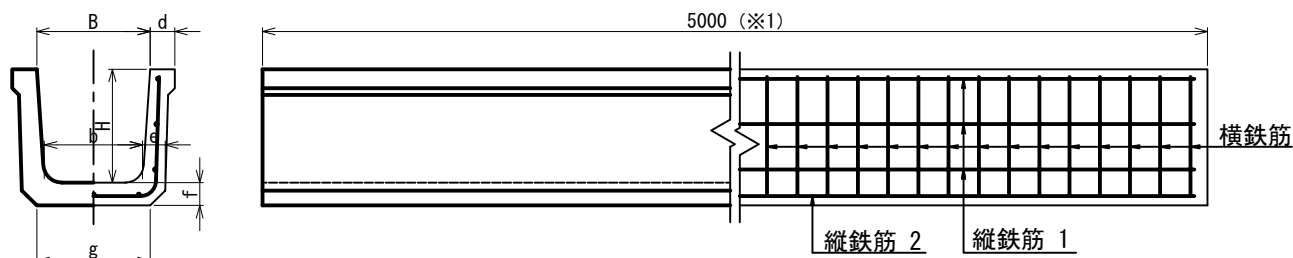
U型溝

標準設計番号

共－ I － 1

工種記号

PU



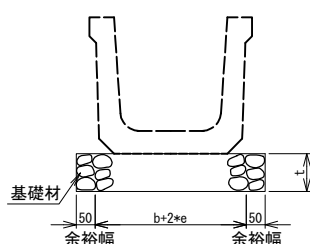
項目 呼び名	寸 法 (mm)							鉄 筋						参 考 質 量 (kg)
	B	H	b	d	e	f	g	縦鉄筋1		縦鉄筋2		横鉄筋		
								径	本数	径	本数	径	本数	
300	300	300	260	65	60	60	300	3.2	3×2	6.0	4	4.0	40	660
450	450	450	400	75	70	70	430	4.0	4×2	6.0	4	5.0	65	1120
600	600	600	540	90	80	80	600	D6	5×2	6.0	5	D6	65	1740
許容差	±2		±3	±2	±3		—	—						—

※1 許容差は±6とする。

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 側溝間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている。

参考図表

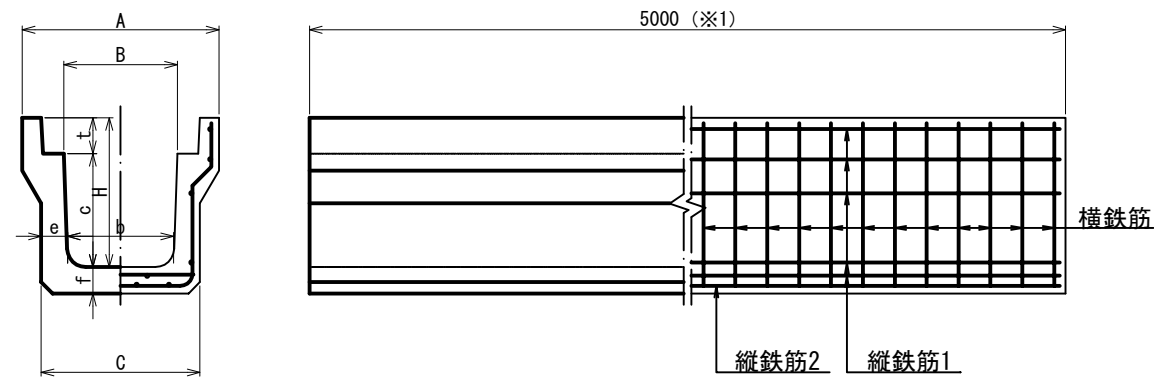


参考数量 延長1m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
300	50	100	0.048
450			0.064
600			0.080

名 称	道路用側溝	標準設計番号	共－ I － 3 共－ I － 5
		工種記号	PUT CT

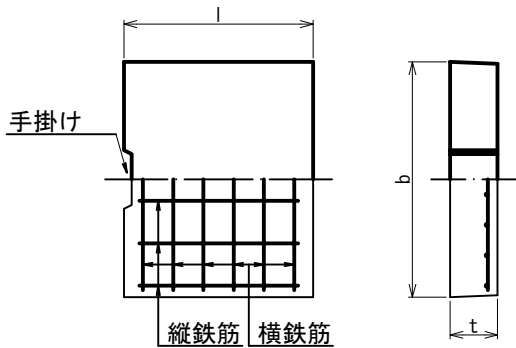
車道用



項目 呼び名	寸 法 (mm)									横 鉄 筋				縦 鉄 筋				参 考 質 量 (kg)	
	A	B	C	H	b	c	e	f	t	外 側		底版内側		縦鉄筋1		縦鉄筋2			
										径	本数	径	本数	径	本数	径	本数		
300	520	300	420	395	280	300	70	70	95	5.0	60	5.0	60	4.0	10	6.0	5	960	
400	630	400	510	510	370	400	70	70	110	D6	59	D6	30	4.0	13	6.0	5	1230	
500	750	500	620	625	460	500	80	80	125	D6	59	D6	30	4.0	15	6.0	5	1670	
許容差	±3									－									－

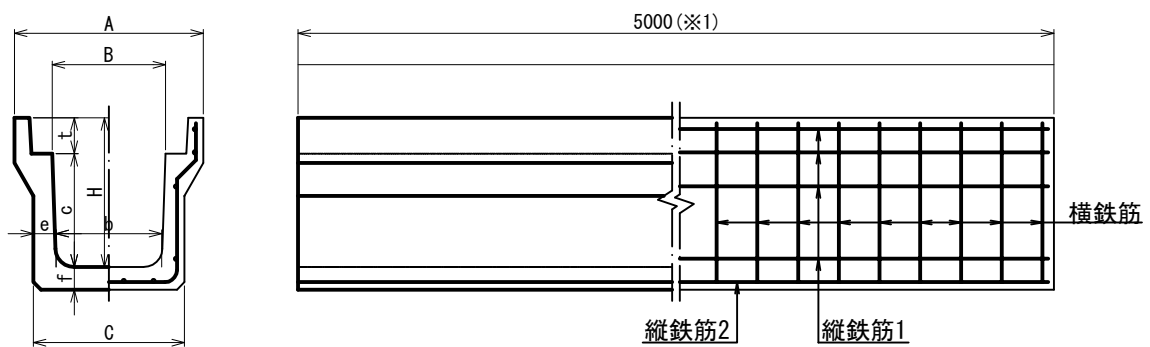
※1 許容差は±6とする。

C型



項目 呼び名	寸 法 (mm)			鉄 筋				参 考 質 量 (kg)
	b	t	l	横 鉄 筋		縦 鉄 筋		
				径	本数	径	本数	
250	362	90	500	D6	6	4.0	3	36
300	412	95	500	D10	4	D6(6.0)	4	43
400	512	110	500	D10	5	D6(6.0)	5	63
500	622	125	500	D10	6	D6(6.0)	6	87
許容差	±3			—				—

歩道用



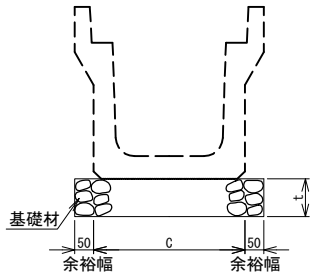
項目 呼び名	寸 法 (mm)									鉄 筋						参 考 質 量 (kg)
	A	B	C	H	b	c	e	f	t	横鉄筋		縦鉄筋1		縦鉄筋2		
										径	本数	径	本数	径	本数	
250	450	250	340	340	230	250	55	55	90	4.0	25	4.0	4×2	6.0	4	684
300	500	300	400	395	280	300	60	60	95	4.0	25	4.0	4×2	6.0	4	830
400	600	400	500	510	370	400	65	65	110	5.0	25	4.0	5×2	6.0	4	1090
500	720	500	600	625	460	500	70	70	125	5.0	25	4.0	6×2	6.0	4	1420
許容差	±3									—						—

※1 許容差は±6とする。

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 断面寸法は JIS 5372 による。
- ・ 側溝間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている。
- ・ 手掛けは省くことが出来る。

参考図表



参考数量		延長1m当り		
項目 呼び名		基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m³)
車 道 用	300	50	100	0.052
	400			0.061
	500			0.072
歩 道 用	250	50	100	0.044
	300			0.050
	400			0.060
	500			0.070

名
称

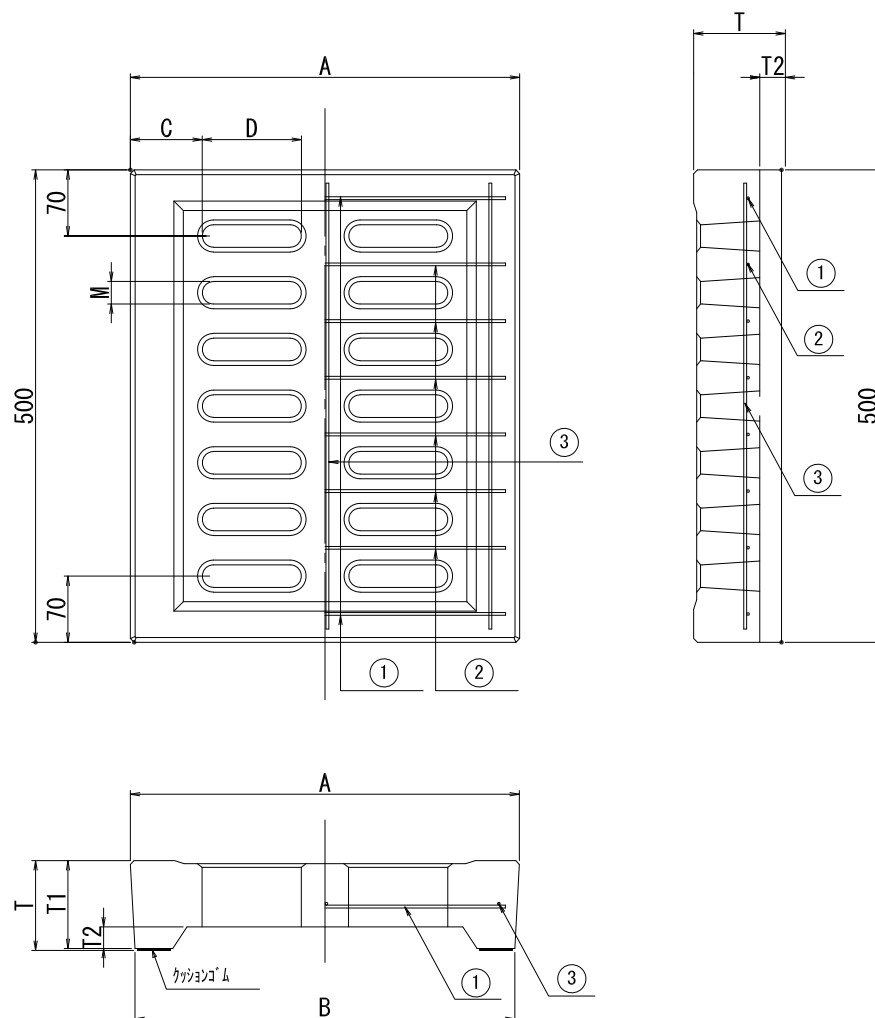
道路用側溝ふた

標準設計番号

共－I－5

工種記号

CGT



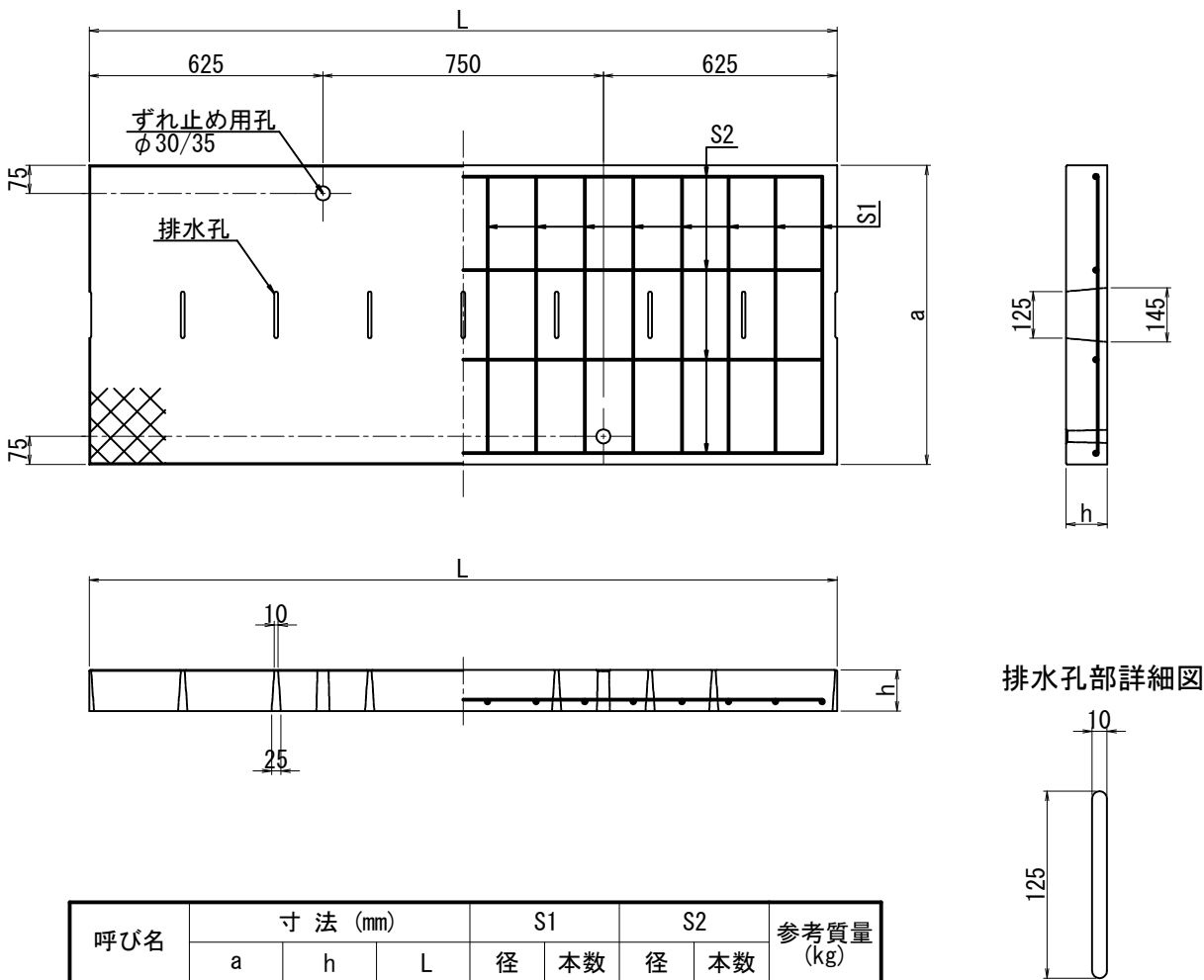
呼び名	寸 法 (mm)								①		②		③		参考質量 (kg)
	A	B	C	D	M	T	T1	T2	径	本数	径	本数	径	本数	
250	362	352	76	80	24	90	88	23	D10	8	－	－	D10	3	27
250(細目)	362	352	76	80	10	90	88	23	D10	2	D 6	8	D10	3	28
300	412	402	76	105	24	95	98	23	D10	8	－	－	D10	3	31
300(細目)	412	402	65	116	10	95	98	30	D10	10	－	－	D10	3	31
400	512	502	86	145	20	110	108	23	D13	8	－	－	D10	3	46
500	622	612	75	211	20	125	123	33	D13	8	－	－	D10	3	53
許容差	±3		－			±2	－	－	－						

特記事項

- ・ $\sigma_{ck}=45\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295とする。
- ・ 歩道用製品もある。
- ・ 長さ寸法L=500の許容差は±3mmとする。
- ・ 蓋かかり部分に騒音対策としてゴムなどのクッション材を用いる。

名 称	側溝再生用蓋	標準設計番号	－
		工種記号	－

I 型

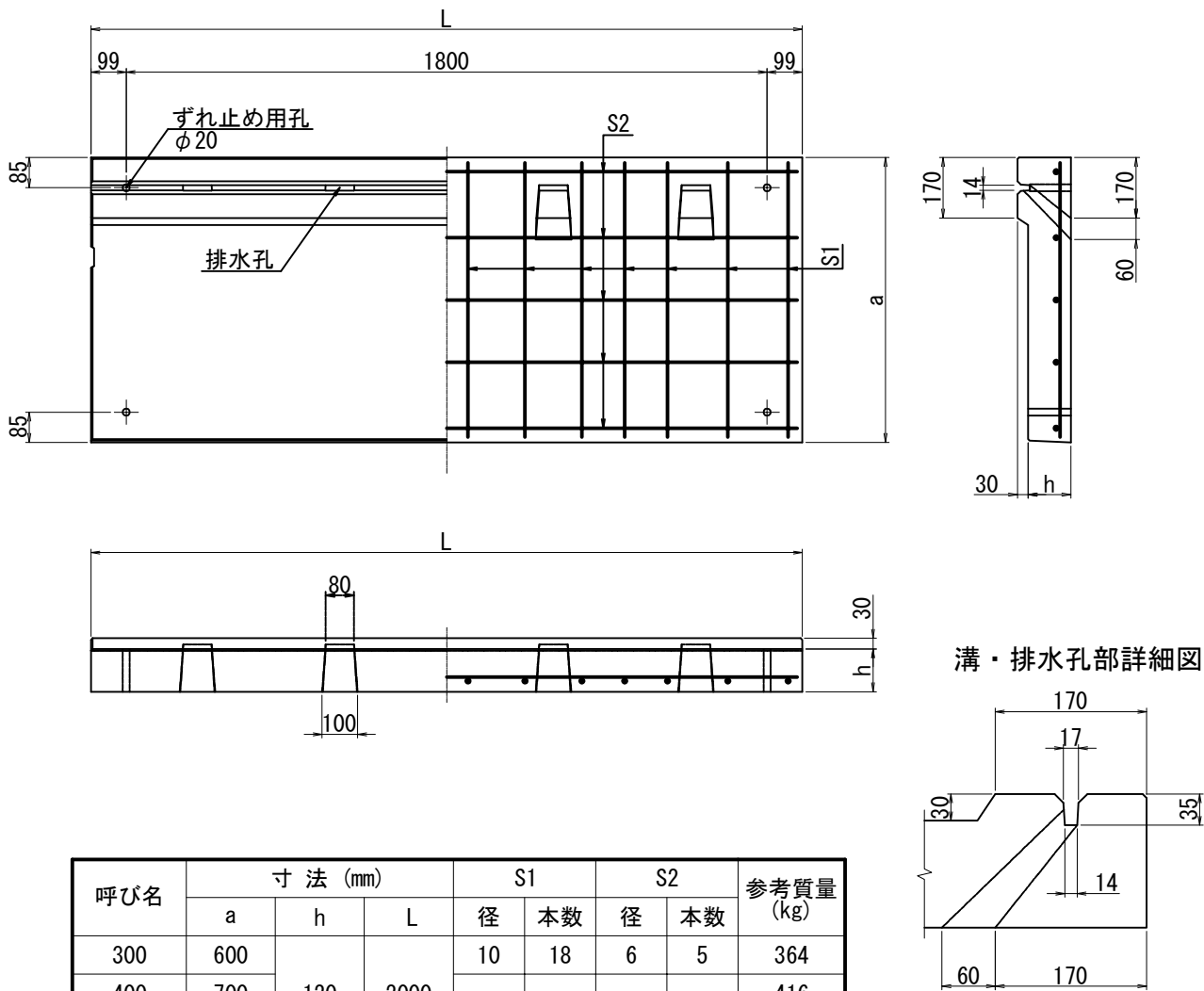


呼び名	寸 法 (mm)			S1		S2		参考質量 (kg)
	a	h	L	径	本数	径	本数	
300	600	100	2000	10	16	10	4	281
400	700							328
500	800	110						411
600	900	130				10	6	546
700	1000	150						720
許容差	±3		±6	—				—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。
- ・ 上記標準タイプの他に、管理孔グレーチング付き、乗入れ横断用、製品長1m、0.5m、歩道用の製品もある。

II 型

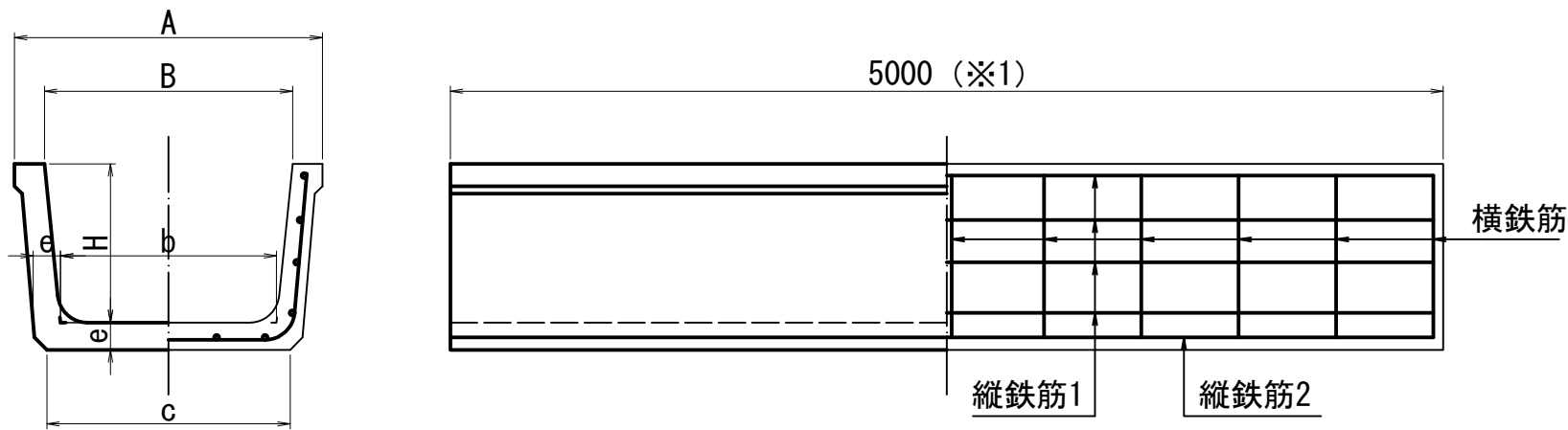


呼び名	寸 法 (mm)			S1		S2		参考質量 (kg)
	a	h	L	径	本数	径	本数	
300	600	120	2000	10	18	6	5	364
400	700			13	14	10	5	416
500	800			13	14	10	5	473
600	900	150	1000	13	8	10	5	334
700	1000					10	6	370
800	1100					10	6	406
900	1200					10	7	442
1000	1300					10	7	478
許容差	±3		±6	－				－

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。
- ・ 蓋上にアスファルトを舗設し、暗渠構造とする。
- ・ 縦断および乗入れ横断に適用する。
- ・ 上記標準タイプの他に、横断用、製品長1mの製品もある。

名 称	ベンチフリューム	標準設計番号	共－ I －6
		工種記号	BF



項目 呼び名		寸 法 (mm)						鉄 筋						参考 質量 (kg)
								縦鉄筋1		縦鉄筋2		横鉄筋		
		A	B	H	b	c	e	径	本数	径	本数	径	本数	
Ⅰ 型	300	380	300	200	260	300	40	3. 2	3×2	6	3	3. 2	50	343
	400	510	400	260	345	395	50	4	3×2	6	4	4	50	571
	500	620	500	320	435	490	55	5	4×2	6	4	4	55	770
	600	690	600	380	520	580	60	5	4×2	6	4	5	50	943
	800	900	800	490	695	770	75	5	4×2	6	5	6	50	1490
	1000	1110	1000	600	875	965	90	5	4×2	6	6	6	60	2180
Ⅱ 型	300	390	300	300	260	300	45	3. 2	3×2	6	3	4	45	490
	400	500	400	400	340	400	50	4	4×2	6	3	5	45	718
	500	610	500	500	430	500	60	5	5×2	6	4	6	40	1050
	600	730	600	600	520	600	70	5	5×2	6	4	6	50	1450
	800	950	800	800	690	800	90	6	6×2	6	5	9	35	2430
	1000	1190	1000	1000	870	1000	110	6	7×2	6	6	9	45	3760
許 容 差	300	—	±3	±2	±3	—	±2	—						—
	400- 500	—	±5	±3	±5	—	+3, -2							
	600-1000	—	±7	±5	±7	—	+5, -2							

※1 許容差は±5とする。

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SR235 および JIS G 3532 に規定する鉄線、または SD295 とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 側溝間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている。

参考図表

項目 呼び名		参考数量 延長1m当り		
		基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
I 型	300	50	100	0.044
	400			0.055
	500			0.065
	600			0.074
	800			0.095
	1000			0.116
II 型	300	50	100	0.045
	400			0.054
	500			0.065
	600			0.076
	800			0.097
	1000			0.119

名
称

自由勾配側溝

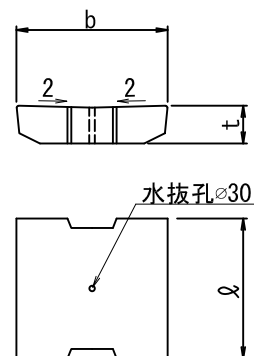
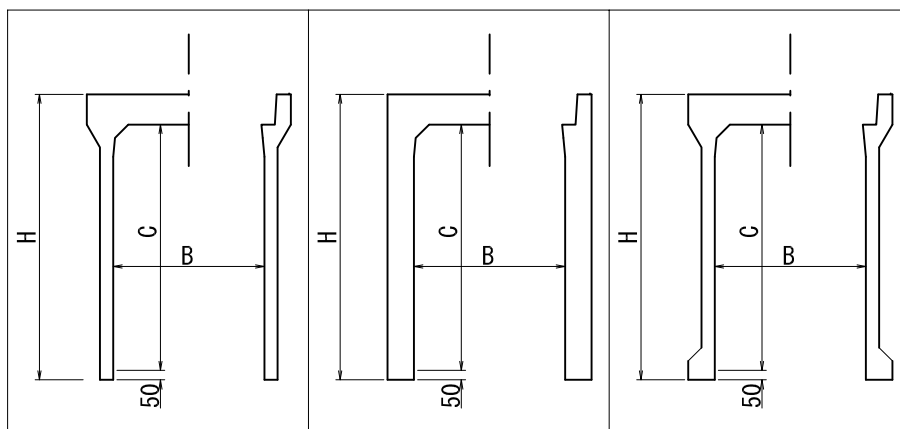
標準設計番号

共－ I － 10
共－ I － 11

工種記号

FU
C－C－T

コンクリート蓋



・図は模式図であり、形状は問わない。

項 目 呼び名	寸 法 (mm)			製品長 L
	H	B	C	
300 × 400	545	300	400	2000
× 600	745		600	
× 800	945		800	
400 × 500	660	400	500	2000
× 700	860		700	
× 900	1060		900	
500 × 600	775	500	600	2000
× 800	975		800	
× 1000	1175		1000	
600 × 700	890	600	700	2000
× 900	1090		900	
× 1100	1290		1100	
800 × 900	1110	800	900	2000
× 1100	1310		1100	
× 1300	1510		1300	
1000 × 1100	1330	1000	1100	2000
× 1300	1530		1300	
× 1500	1730		1500	

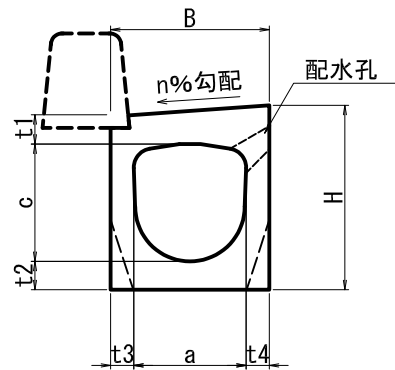
項 目 呼び名	寸 法 (mm)		
	b	t	ℓ
300	322～ 400	85～ 97	498～ 500
400	422～ 506	100～ 110	
500	532～ 606	115～ 125	
600	642～ 706	130～ 140	
800	852～ 926	150～ 160	495～ 800
1000	1052～ 1142	170～ 185	

特記事項

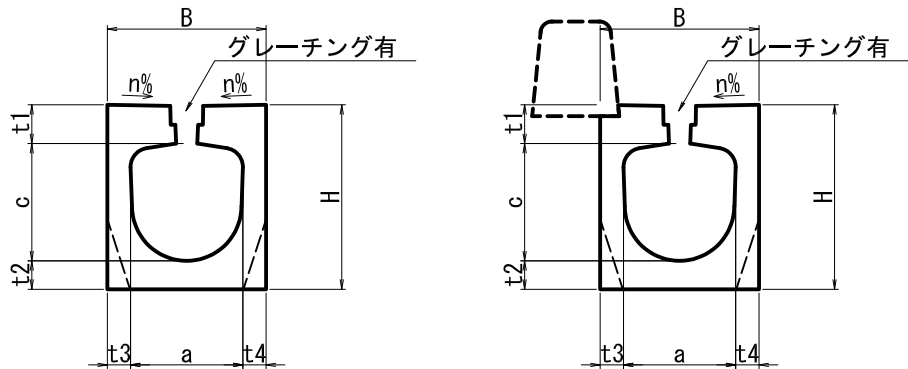
- ・詳細は、「自由勾配側溝資料集(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は SD295 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。
- ・インバートコンクリートの最小厚さは 50mm 以上とする。

名 称	函渠型側溝	標準設計番号	共－ I －12
		工種記号	PC－ I ～Ⅲ

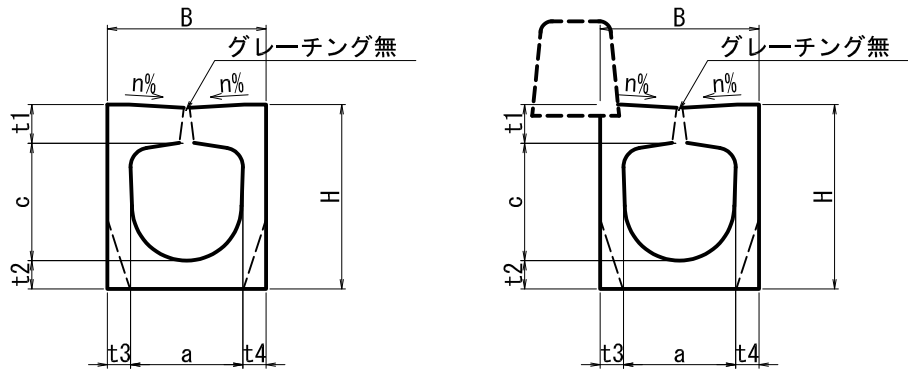
タイプ1 排水性舗装用縦断函渠



タイプ2 貫通型スリット式側溝



タイプ3 断続スリット式側溝



I 型 排水性舗装用縦断函渠

呼び名	寸 法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
I 25	420	454	250	250	90	90	85	85	2000	6	642
I 30	520	510	350	300	90	90					790
I 40	570	690	400	400	160	100					1130
I 50	690	810	500	500	170	110					1560
許容差	+5, -3	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	—	—

Ⅱ型 貫通型スリット式側溝

呼び名	寸 法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
Ⅱ 30	420	488	300	300		75	60	60	1998	2	520
Ⅱ 40	540	600	400	400		85	70	70			775
許容差	+5, -3	+5, -3	±3	±3		±3	±3	±3	±5	—	—

Ⅲ型 断続スリット式側溝

呼び名	寸 法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
Ⅲ 33	420	455	300	300	85	70	60	60	2000	6	484
Ⅲ 34		555		400							545
Ⅲ 35		655		500							605
Ⅲ 44	530	570	400	400	95	75	65	65	2000	6	700
Ⅲ 45		670		500							770
Ⅲ 46		770		600							835
許容差	+5, -3	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	—	—

Ⅳ型（トンネル用）薄肉 貫通型スリット式側溝 / 断続スリット式側溝

呼び名	寸 法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
Ⅳ 20	300	414	170	250	75	85	65	65	2000	2	403
Ⅳ 30	385	485	250	310	80	90	65	70			556
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5		—

Ⅴ型 薄肉 排水性舗装用縦断函渠 / 貫通型スリット式側溝 / 断続スリット式側溝

呼び名	寸 法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)	
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		片流れ	フラット
V 25	310	423	200	300	65	55	55	55	2000	2	343	358
V 30	360	499	250	375	65	55	55	55			437	452
V 35	420	599	300	450	70	75	60	60			582	597
V 40	470	675	350	525	70	75	60	60			671	685
V 50	580	841	450	675	80	80	65	65			988	998
V 60	700	1022	550	825	90	100	75	75			1450	1465
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	—	—	—

Ⅵ型 断続スリット式側溝

呼び名	寸 法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
Ⅵ 33	420	460	300	300	90	70	60	60	2000	2	460
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5		—

Ⅶ型 断続スリット式側溝

呼び名	寸 法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
Ⅶ 20	300	404	170	255	79	70	65	65	2000	2	350
Ⅶ 30	390	546	250	375	86	85	70	70			530
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5		—

特記事項

- ・詳細は、「函渠型側溝設計資料集(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・鉄筋は SD295 及び JIS A 3532 に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。
- ・吊り下げ孔を設けるなど施工に配慮することができる。
- ・側溝間の接合は、止水機能を有する構造。

名称

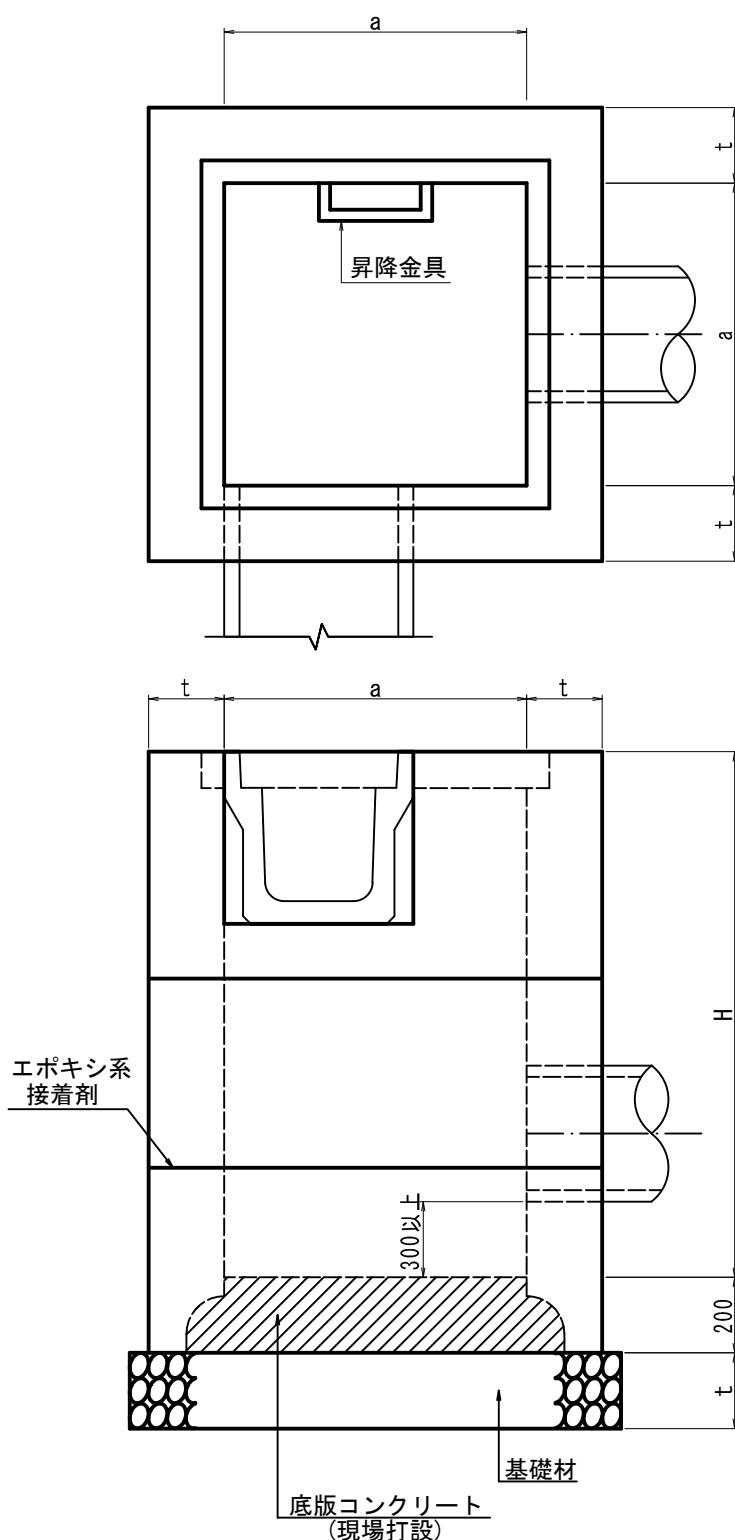
組立型集水枡

標準設計番号

共－Ⅲ－3

工種記号

Ms



呼び名	寸法 (mm)			内空積 (m³)	参考質量 (kg)
	H	t	a		
600	600	150	600	0.216	790
	800			0.288	1000
	1000			0.360	1200
800	1000	200	800	0.640	2120
	1200			0.768	2490
	1400			0.896	2860
	1600			1.024	3220
	1800			1.152	3590
1000	1400	200	1000	1.400	3430
	1600			1.600	3870
	1800			1.800	4310
	2000			2.000	4750
	2200			2.200	5190
1200	1800	200	1200	2.592	5030
	2000			2.880	5540
	2200			3.168	6060
	2400			3.456	6570
	2600			3.744	7090
許容差	±10	+8,-4	±10	—	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 枡の組合せは、エポキシ系接着剤を用いて接合する。
- ・ 1面に1箇所の流出入孔を原則とする。
- ・ 内高が1.2m以上の場合は、必要な位置に昇降金具を取り付ける。
- ・ 蓋の強度は、開孔部強度を十分考慮すること。

参考図表

参考数量

1個当り

呼び名	寸法 a+2t (mm)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m³)	底版コン クリート (m³)
600	900	50	150	0.150	0.079
800	1200			0.254	0.145
1000	1400			0.338	0.221
1200	1600			0.434	0.313

名
称

連結ボックスカルバート

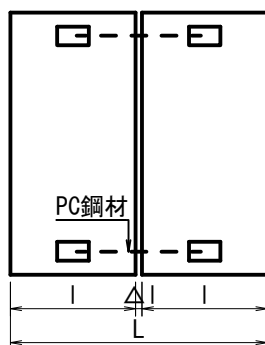
標準設計番号

共－Ⅳ－1

工種記号

RBX(P)
RBX(R)

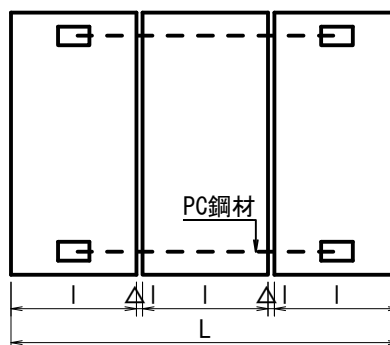
2本連結



n=2本の場合

$$L=2l+\Delta l$$

3本連結



n=3本連結の場合

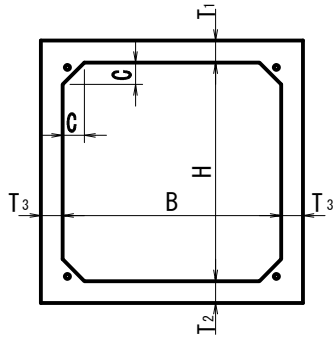
$$L=3l+2\Delta l$$

呼び名 B×H	寸法 (mm)		参考質量 (kg)					
	L		PC				RC	
			150型・300型		600型			
	2本連結	3本連結	2本連結	3本連結	2本連結	3本連結	2本連結	3本連結
1000×1000	4000	6000	6080	9120	7360	11040	6320	9480
1000×1500			7320	10980	8860	13290	7620	11430
1200×1200			7080	10620	8560	12840	7360	11040
1500×1000			8860	13290	8860	13290	8940	13410
1500×1500			10360	－	10360	－	10340	－
1800×1500			11260	－	13620	－	12100	－
1800×1800			12160	－	14700	－	13000	－
2000×1500			11860	－	15300	－	13960	－
2000×2000			13360	－	18060	－	15560	－
許容差	+20, -10	+30, -15	－					

特記事項

- ・ 詳細は「連結函渠・連結管渠設計施工要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・ ボックスの寸法等は、PCボックスカルバート、RCボックスカルバートによる。
- ・ 連結用PC鋼材は、PC鋼棒A種2号以上またはPCより線A種以上とする。

名 称	PCボックスカルバート	標準設計番号	共－Ⅳ－2
		工種記号	BX (P)



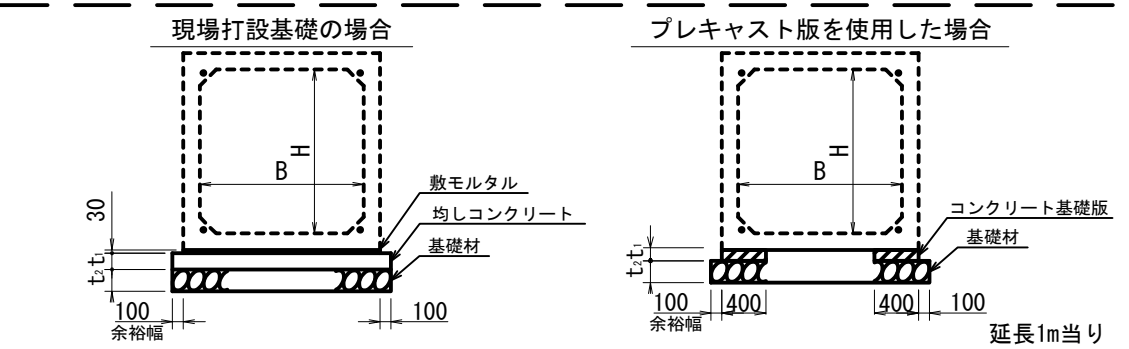
呼び名 B×H	150・300型						600型					
	寸法 (mm)					参考質量 (kg)	寸法 (mm)					参考質量 (kg)
	T ₁	T ₂	T ₃	C	L		T ₁	T ₂	T ₃	C	L	
600×600	125	125	125	100	2000	1920	125	125	125	100	2000	1920
800×800	125	125	125	100	2000	2420	125	125	125	100	2000	2420
1000×1000	125	125	125	150	2000	3040	150	150	150	150	2000	3680
1000×1500	125	125	125	150	2000	3660	150	150	150	150	2000	4430
1200×1200	125	125	125	150	2000	3540	150	150	150	150	2000	4280
1500×1000	150	150	150	150	2000	4430	150	150	150	150	2000	4430
1500×1500	150	150	150	150	2000	5180	150	150	150	150	2000	5180
1800×1500	150	150	150	150	2000	5630	180	180	180	150	2000	6810
1800×1800	150	150	150	150	2000	6080	180	180	180	150	2000	7350
2000×1500	150	150	150	150	2000	5930	200	200	200	150	2000	8030
2000×2000	150	150	150	150	2000	6680	200	200	200	150	2000	9030
2300×1500	180	180	180	150	2000	7710	230	230	230	150	2000	10020
2300×2000	180	180	180	150	2000	8610	230	230	230	150	2000	11170
2300×2300	180	180	180	150	2000	9150	230	230	230	150	1500	8900
2500×1500	180	180	180	150	2000	8070	260	260	250	150	1500	8830
2500×2000	180	180	180	150	2000	8970	260	260	250	150	1500	9770
2500×2500	200	200	200	150	2000	11030	260	260	250	150	1500	10710
2800×1500	200	200	200	200	2000	9800	280	280	280	200	1500	10510
2800×2000	200	200	200	200	2000	10800	280	280	280	200	1500	11560
2800×2800	200	200	200	200	1500	9300	280	280	280	200	1000	8820
3000×2000	250	250	200	200	1500	9680	350	350	300	200	1000	9500
3000×2500	250	250	200	200	1500	10430	350	350	300	200	1000	10250
3000×3000	250	250	250	200	1500	12490	350	350	300	200	1000	11000
3500×2500	300	300	250	300	1000	9580	380	380	300	300	1000	11990
許 容 差	呼び名					内幅及び内高		厚さ			有効長	
	600×600～800×800					± 4		+4, -2			+10, -5	
	1000×1000～2500×2500					± 6		+6, -3				
	2800×1500～3000×3000					± 7		+6, -4				
	3500×2500					±10		+8, -4				

- 注) 1. 150型、300型、600型の適用土被り (h) は、150型では0.2m≦h≦1.5m
300型では1.5m<h≦3.0m、600型では3.0m<h≦6.0mの場合を示す。
2. 有効長は、目地代を考慮し (L－5mm) とする。
3. L (目地代を含む) は1500mm、1000mmとすることができる。

特記事項

- ・詳細は、「プレキャストボックスカルバート設計施工要領・同解説 (日本PCボックスカルバート製品協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295またはSD345とする。
- ・基礎にコンクリート基礎版 (共－40) を使用することができる。

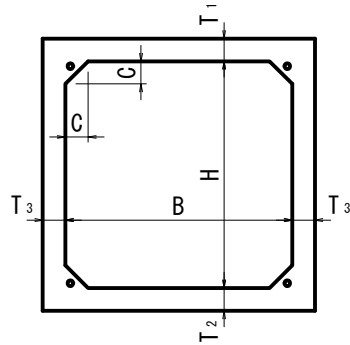
参考図表



呼び名 B×H	150・300型							
	現場打設基礎の場合					プレキャスト版を使用した場合		
	コンクリート厚 t ₁ (mm)	コンクリート (m ³)	型枠面積 (m ²)	基礎材厚 t ₂ (mm)	基礎材 (m ³)	コンクリート 基礎版厚 t ₁ (mm)	コンクリート 基礎版 (m)	基礎材厚 t ₂ (mm)
600×600	100	0.105	0.200	200	0.210	100	2.00	200
800×800	100	0.125	0.200	200	0.250	100	2.00	200
1000×1000	100	0.145	0.200	200	0.290	100	2.00	200
1000×1500	150	0.218	0.300	200	0.290	100	2.00	200
1200×1200	150	0.248	0.300	200	0.330	100	2.00	200
1500×1000	150	0.300	0.300	200	0.400	100	2.00	200
1500×1500	150	0.300	0.300	200	0.400	100	2.00	200
1800×1500	150	0.345	0.300	200	0.460	100	2.00	200
1800×1800	150	0.345	0.300	200	0.460	100	2.00	200
2000×1500	150	0.375	0.300	200	0.500	100	2.00	200
2000×2000	150	0.375	0.300	200	0.500	100	2.00	200
2300×1500	150	0.429	0.300	200	0.572	100	2.00	200
2300×2000	150	0.429	0.300	200	0.572	100	2.00	200
2300×2300	150	0.429	0.300	200	0.572	100	2.00	200
2500×1500	150	0.459	0.300	200	0.612	100	2.00	200
2500×2000	150	0.459	0.300	200	0.612	100	2.00	200
2500×2500	150	0.465	0.300	200	0.620	100	2.00	200
2800×1500	150	0.510	0.300	200	0.680	100	2.00	200
2800×2000	150	0.510	0.300	200	0.680	100	2.00	200
2800×2800	150	0.510	0.300	200	0.680	100	2.00	200
3000×2000	150	0.540	0.300	200	0.720	100	2.00	200
3000×2500	150	0.540	0.300	200	0.720	100	2.00	200
3000×3000	150	0.555	0.300	200	0.740	100	2.00	200
3500×2500	150	0.630	0.300	200	0.840	100	2.00	200

呼び名 B×H	600型							
	現場打設基礎の場合					プレキャスト版を使用した場合		
	コンクリート厚 t ₁ (mm)	コンクリート (m ³)	型枠面積 (m ²)	基礎材厚 t ₂ (mm)	基礎材 (m ³)	コンクリート 基礎版厚 t ₁ (mm)	コンクリート 基礎版 (m)	基礎材厚 t ₂ (mm)
600×600	100	0.105	0.200	200	0.210	100	2.00	200
800×800	100	0.125	0.200	200	0.250	100	2.00	200
1000×1000	100	0.150	0.200	200	0.300	100	2.00	200
1000×1500	150	0.225	0.300	200	0.300	100	2.00	200
1200×1200	150	0.255	0.300	200	0.340	100	2.00	200
1500×1000	150	0.300	0.300	200	0.400	100	2.00	200
1500×1500	150	0.300	0.300	200	0.400	100	2.00	200
1800×1500	150	0.354	0.300	200	0.472	100	2.00	200
1800×1800	150	0.354	0.300	200	0.472	100	2.00	200
2000×1500	150	0.390	0.300	200	0.520	100	2.00	200
2000×2000	150	0.390	0.300	200	0.520	100	2.00	200
2300×1500	150	0.444	0.300	200	0.592	100	2.00	200
2300×2000	150	0.444	0.300	200	0.592	100	2.00	200
2300×2300	150	0.444	0.300	200	0.592	100	2.00	200
2500×1500	150	0.480	0.300	200	0.640	100	2.00	200
2500×2000	150	0.480	0.300	200	0.640	100	2.00	200
2500×2500	150	0.480	0.300	200	0.640	100	2.00	200
2800×1500	150	0.534	0.300	200	0.712	100	2.00	200
2800×2000	150	0.534	0.300	200	0.712	100	2.00	200
2800×2800	150	0.534	0.300	200	0.712	100	2.00	200
3000×2000	150	0.570	0.300	200	0.760	100	2.00	200
3000×2500	150	0.570	0.300	200	0.760	100	2.00	200
3000×3000	150	0.570	0.300	200	0.760	100	2.00	200
3500×2500	150	0.645	0.300	200	0.860	100	2.00	200

名 称	RCボックスカルバート	標準設計番号	共－Ⅳ－2
		工種記号	BX(R)



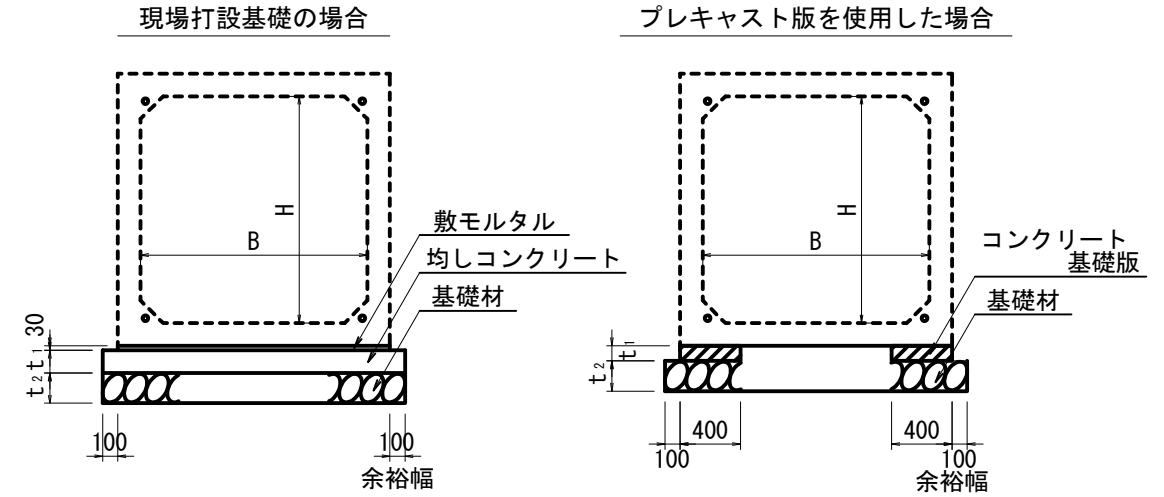
呼び名 B×H		寸法(mm)					参考質量 (kg)
		T ₁	T ₂	T ₃	C	L	
600×600		130	130	130	100	2000	2000
800×800		130	130	130	100	2000	2520
1000×1000		130	130	130	150	2000	3160
1000×1500		130	130	130	150	2000	3810
1200×1200		130	130	130	150	2000	3680
1500×1000		160	160	140	150	2000	4470
1500×1500		160	160	140	150	2000	5170
1800×1500		170	170	150	150	2000	6050
1800×1800		170	170	150	150	2000	6500
2000×1500		180	180	160	200	2000	6980
2000×2000		180	180	160	200	2000	7780
2300×1500		200	200	180	200	1500	6320
2300×2000		200	200	180	200	1500	6990
2300×2300		200	200	180	200	1500	7400
2500×1500		220	220	200	200	1500	7340
2500×2000		220	220	200	200	1500	8090
2500×2500		220	220	200	200	1500	8840
2800×1500		240	240	220	200	1000	5740
2800×2000		240	240	220	200	1000	6290
2800×2800		240	240	220	200	1000	7170
3000×2000		260	260	240	300	1000	7370
3000×2500		260	260	240	300	1000	7970
3000×3000		260	260	240	300	1000	8570
3500×2500		310	310	250	300	1000	9780
許 容 差	呼び名	内幅及び内高			厚さ	有効長	
	600×600～800×800	± 4			+4, -2	+10, -5	
	1000×1000～2500×2500	± 6			+6, -3		
	2800×2000～3000×3000	± 7			+6, -4		
	3500×2500	±10			+8, -4		

- 注) 1. 適用土被り (h) は、0.2m≦h≦3.0m
2. L (目地代を含む) は1500mm、1000mmとすることができる。

特記事項

- ・詳細は、「プレキャストボックスカルバート設計・施工マニュアル (全国ボックスカルバート協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=35\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295またはSD345とする。
- ・基礎にコンクリート基礎版 (共－40) を使用することができる。

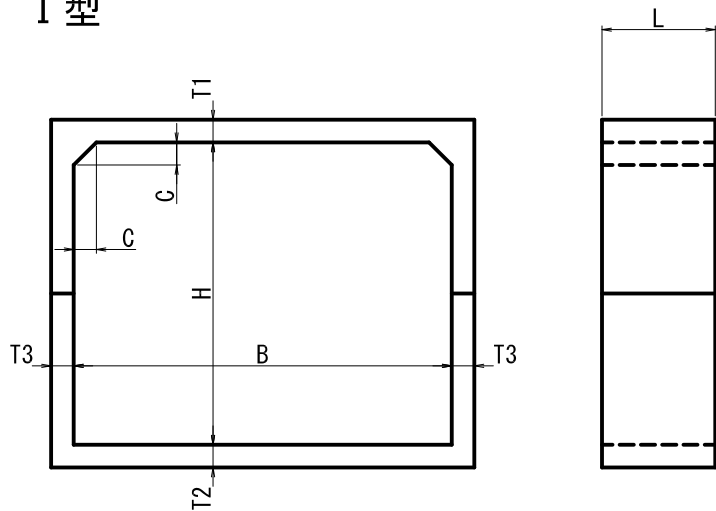
参考図表



呼び名 B×H	現場打設基礎の場合					プレキャスト版を使用した場合			
	コンクリート厚 t ₁ (mm)	コンクリート (m ³)	型枠面積 (m ²)	基礎材厚 t ₂ (mm)	基礎材 (m ³)	コンクリート基礎版厚 t ₁ (mm)	コンクリート基礎版 (m)	基礎材厚 t ₂ (mm)	基礎材 (m ³)
	t ₁ (mm)	(m ³)	(m ²)	t ₂ (mm)	(m ³)	t ₁ (mm)	(m)	t ₂ (mm)	(m ³)
600×600	100	0.106	0.200	200	0.212	100	2.00	200	0.218
800×800	100	0.126	0.200	200	0.252	100	2.00	200	0.278
1000×1000	100	0.146	0.200	200	0.292	100	2.00	200	0.338
1000×1500	150	0.219	0.300	200	0.292	100	2.00	200	0.338
1200×1200	150	0.249	0.300	200	0.332	100	2.00	200	0.398
1500×1000	150	0.297	0.300	200	0.396	100	2.00	200	0.494
1500×1500	150	0.297	0.300	200	0.396	100	2.00	200	0.494
1800×1500	150	0.345	0.300	200	0.460	100	2.00	200	0.590
1800×1800	150	0.345	0.300	200	0.460	100	2.00	200	0.590
2000×1500	150	0.378	0.300	200	0.504	100	2.00	200	0.656
2000×2000	150	0.378	0.300	200	0.504	100	2.00	200	0.656
2300×1500	150	0.429	0.300	200	0.572	100	2.00	200	0.758
2300×2000	150	0.429	0.300	200	0.572	100	2.00	200	0.758
2300×2300	150	0.429	0.300	200	0.572	100	2.00	200	0.758
2500×1500	150	0.465	0.300	200	0.620	100	2.00	200	0.830
2500×2000	150	0.465	0.300	200	0.620	100	2.00	200	0.830
2500×2500	150	0.465	0.300	200	0.620	100	2.00	200	0.830
2800×1500	150	0.516	0.300	200	0.688	100	2.00	200	0.932
2800×2000	150	0.516	0.300	200	0.688	100	2.00	200	0.932
2800×2800	150	0.516	0.300	200	0.688	100	2.00	200	0.932
3000×2000	150	0.552	0.300	200	0.736	100	2.00	200	1.004
3000×2500	150	0.552	0.300	200	0.736	100	2.00	200	1.004
3000×3000	150	0.552	0.300	200	0.736	100	2.00	200	1.004
3500×2500	150	0.630	0.300	200	0.840	100	2.00	200	1.160

名 称	大型ボックスカルバート I 型	標準設計番号	共－Ⅳ－3
		工種記号	LBX (I)

I 型

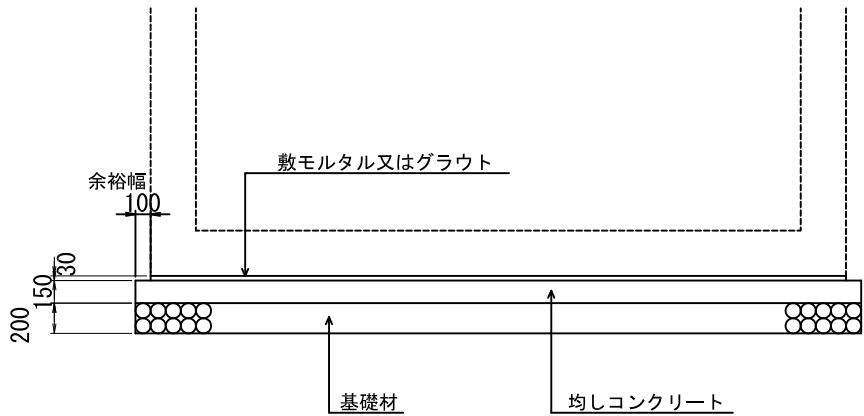


土かぶり	呼び名			製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
	B	×	H	T1	T2	T3	C	L	
1.0m	4000	×	3000	300	300	300	300	1495	17.4
	4000	×	4000	300	300	300	300	1495	19.6
	4000	×	5000	300	300	300	300	1495	21.9
	4500	×	3000	300	300	300	300	1495	18.5
	4500	×	4000	300	300	300	300	1495	20.7
	4500	×	5000	300	300	300	300	1495	23.0
	5000	×	3000	300	300	300	300	1495	19.6
	5000	×	4000	300	300	300	300	1495	21.9
	5000	×	5000	300	300	300	300	1495	24.1
	5500	×	3000	300	300	300	300	1495	20.7
	5500	×	4000	300	300	300	300	1495	23.0
	6000	×	4000	300	300	300	300	1495	24.1
2.0m	4000	×	3000	300	300	300	300	1495	17.4
	4000	×	4000	300	300	300	300	1495	19.6
	4000	×	5000	300	300	350	300	1495	24.0
	4500	×	3000	300	300	300	300	1495	18.5
	4500	×	4000	300	350	300	300	1495	21.7
	4500	×	5000	350	350	350	300	1495	27.0
	5000	×	3000	350	350	300	300	1495	21.7
	5000	×	4000	350	350	300	300	1495	24.0
	5000	×	5000	350	350	350	300	1495	28.3
	5500	×	3000	350	350	350	300	1495	24.4
3.0m	4000	×	3000	300	350	300	300	1495	18.2
	4000	×	4000	300	350	300	300	1495	20.5
	4000	×	5000	350	350	350	300	1495	25.7
	4500	×	3000	350	350	350	300	1495	21.8
	4500	×	4000	350	400	350	300	1495	25.4
	4500	×	5000	350	400	400	300	1495	30.1
	5000	×	3000	350	400	350	300	1495	24.2
	5000	×	4000	350	400	350	300	1495	26.8
	5000	×	5000	350	450	400	300	1495	32.6
	5500	×	3000	400	450	400	300	1495	29.3
許 容 差	±10			+8, -4		—		+10, -5	

特記事項

- ・ 上下部材の接合は鋳鉄製金具及びH T ボルトにて行う。
- ・ $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295またはSD345とする。
- ・ 製品規格や条件等が異なる場合は別途設計検討を行う。

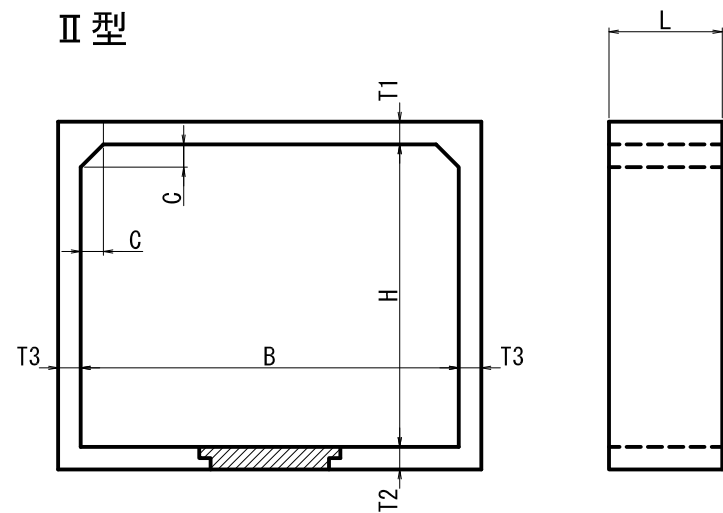
参考図表



参考数量

土かぶり	呼び名			均しコン クリート (m^3)	型枠 面積 (m^2)	基礎材 (m^3)	敷モルタル グラウト (m^3)
	B	×	H				
1.0m	4000	×	3000	0.720	0.300	0.960	0.138
	4000	×	4000	0.720	0.300	0.960	0.138
	4000	×	5000	0.720	0.300	0.960	0.138
	4500	×	3000	0.795	0.300	1.060	0.153
	4500	×	4000	0.795	0.300	1.060	0.153
	4500	×	5000	0.795	0.300	1.060	0.153
	5000	×	3000	0.870	0.300	1.160	0.168
	5000	×	4000	0.870	0.300	1.160	0.168
	5000	×	5000	0.870	0.300	1.160	0.168
	5500	×	3000	0.945	0.300	1.260	0.183
	5500	×	4000	0.945	0.300	1.260	0.183
	6000	×	4000	1.020	0.300	1.360	0.198
2.0m	4000	×	3000	0.720	0.300	0.960	0.138
	4000	×	4000	0.720	0.300	0.960	0.138
	4000	×	5000	0.735	0.300	0.980	0.141
	4500	×	3000	0.795	0.300	1.060	0.153
	4500	×	4000	0.795	0.300	1.060	0.153
	4500	×	5000	0.810	0.300	1.080	0.156
	5000	×	3000	0.870	0.300	1.160	0.168
	5000	×	4000	0.870	0.300	1.160	0.168
	5000	×	5000	0.885	0.300	1.180	0.171
	5500	×	3000	0.960	0.300	1.280	0.186
3.0m	4000	×	3000	0.720	0.300	0.960	0.138
	4000	×	4000	0.720	0.300	0.960	0.138
	4000	×	5000	0.735	0.300	0.980	0.141
	4500	×	3000	0.810	0.300	1.080	0.156
	4500	×	4000	0.810	0.300	1.080	0.156
	4500	×	5000	0.825	0.300	1.100	0.159
	5000	×	3000	0.885	0.300	1.180	0.171
	5000	×	4000	0.885	0.300	1.180	0.171
	5000	×	5000	0.900	0.300	1.200	0.174
	5500	×	3000	0.975	0.300	1.300	0.189

名 称	大型ボックスカルバートⅡ型	標準設計番号	共－Ⅳ－4
		工種記号	LBX（Ⅱ）



土かぶり	呼び名			製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
	B	×	H	T1	T2	T3	C	L	
1.0m	5500	×	5000	300	350	300	300	1495	26.4
	6000	×	5000	300	400	300	300	1495	28.8
	6500	×	5000	350	400	350	350	1495	33.7
	6500	×	6000	400	450	400	350	1495	41.6
	7000	×	5000	400	450	400	350	1495	40.2
	7000	×	6000	400	450	400	350	1495	43.2
	7500	×	5000	400	450	400	350	1495	41.8
	7500	×	6000	400	450	400	350	1495	44.8
	8000	×	5000	450	450	400	350	1495	45.0
	8000	×	6000	450	500	400	350	1495	49.6
	8500	×	5000	450	500	450	400	1495	50.8
	8500	×	6000	450	500	450	400	1495	54.2
	9000	×	5000	—	—	—	—	—	—
	9000	×	6000	—	—	—	—	—	—
	9500	×	5000	—	—	—	—	—	—
	9500	×	6000	—	—	—	—	—	—
	10000	×	5000	—	—	—	—	—	—
	10000	×	6000	—	—	—	—	—	—
許 容 差	±10			+8, -4			—	+10, -5	

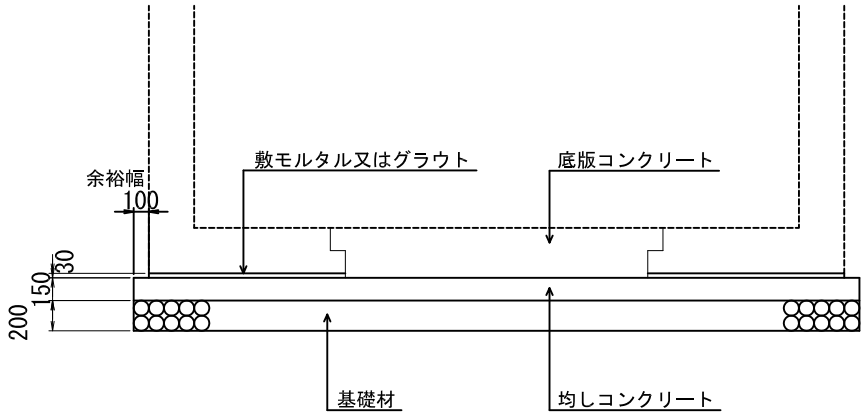
土かぶり	呼び名 B × H			製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
				T1	T2	T3	C	L	
2.0m	5500	×	4000	350	450	350	300	1495	29.3
	5500	×	5000	350	450	350	300	1495	32.0
	6000	×	4000	350	450	350	300	1495	30.8
	6000	×	5000	350	450	350	300	1495	33.5
	6500	×	5000	450	500	450	350	1495	43.6
	6500	×	6000	450	500	450	350	1495	46.9
	7000	×	5000	450	550	450	350	1495	46.8
	7000	×	6000	450	550	450	350	1495	50.2
	7500	×	5000	450	550	450	350	1495	48.7
	7500	×	6000	500	550	500	350	1495	56.2
	8000	×	5000	500	600	500	350	1495	56.1
	8000	×	6000	500	600	500	350	1495	59.9
	8500	×	5000	550	600	500	400	1495	60.1
	8500	×	6000	550	650	500	400	1495	65.6
	9000	×	5000	－	－	－	－	－	－
	9000	×	6000	－	－	－	－	－	－
	9500	×	5000	－	－	－	－	－	－
	9500	×	6000	－	－	－	－	－	－
	10000	×	5000	－	－	－	－	－	－
	10000	×	6000	－	－	－	－	－	－
3.0m	5500	×	4000	400	500	400	300	1495	33.5
	5500	×	5000	400	500	400	300	1495	36.5
	6000	×	4000	450	550	400	300	1495	37.7
	6000	×	5000	450	600	400	300	1495	42.0
	6500	×	5000	500	600	500	350	1495	50.0
	6500	×	6000	500	600	500	350	1495	53.7
	7000	×	5000	500	650	500	350	1495	53.5
	7000	×	6000	500	650	500	350	1495	57.3
	7500	×	5000	550	650	500	350	1495	57.3
	7500	×	6000	550	650	550	350	1495	63.7
	8000	×	5000	600	700	550	350	1495	65.2
	8000	×	6000	600	700	550	350	1495	69.3
	8500	×	5000	650	800	600	400	1495	75.6
	8500	×	6000	650	750	600	400	1495	78.3
	9000	×	5000	－	－	－	－	－	－
	9000	×	6000	－	－	－	－	－	－
許 容 差	±10			+8, -4			－	+10, -5	

特記事項

- ・ 上下部材の接合はP C鋼材にて行う。
- ・ 底版部材の接合は現場打ちコンクリートにて行う。
- ・ $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295またはSD345とする。
- ・ 製品規格や条件等が異なる場合は別途設計検討を行う。

名 称	大型ボックスカルバートⅡ型	標準設計番号	共－Ⅳ－4
		工種記号	LBX（Ⅱ）

参考図表

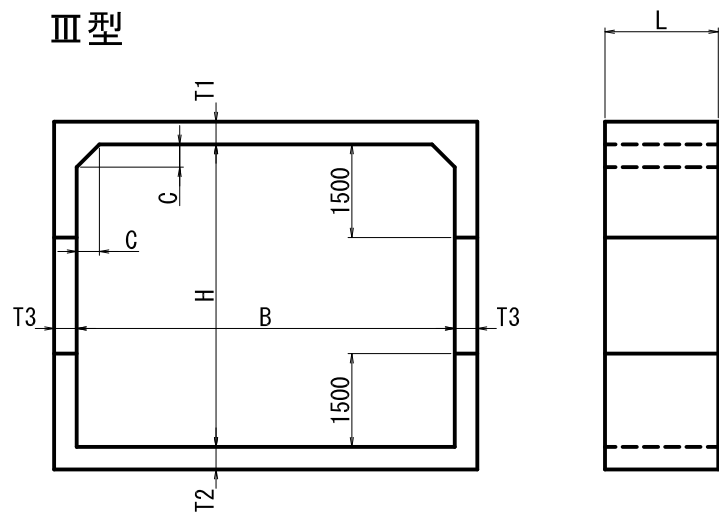


参考数量				延長1m当り				
土かぶり	呼び名			均しコン クリート (m ³)	型枠 面積 (m ²)	基礎材 (m ³)	敷モル グラウト (m ³)	底版コン クリート (m ³)
	B	×	H					
1.0m	5500	×	5000	0.945	0.300	1.260	0.078	1.365
	6000	×	5000	1.020	0.300	1.360	0.078	1.760
	6500	×	5000	1.110	0.300	1.480	0.081	1.975
	6500	×	6000	1.125	0.300	1.500	0.084	1.975
	7000	×	5000	1.200	0.300	1.600	0.084	2.445
	7000	×	6000	1.200	0.300	1.600	0.084	2.445
	7500	×	5000	1.275	0.300	1.700	0.084	2.685
	7500	×	6000	1.275	0.300	1.700	0.084	2.685
	8000	×	5000	1.350	0.300	1.800	0.084	2.925
	8000	×	6000	1.350	0.300	1.800	0.084	3.230
	8500	×	5000	1.440	0.300	1.920	0.087	3.495
	8500	×	6000	1.440	0.300	1.920	0.087	3.495
	9000	×	5000	－	－	－	－	－
	9000	×	6000	－	－	－	－	－
	9500	×	5000	－	－	－	－	－
	9500	×	6000	－	－	－	－	－
	10000	×	5000	－	－	－	－	－
	10000	×	6000	－	－	－	－	－

参考図表

土かぶり	呼び名			均しコン クリート (m ³)	型枠 面積 (m ²)	基礎材 (m ³)	延長1m当り	
	B	×	H				敷モルタル グラウト (m ³)	底版コン クリート (m ³)
2.0m	5500	×	4000	0.960	0.300	1.280	0.081	1.725
	5500	×	5000	0.960	0.300	1.280	0.081	1.725
	6000	×	4000	1.035	0.300	1.380	0.081	1.965
	6000	×	5000	1.035	0.300	1.380	0.081	1.965
	6500	×	5000	1.140	0.300	1.520	0.087	2.435
	6500	×	6000	1.140	0.300	1.520	0.087	2.435
	7000	×	5000	1.215	0.300	1.620	0.087	2.955
	7000	×	6000	1.215	0.300	1.620	0.087	2.955
	7500	×	5000	1.290	0.300	1.720	0.087	3.245
	7500	×	6000	1.305	0.300	1.740	0.090	3.245
	8000	×	5000	1.380	0.300	1.840	0.090	3.535
	8000	×	6000	1.380	0.300	1.840	0.090	3.840
	8500	×	5000	1.455	0.300	1.940	0.090	4.155
	8500	×	6000	1.455	0.300	1.940	0.090	4.485
	9000	×	5000	－	－	－	－	－
	9000	×	6000	－	－	－	－	－
	9500	×	5000	－	－	－	－	－
	9500	×	6000	－	－	－	－	－
	10000	×	5000	－	－	－	－	－
	10000	×	6000	－	－	－	－	－
3.0m	5500	×	4000	0.975	0.300	1.300	0.084	1.905
	5500	×	5000	0.975	0.300	1.300	0.084	1.905
	6000	×	4000	1.050	0.300	1.400	0.084	2.375
	6000	×	5000	1.050	0.300	1.400	0.084	2.580
	6500	×	5000	1.155	0.300	1.540	0.090	2.895
	6500	×	6000	1.155	0.300	1.540	0.090	2.895
	7000	×	5000	1.230	0.300	1.640	0.090	3.465
	7000	×	6000	1.230	0.300	1.640	0.090	3.465
	7500	×	5000	1.305	0.300	1.740	0.090	3.805
	7500	×	6000	1.320	0.300	1.760	0.093	3.805
	8000	×	5000	1.395	0.300	1.860	0.093	4.450
	8000	×	6000	1.395	0.300	1.860	0.093	4.450
	8500	×	5000	1.485	0.300	1.980	0.093	5.475
	8500	×	6000	1.485	0.300	1.980	0.096	5.145
	9000	×	5000	－	－	－	－	－
	9000	×	6000	－	－	－	－	－

名 称	大型ボックスカルバートⅢ型	標準設計番号	共－Ⅳ－5
		工種記号	LBX（Ⅲ）



土かぶり	呼び名			製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
	B	×	H	T1	T2	T3	C	L	
1.0m	5500	×	5000	300	300	300	300	1495	25.2
	6000	×	5000	300	350	300	300	1495	27.6
	6500	×	5000	350	400	350	350	1495	33.7
	6500	×	6000	400	400	400	350	1495	40.2
	7000	×	5000	400	400	400	350	1495	38.7
	7000	×	6000	400	400	400	350	1495	41.7
	7500	×	5000	400	450	400	350	1495	41.8
	7500	×	6000	400	450	400	350	1495	44.8
	8000	×	5000	450	450	400	350	1495	45.0
	8000	×	6000	450	500	400	350	1495	49.6
	8500	×	5000	450	500	450	400	1495	50.8
	8500	×	6000	450	500	450	400	1495	54.2
	9000	×	5000	—	—	—	—	—	—
	9000	×	6000	—	—	—	—	—	—
	9500	×	5000	—	—	—	—	—	—
	9500	×	6000	—	—	—	—	—	—
10000	×	5000	—	—	—	—	—	—	
10000	×	6000	—	—	—	—	—	—	
許 容 差	±10			+8, -4			—	+10, -5	

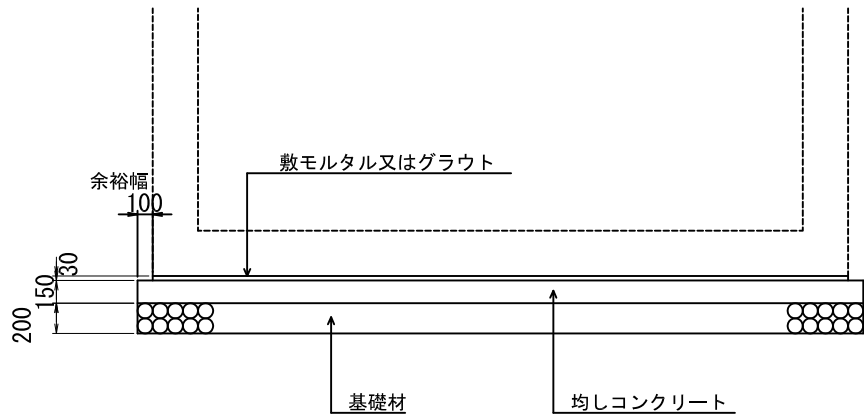
土かぶり	呼び名 B × H			製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
				T1	T2	T3	C	L	
2.0m	5500	×	4000	350	400	350	300	1495	28.2
	5500	×	5000	350	400	350	300	1495	30.8
	6000	×	4000	350	400	350	300	1495	29.6
	6000	×	5000	350	450	350	300	1495	33.5
	6500	×	5000	450	500	450	350	1495	43.6
	6500	×	6000	450	500	450	350	1495	46.9
	7000	×	5000	450	500	450	350	1495	45.3
	7000	×	6000	450	550	450	350	1495	50.2
	7500	×	5000	450	500	450	350	1495	47.1
	7500	×	6000	500	550	500	350	1495	56.2
	8000	×	5000	500	550	500	350	1495	54.5
	8000	×	6000	500	600	500	350	1495	59.9
	8500	×	5000	550	600	500	400	1495	60.1
	8500	×	6000	550	650	500	400	1495	65.6
	9000	×	5000	—	—	—	—	—	—
	9000	×	6000	—	—	—	—	—	—
	9500	×	5000	—	—	—	—	—	—
	9500	×	6000	—	—	—	—	—	—
	10000	×	5000	—	—	—	—	—	—
	10000	×	6000	—	—	—	—	—	—
3.0m	5500	×	4000	400	450	400	300	1495	32.3
	5500	×	5000	400	450	400	300	1495	35.3
	6000	×	4000	450	500	400	300	1495	36.4
	6000	×	5000	450	550	400	300	1495	40.7
	6500	×	5000	500	550	500	350	1495	48.6
	6500	×	6000	500	550	500	350	1495	52.3
	7000	×	5000	500	600	500	350	1495	52.0
	7000	×	6000	500	600	500	350	1495	55.8
	7500	×	5000	550	600	500	350	1495	55.7
	7500	×	6000	550	650	550	350	1495	63.7
	8000	×	5000	600	650	550	350	1495	63.5
	8000	×	6000	600	650	550	350	1495	67.6
	8500	×	5000	650	750	600	400	995	49.1
	8500	×	6000	650	750	600	400	995	52.1
	9000	×	5000	—	—	—	—	—	—
	9000	×	6000	—	—	—	—	—	—
許 容 差	±10			+8, -4			—	+10, -5	

特記事項

- ・ 上下部材の接合はP C鋼材にて行う。
- ・ $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295またはSD345とする。
- ・ 製品規格や条件等が異なる場合は別途設計検討を行う。

名 称	大型ボックスカルバートⅢ型	標準設計番号	共－Ⅳ－5
		工種記号	LBX（Ⅲ）

参考図表

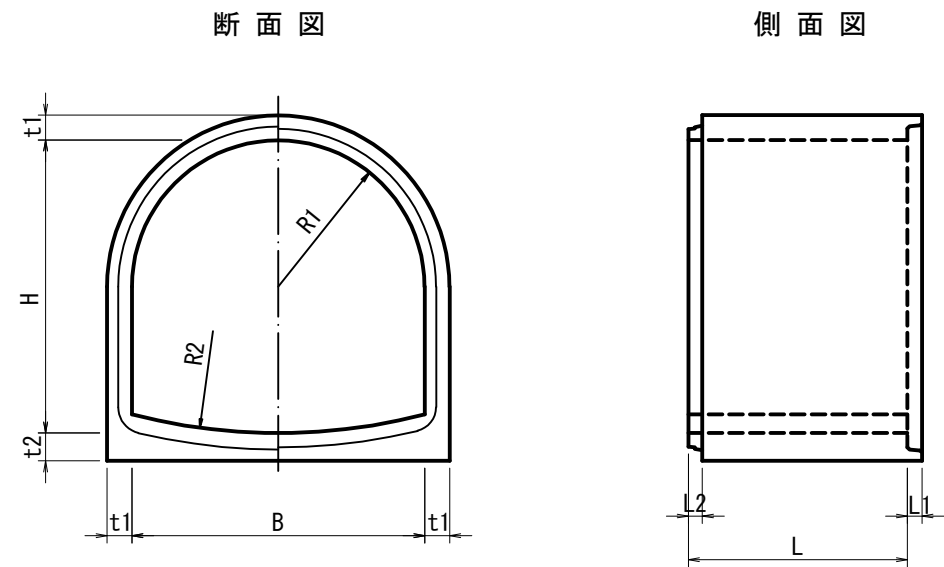


参考数量			延長1m当り			
土かぶり	呼び名			均しコン クリート (m³)	型枠 面積 (m²)	基礎材 (m³)
	B	×	H			敷モルタル グラウト (m³)
1.0m	5500	×	5000	0.945	0.300	1.260
	6000	×	5000	1.020	0.300	1.360
	6500	×	5000	1.110	0.300	1.480
	6500	×	6000	1.125	0.300	1.500
	7000	×	5000	1.200	0.300	1.600
	7000	×	6000	1.200	0.300	1.600
	7500	×	5000	1.275	0.300	1.700
	7500	×	6000	1.275	0.300	1.700
	8000	×	5000	1.350	0.300	1.800
	8000	×	6000	1.350	0.300	1.800
	8500	×	5000	1.440	0.300	1.920
	8500	×	6000	1.440	0.300	1.920
	9000	×	5000	－	－	－
	9000	×	6000	－	－	－
	9500	×	5000	－	－	－
	9500	×	6000	－	－	－
	10000	×	5000	－	－	－
	10000	×	6000	－	－	－

参考図表

土かぶり	呼び名			均しコン クリート (m³)	型枠 面積 (m²)	基礎材 (m³)	延長1m当り	
	B	×	H				敷モルタル グラウト (m³)	
2.0m	5500	×	4000	0.960	0.300	1.280	0.186	
	5500	×	5000	0.960	0.300	1.280	0.186	
	6000	×	4000	1.035	0.300	1.380	0.201	
	6000	×	5000	1.035	0.300	1.380	0.201	
	6500	×	5000	1.140	0.300	1.520	0.222	
	6500	×	6000	1.140	0.300	1.520	0.222	
	7000	×	5000	1.215	0.300	1.620	0.237	
	7000	×	6000	1.215	0.300	1.620	0.237	
	7500	×	5000	1.290	0.300	1.720	0.252	
	7500	×	6000	1.305	0.300	1.740	0.255	
	8000	×	5000	1.380	0.300	1.840	0.270	
	8000	×	6000	1.380	0.300	1.840	0.270	
	8500	×	5000	1.455	0.300	1.940	0.285	
	8500	×	6000	1.455	0.300	1.940	0.285	
	9000	×	5000	－	－	－	－	
	9000	×	6000	－	－	－	－	
	9500	×	5000	－	－	－	－	
	9500	×	6000	－	－	－	－	
3.0m	10000	×	5000	－	－	－	－	
	10000	×	6000	－	－	－	－	
	5500	×	4000	0.975	0.300	1.300	0.189	
	5500	×	5000	0.975	0.300	1.300	0.189	
	6000	×	4000	1.050	0.300	1.400	0.204	
	6000	×	5000	1.050	0.300	1.400	0.204	
	6500	×	5000	1.155	0.300	1.540	0.225	
	6500	×	6000	1.155	0.300	1.540	0.225	
	7000	×	5000	1.230	0.300	1.640	0.240	
	7000	×	6000	1.230	0.300	1.640	0.240	
	7500	×	5000	1.305	0.300	1.740	0.255	
	7500	×	6000	1.320	0.300	1.760	0.258	
	8000	×	5000	1.395	0.300	1.860	0.273	
	8000	×	6000	1.395	0.300	1.860	0.273	
	8500	×	5000	1.485	0.300	1.980	0.291	
	8500	×	6000	1.485	0.300	1.980	0.291	
	9000	×	5000	－	－	－	－	
	9000	×	6000	－	－	－	－	

名 称	アーチボックスカルバート	標準設計番号	共－Ⅳ－９
		工種記号	ABX



寸法表（Ⅰ型・Ⅱ型・特厚型）

呼び名	寸 法 (mm)									参考質量 (kg)
	B	H	L	t1	t2	R1	R2	L1	L2	
1000×1000	1000	1000	2000	120 150	130 180	500	2000	80	75	2570 3380
1200×1200	1200	1200	2000	130 160	140 190	600	2400	80	75	3330 4260
1500×1500	1500	1500	2000	140 180	160 210	750	3000	80	75	4510 5910
1800×1800	1800	1800	2000	160 200	170 230	900	3600	100	95	6050 7810
2000×2000	2000	2000	1500	170 220	190 270	1000	4000	100	95	5430 7310
2200×2200	2200	2200	1500	180 230	200 290	1100	4400	100	95	6310 8460
2500×2500	2500	2500	1500	190 250	210 320	1250	5000	100	95	7550 10490
2800×2800	2800	2800	1000	210 270	230 330	1400	5600	100	95	6220 8310
3000×3000	3000	3000	1000	220 280	240 360	1500	6000	100	95	6970 9380

注1 幅に対する高さ比（H/B）は、0.7、0.8、0.9、1.0、1.1、1.2がある。
注2 t1,t2寸法および参考質量について、上段はⅠ・Ⅱ型を、下段は特厚型を示す。

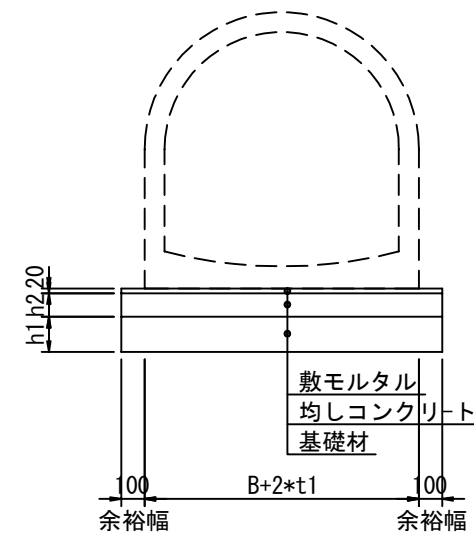
寸法許容差

内 幅	B,H	t1,t2	L
1000～1200	±6	+4,－2	+10,－5
1500～2000	±8	+6,－3	
2200～3000	±10	+8,－4	

特記事項

- ・ 詳細は、「アーチカルバート設計施工要覧（日本アーチカルバート工業会）」による。
- ・ $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。

参考図表



項目 呼び名		参考数量					延長1m当り	
		余裕幅 (m)	h1 (m)	h2 (m)	基礎材 (m ³)	均しコン クリート (m ³)	敷き モルタル (m ³)	
1000×1000	0.100	0.100	0.150	0.100	0.216	0.144	0.029	
1200×1200					0.249	0.166	0.033	
1500×1500					0.396	0.297	0.040	
1800×1800			0.200	0.150	0.464	0.348	0.046	
2000×2000					0.508	0.381	0.051	
2200×2200					0.552	0.414	0.055	
2500×2500					0.770	0.616	0.062	
2800×2800	0.250	0.250	0.200	0.200	0.855	0.684	0.068	
3000×3000					0.910	0.728	0.073	

名
称

大型アーチカルバート

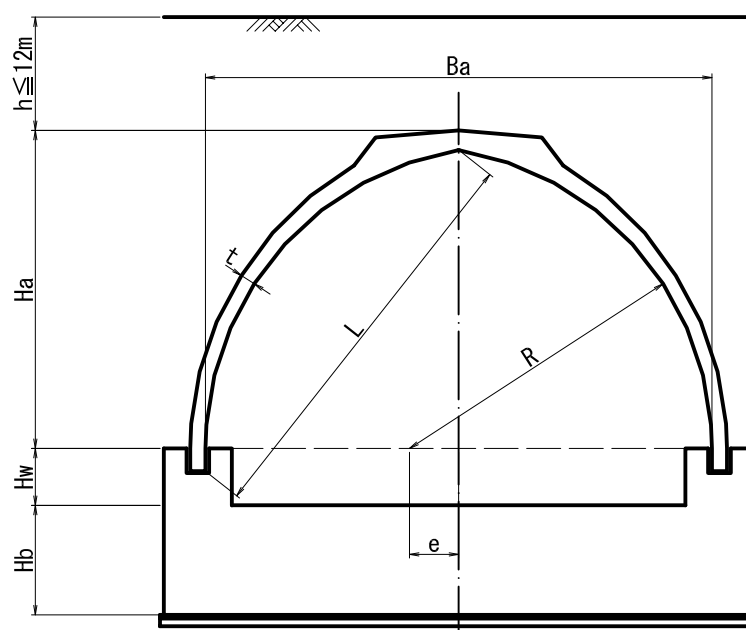
標準設計番号

-

工種記号

-

断 面 図



Ba : 構造内幅 (6m~12m)
 e : 偏心距離
 Ha : 部材外高さ (偏心距離により変化)
 Hw : 縦壁高さ (現場施工)
 Hb : 底版の厚さ (現場施工)

部材タイプ	寸 法 (mm)		
	部材の厚さ t	製品延長 B	部材内半径 R
S	250	2490	4000
A	300	2490	4000 6000
B	400	2490	4000 6000
C	500	1990	6000

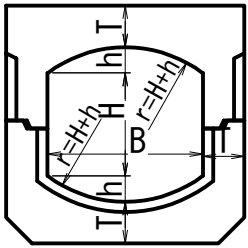
寸 法 許 容 差 (mm)		
長さ L	製品延長 B	厚さ t
± 10	± 5	

特記事項

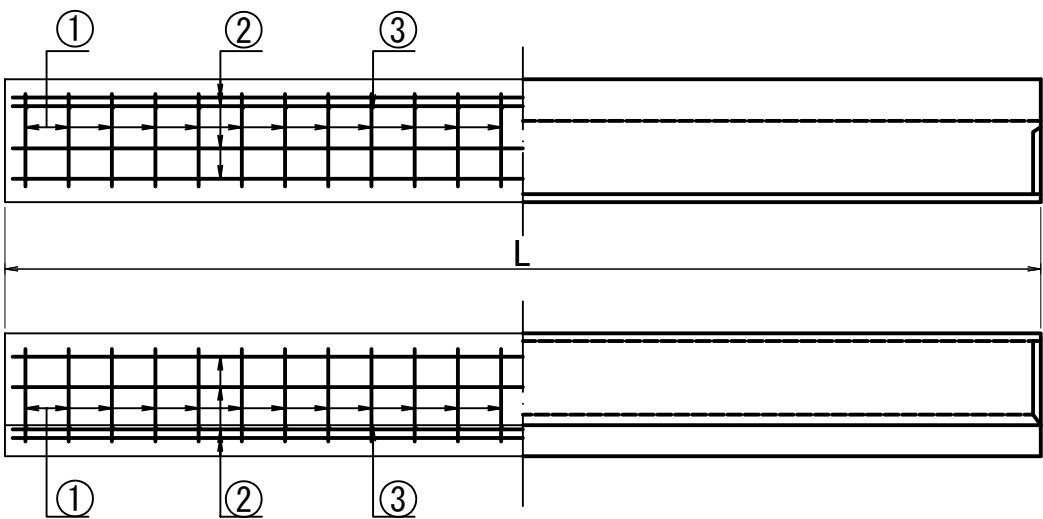
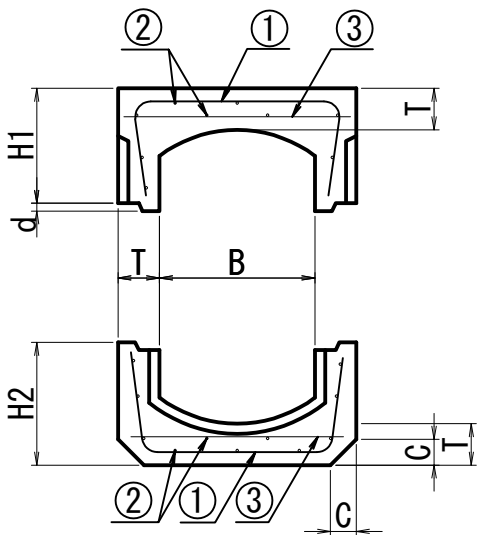
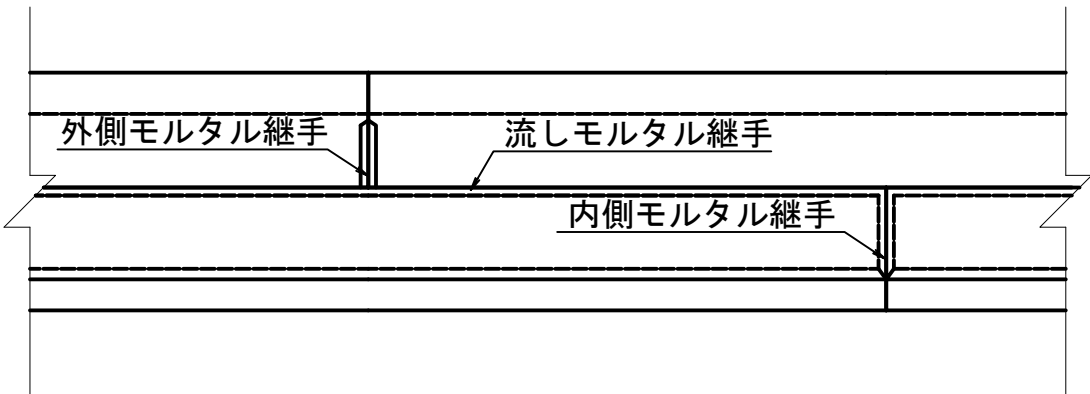
- ・ 詳細は、「大型プレキャストアーチカルバート設計・施工要領」による。
- ・ $\sigma_{ck}=60\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 または SD345 とする。

名 称	組 合 せ 暗 渠	標準設計番号	共－他－2
		工種記号	－

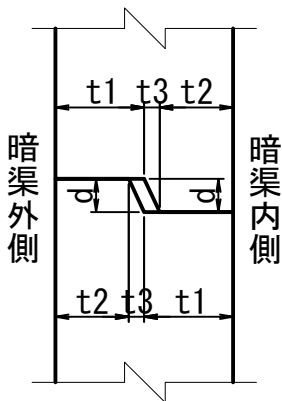
断 面



側 面



上下組合せ部詳細図



呼び名	鉄 筋					
	①		②		③	
	径	本数	径	本数	径	本数
300	D10	24	D6	9	D10	24
450	D13	18	D6	11	D13	18
600	D13	20	D6	13	D13	20

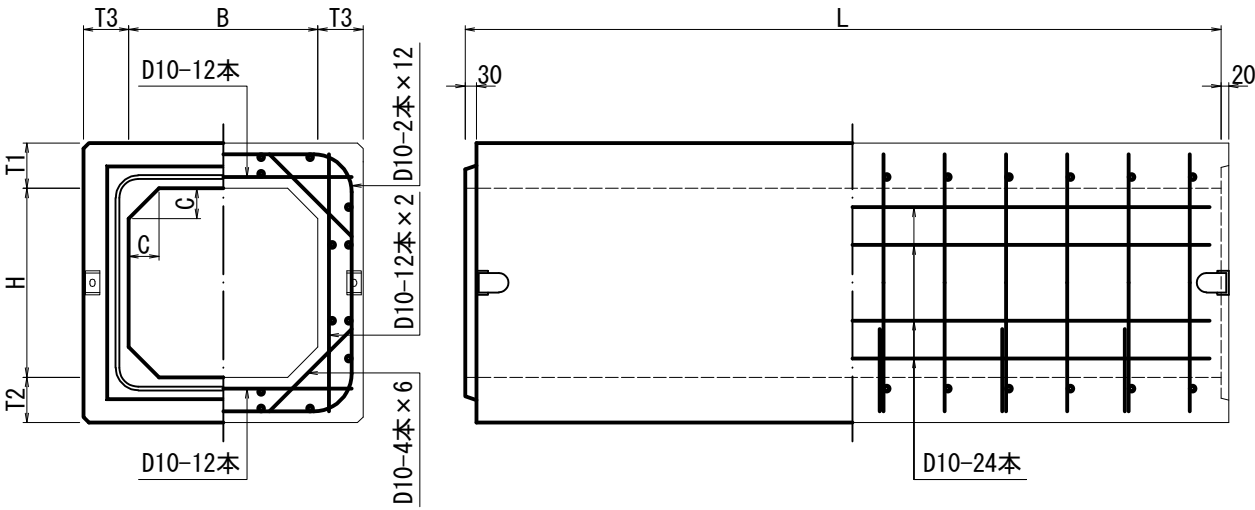
呼び名	寸 法 (mm)													参 考 質 量 (kg)
	L	B	T	H	h	H1	H2	r	t 1	t 2	t 3	d	c	
300	2000	300	80	200	50	222	238	250	40	33	7	15	50	619
450	2000	450	100	300	75	315	335	375	50	40	10	20	60	1140
600	2000	600	110	400	100	400	420	500	55	45	10	20	60	1660
許容差	±3	±2	±2	—	—	±2	—	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295とする。

名 称	小断面ボックスカルバート	標準設計番号	――
		工種記号	――

I 型



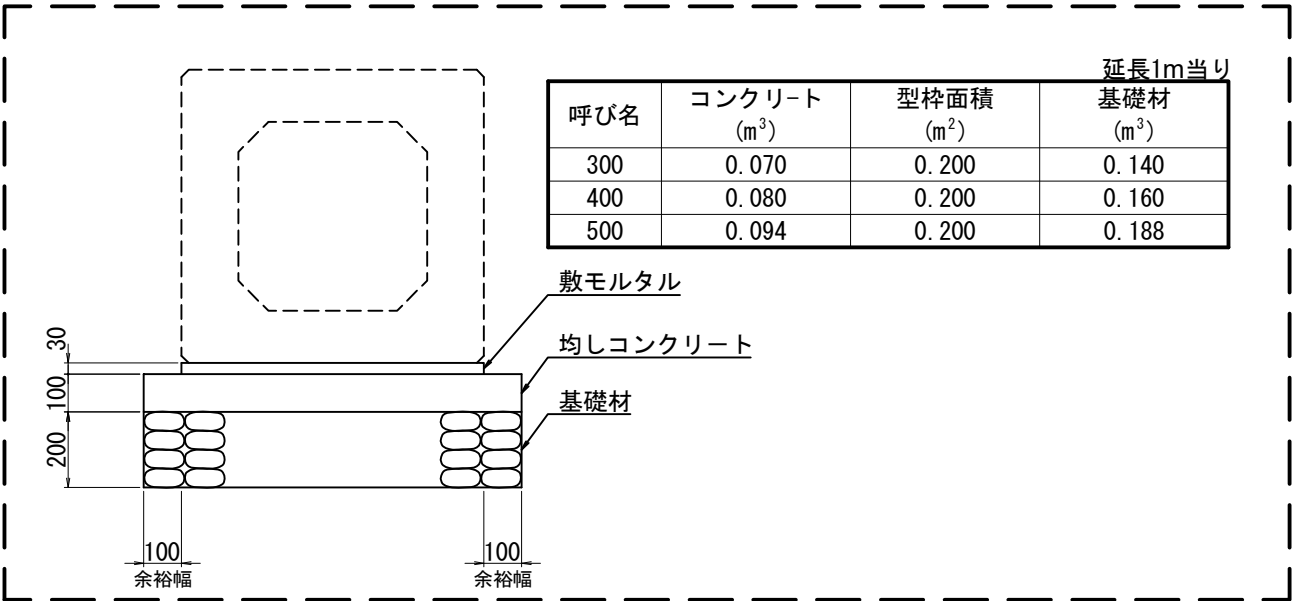
呼び名 B × H	寸法 (mm)							参考質量 (kg)
	B	H	T1	T2	T3	C	L	
300×300	300	300	100	100	100	50	2000	800
400×400	400	400	100	100	100	50	2000	990
500×500	500	500	120	120	120	80	2000	1,510
許容差	±4		+4, -2		-		+10, -5	-

注) 適用土被りは、0.2m～3.0m

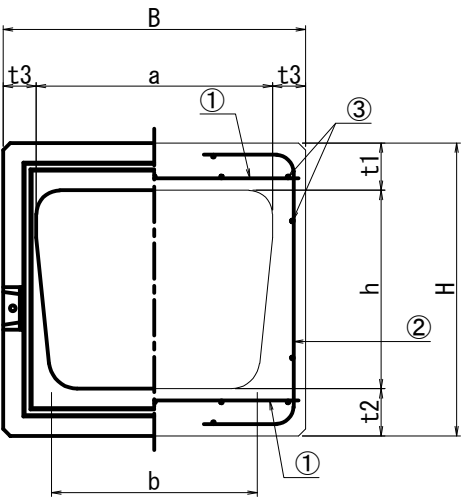
特記事項

- ・ $\sigma_c k = 35 \text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295とする。
- ・ 吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 製品の接合はボルト又はプレートにて行う。
- ・ 継ぎ手構造は、止水機能を有すること。

参考図表



II 型



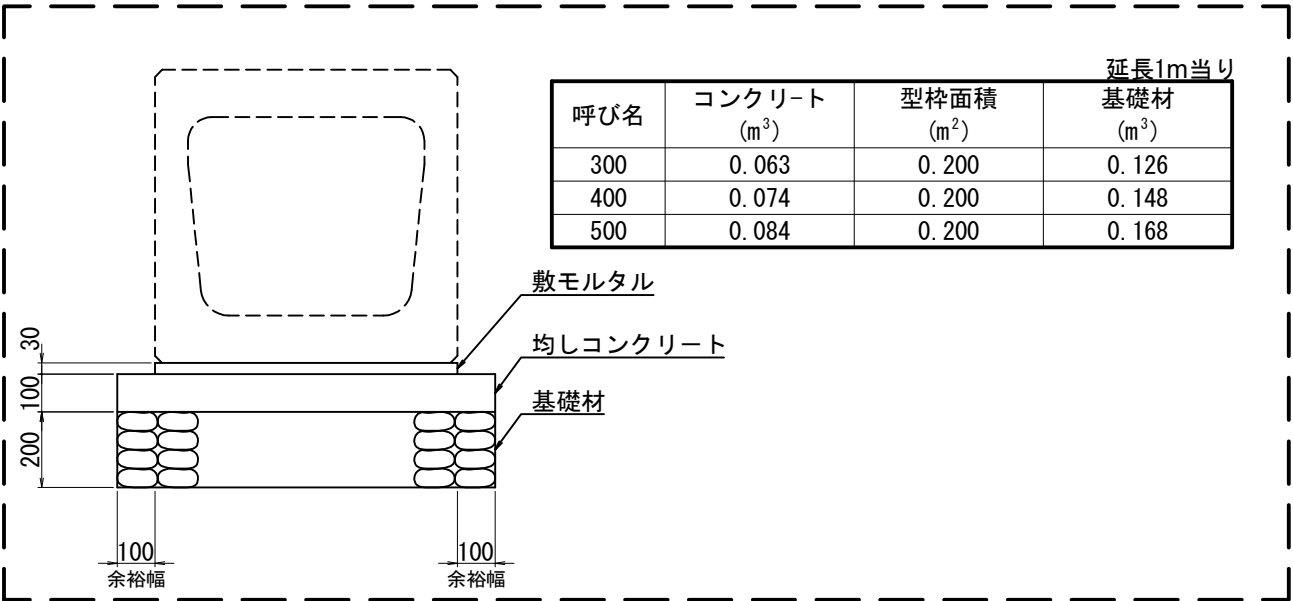
呼び名	寸法 (mm)									鉄筋						参考 質量 (Kg)
										①		②		③		
	a	b	h	t1	t2	t3	B	H	L	径	本数	径	本数	径	本数	
300	300	260	300	80	80	65	430	460	2000	D10	18	D10	18	φ 6	12	540
400	400	345	360	90	90	70	540	540	2000	D10	20	D10	20	φ 6	16	748
500	500	435	420	100	100	70	640	620	2000	D13	14	D13	14	φ 6	18	954
許容差	±4			+4, -2			-		+10, -5	-						-

注) 適用土被りは、0.2m～3.0m

特記事項

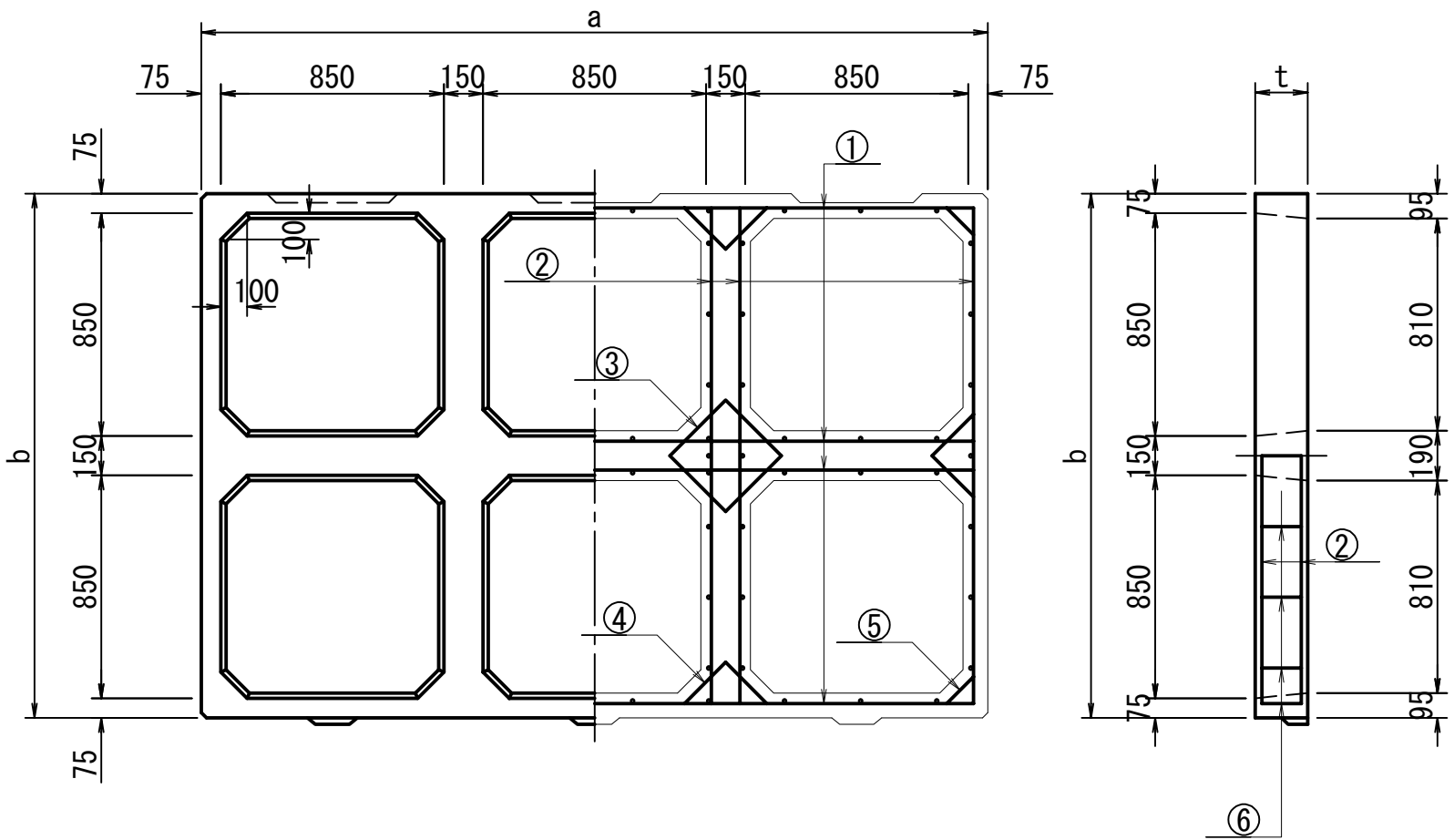
- ・ $\sigma_c k = 30 \text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。
- ・ 吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 製品の接合はボルト又はプレートにて行う。
- ・ 継ぎ手構造は、止水機能を有すること。

参考図表



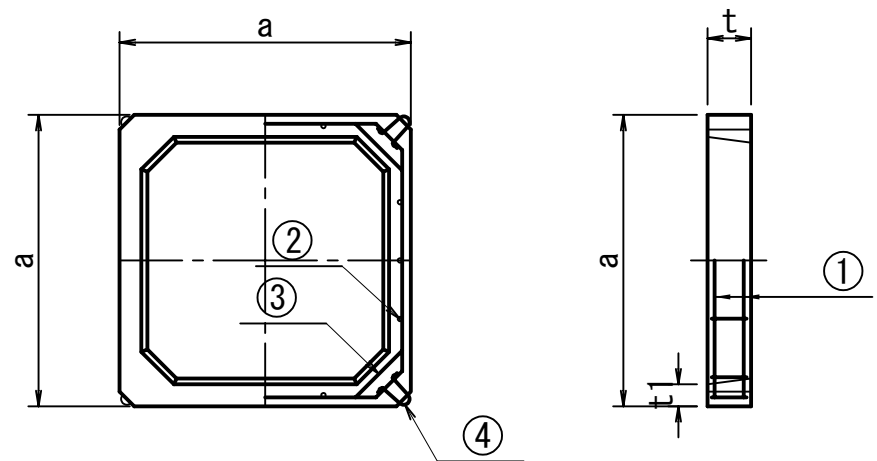
名 称	法枠ブロック	標準設計番号	共－ V － 1
		工種記号	PF I ～ PF II

I 型



呼び名	寸 法 (mm)			鉄 筋												参考質量 (kg)
				①		②		③		④		⑤		⑥		
	a	b	t	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
I 型	3000	2000	200	D10	8	D10	12	4	16	4	24	4	8	4	82	985
許容差	±5			—												—

II 型



呼び名	寸 法 (mm)			鉄 筋								参考質量 (kg)
				①		②		③		④		
	a	t	t1	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
Ⅱ 型-150	1000	150	75	6	2	4	20	4	8	6	4	118
Ⅱ 型-200	1000	200	75	6 4	2 1	4	20	4	8	6	4	158
許容差	±3	+5, -3	±3	—								—

特記事項

- ・ 詳細は、「法枠ブロック設計施工要領(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ I 型は $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上、II 型は $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名
称

石張ブロック

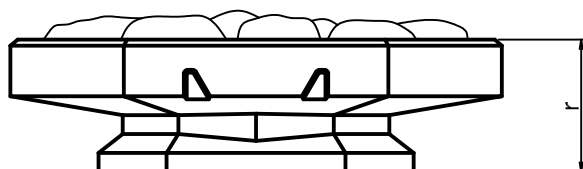
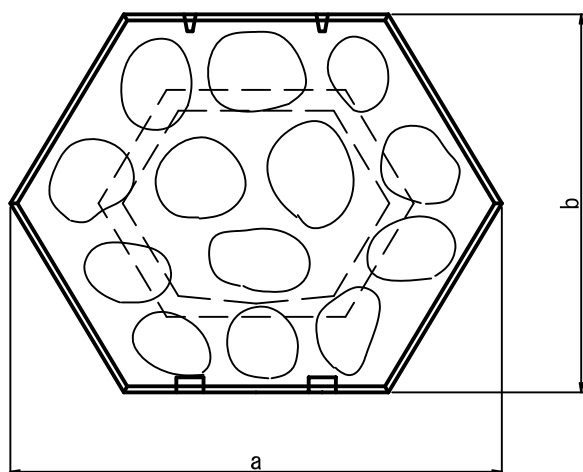
標準設計番号

共－VI－1

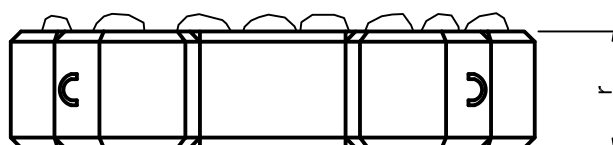
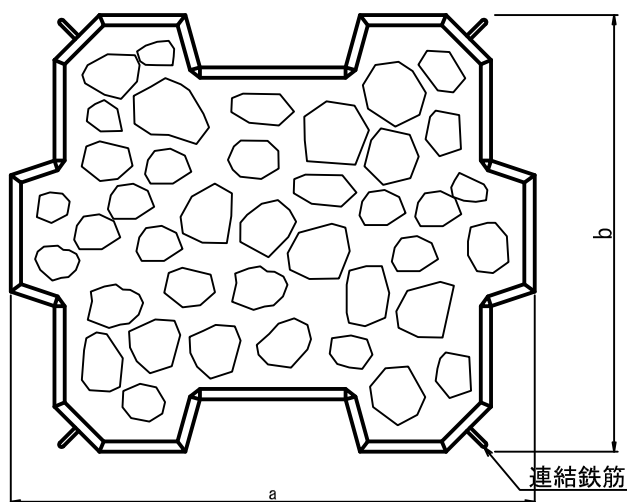
工種記号

SK

I 型



II 型



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	a	b	r	
I 型	1300	1000	350	565
II 型	1980	1650	440	2590
許容差	±3	±3	+8 -5	—

特記事項

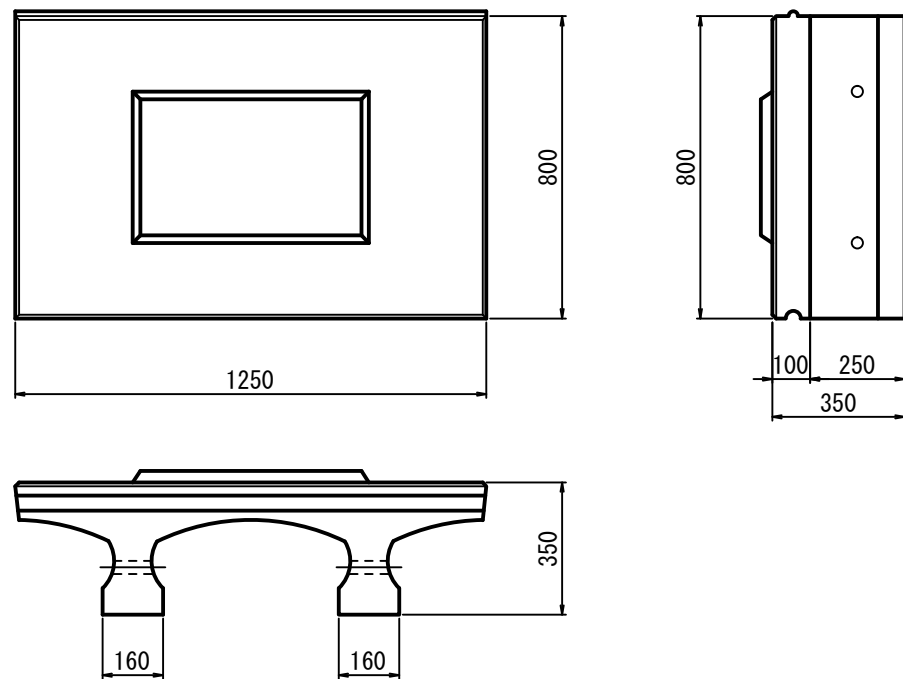
- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 栗石・玉石等を配置する。
- ・ ブロック間の接合には連結金具を用いて、モルタルを充填する。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

参考数量

名	称	規 格	胴込めコンクリート量 (m ³)
I 型	標 準	1300×1000×350	0.120
	根 石	1300× 500×350	0.047
	天 端	1300× 500×350	0.047
	端 部	650×1000×350	0.051

名 称	積ブロック	標準設計番号	共－VI－3
		工種記号	Rπ1～Rπ2

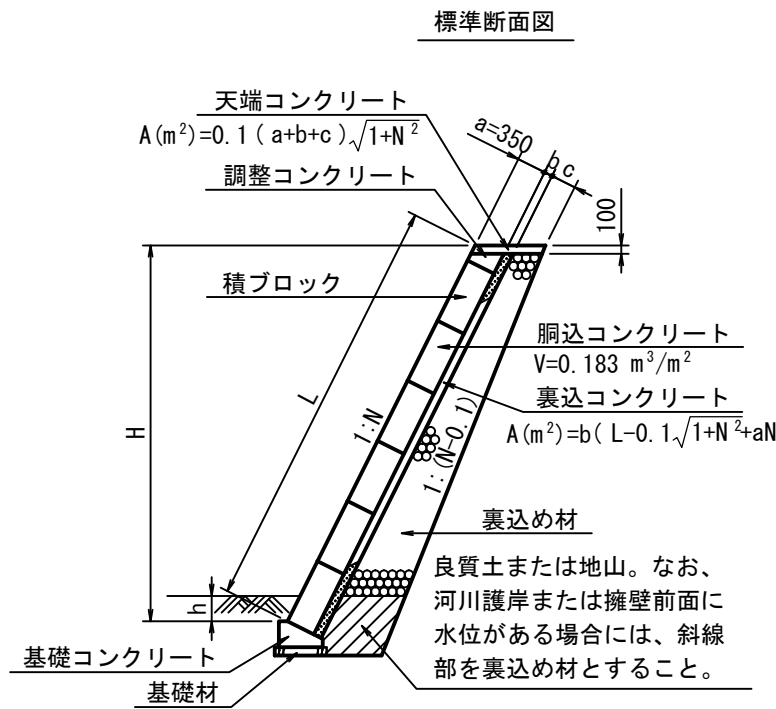


参考質量 (kg)	寸法許容差	
	面	控え
400	± 5	+10, - 5

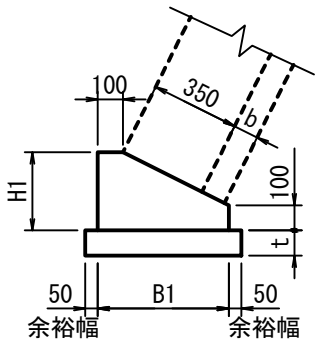
特記事項

- ・ $\sigma c k = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 面の模様は自由とする。
- ・ 控長350mm以上500mm未満については、裏込めコンクリートで対応することとする。
- ・ 水抜き孔を設けることができる。
- ・ ブロック形状は、水平積を考慮した形状とすることができる。

参考図表



裏込め材料計算一般式 (m ²)	
擁壁前面に水位がない場合	
$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} \left(2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1) \right)$	
河川護岸または擁壁前面に水位がある場合	
$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} \left(0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+t) \right)$	



延長1m当り							
項目 b	B1 (mm)	H1 (mm)	基礎コン クリート (m ³)	基礎 型枠面積 (m ²)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
b= 0cm	430	250	0.083	0.350	50	100	0.053
b=10cm	520	300	0.144	0.400			0.062
b=15cm	550	350	0.136	0.450			0.065

名
称

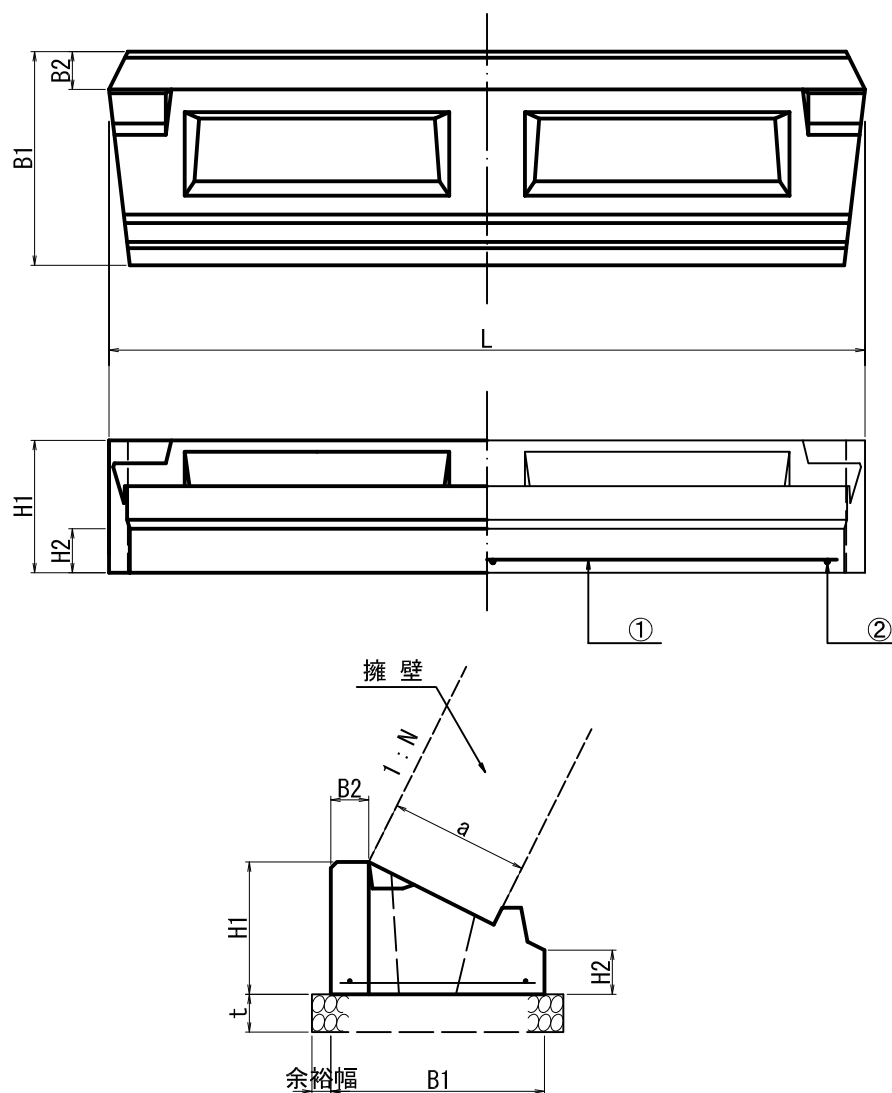
ブロック積基礎

標準設計番号

共－VI－3

工種記号

－



項目 呼び名	寸 法 (mm)						鉄 筋				参 考 質 量 (kg)
	B1	B2	a	H1	H2	L	①		②		
							径	本 数	径	本 数	
H300	520	100	370	300	90	2000	D10	2	D10	3	390
H350	565	100	370	350	117	2000	D10	2	D10	3	510
許容差	±3		—	±3		+5,-3	—				—

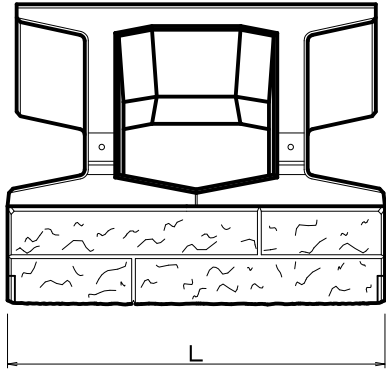
特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 用心鉄筋は、SD295とする。
- ・ ブロックの結合は、専用プレート金具を使用し、間詰コンクリートを打設する。
- ・ 3分・4分等の法面勾配が急になる場合には、均しコンクリートで調整する。

参考図表

項目 呼び名	参考数量			延長1m当り	
	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m^2)	中詰コン クリート (m^3)	裏込コン クリート厚 (cm)
H300	50	100	0.620	0.030	0～10
H350	50	100	0.665	0.035	15

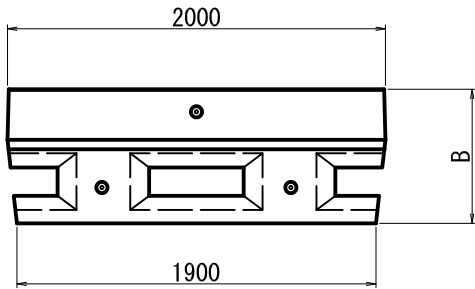
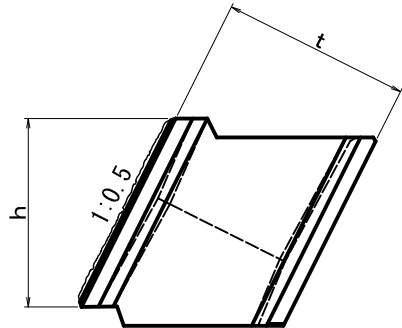
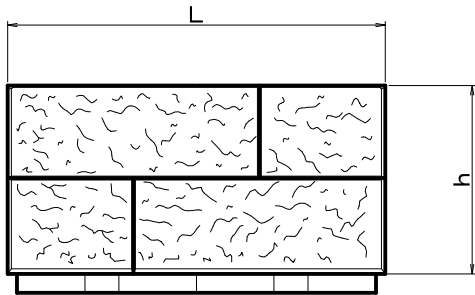
名 称	大型コンクリート積ブロック	標準設計番号	ー
		工種記号	ー



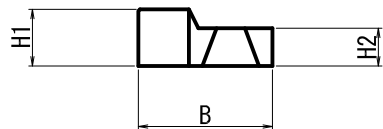
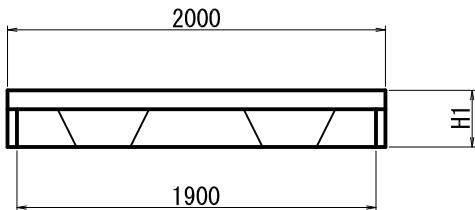
寸 法 (mm)			質 量
t	L	h	
500～	1250～2000	596～1000	350kg/m ² 以上

寸法許容差

t	L, h
+10, -5	±5



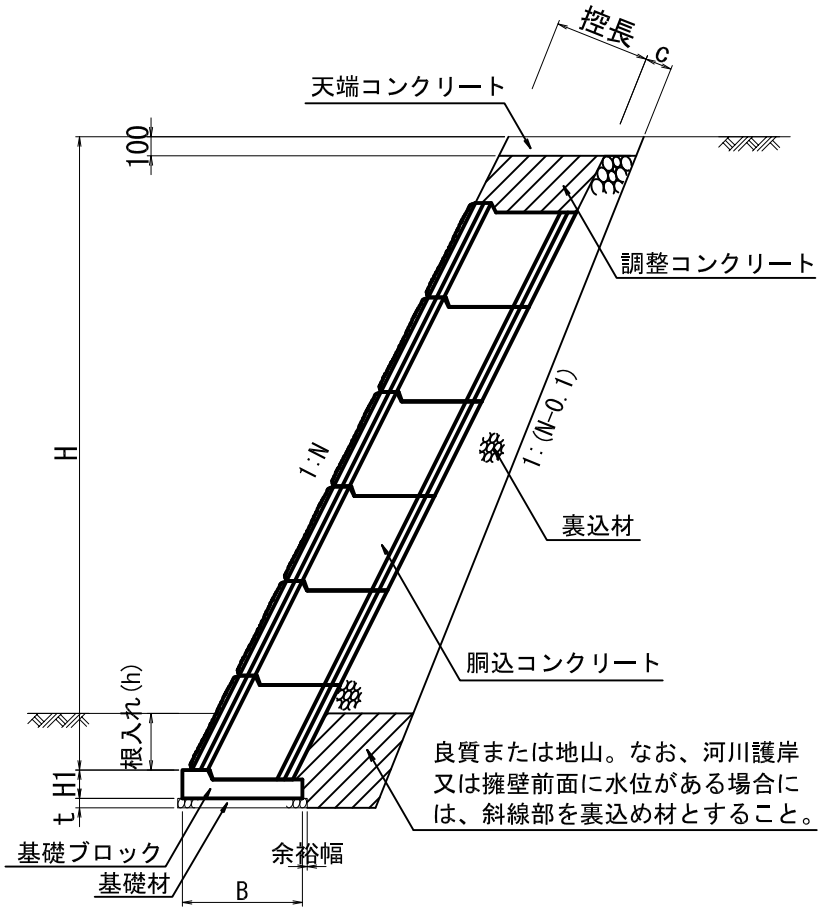
呼び名	寸 法 (mm)			参考質量 (kg)
	H1	H2	B	
50型	300	200	710	650
75型	300	200	990	860
100型	300	200	1270	1050
許 容 差	±3			ー



特記事項

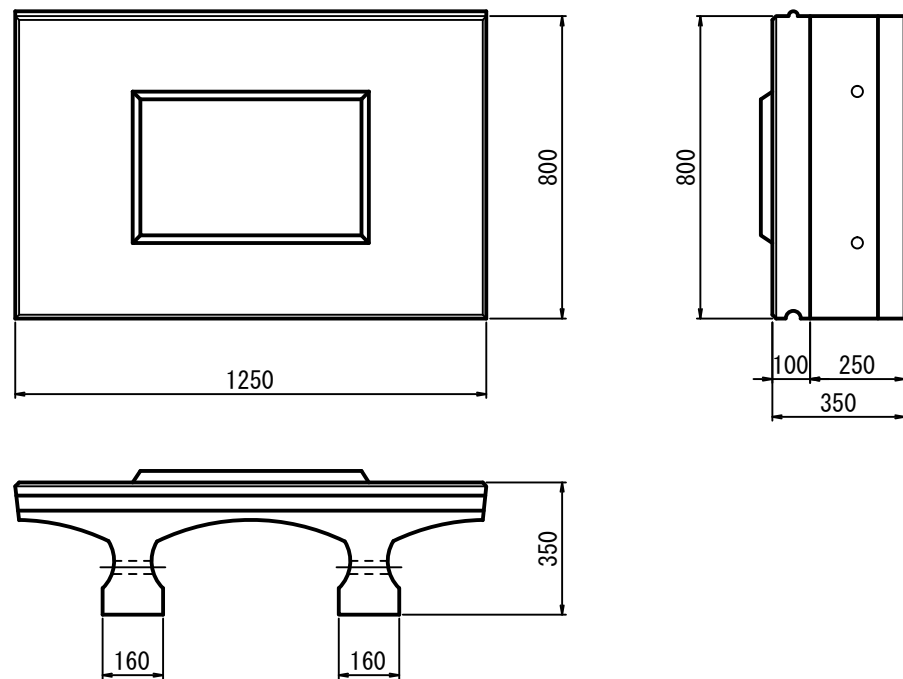
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 表面模様は自由とする。
- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。

参考図表



裏込め材料計算一般式 (m ²)
擁壁前面に水位がない場合 $A = \frac{(H-h-0.1)}{2} \left(2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1) \right)$
河川護岸または擁壁前面に水位がある場合 $A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} \left(0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+t) \right)$

名称	張ブロック	標準設計番号	共－VI－4
		工種記号	Kπ1～Kπ3

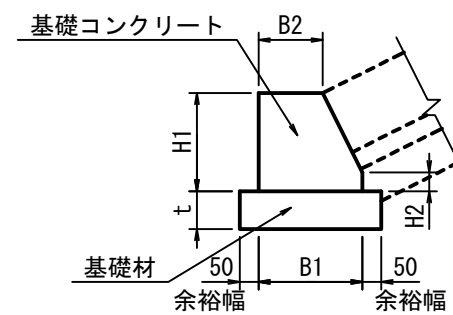
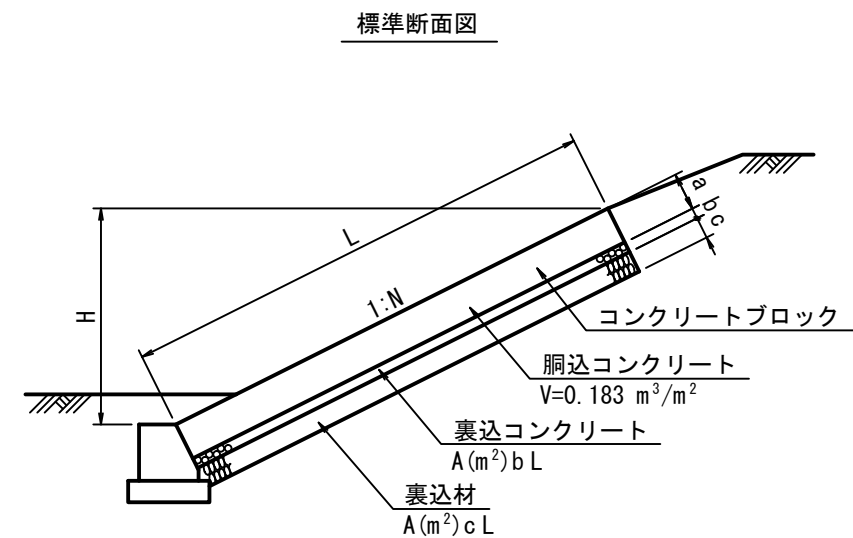


参考質量 (kg)	寸法許容差	
	面	控え
400	± 5	+10, - 5

特記事項

- ・ $\sigma_c k = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 面の模様は自由とする。
- ・ 水抜き孔を設けることができる。

参考図表



延長1m当り									
項目 N	B1 (mm)	B2 (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	基礎コン クリート (m³)	基礎 型枠面積 (m²)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m³)
1.0	700	300	500	100	0.270	1.166	50	100	0.08
1.5	560			100	0.228	1.077			0.066
2.0	550			—	0.213	1.059			0.065

名
称

大型平張ブロック

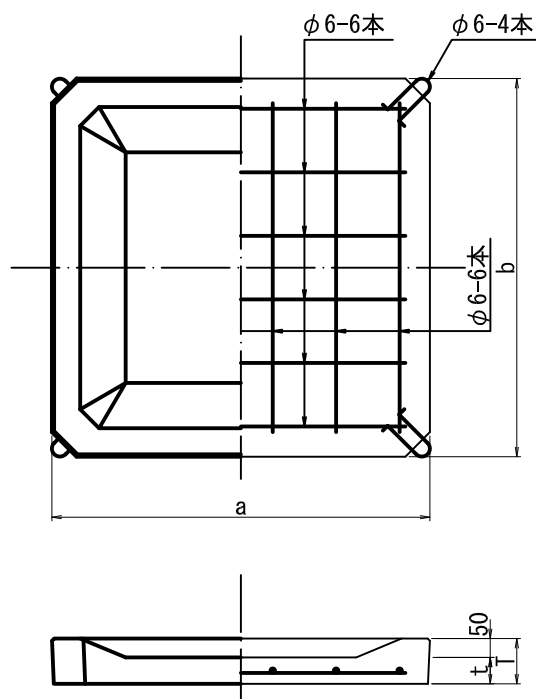
標準設計番号

共－VI－5

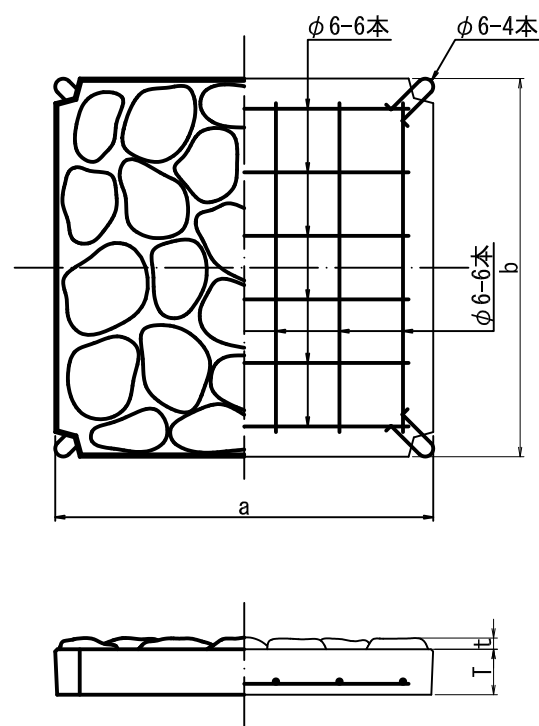
工種記号

FB

Ⅰ 型



Ⅱ 型



呼 び 名	寸 法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	T	t	
Ⅰ 型	1000	1000	120～250	70～200	200～495
Ⅱ 型	950～	950～	80～150	25～150	210～735
許 容 差	±3	±3	+5,-3	+5,-3	—

特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 用心鉄筋はJIS G 3532に規定する鉄線とする。
- ・ モルタルや金具を用いてブロック同士を接合する。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

名
称

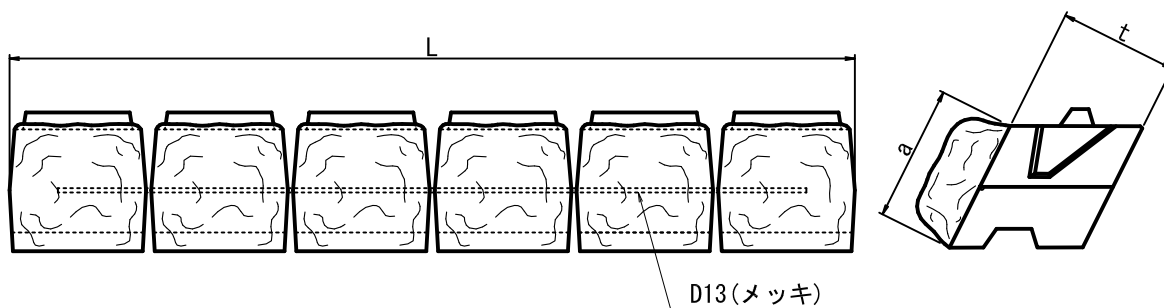
擬石型積ブロック

標準設計番号

共－VI－7

工種記号

RG



寸 法 (mm)			質 量
L	a	t	
500～2500	280～	350以上	350kg/m ² 以上

寸法許容差

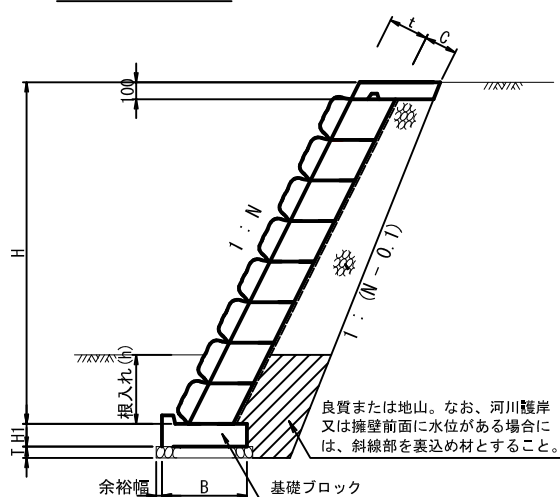
L, a	t
±5	+10, -5

特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。
- ・ 面模様は自由とする。

参考図表

標準断面図

裏込め材料計算一般式 (m²)

擁壁前面に水位がない場合

$$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} \left(2c\sqrt{1+N^2} + 0.1 (H-h+0.1) \right)$$

河川護岸または擁壁前面に水位がある場合

$$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} \left(0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1 (H+H_1+T) \right)$$

名
称

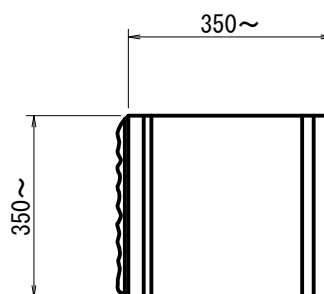
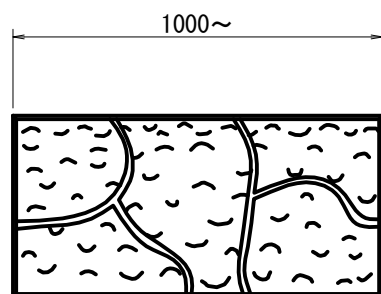
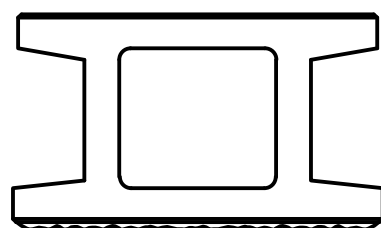
中空型積ブロック

標準設計番号

共－Ⅵ－８

工種記号

RC

参考質量 (kg/m²)

350以上

寸法許容差

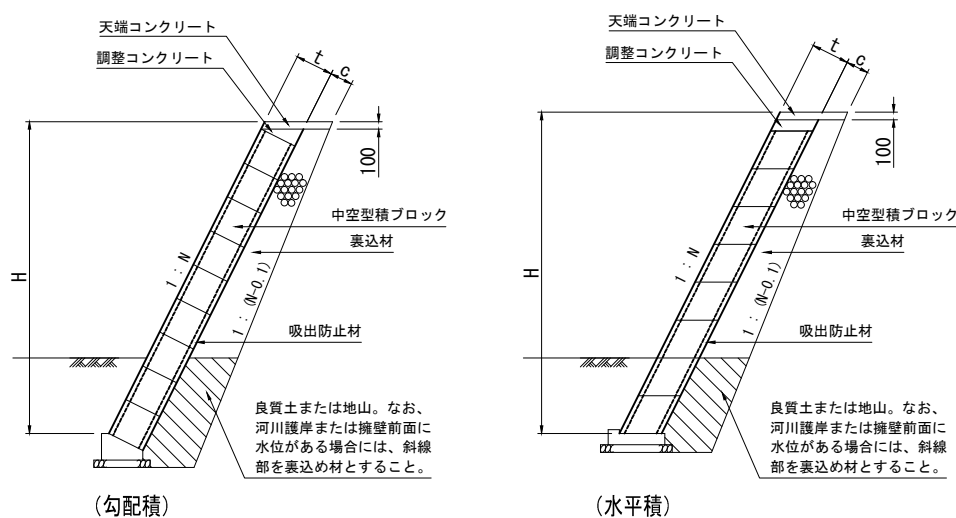
面	控え
±5	+10, -5

特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・表面模様は自由とする。
- ・ブロック１個当りの法面積（法長方向）は 0.5 m^2 以上とする。
- ・水平積構造もこれに含む。

参考図表

標準構造図



裏込め材厚さ (mm)	C
裏込め材が良好な場合	200
裏込め材が普通な場合	300

名
称

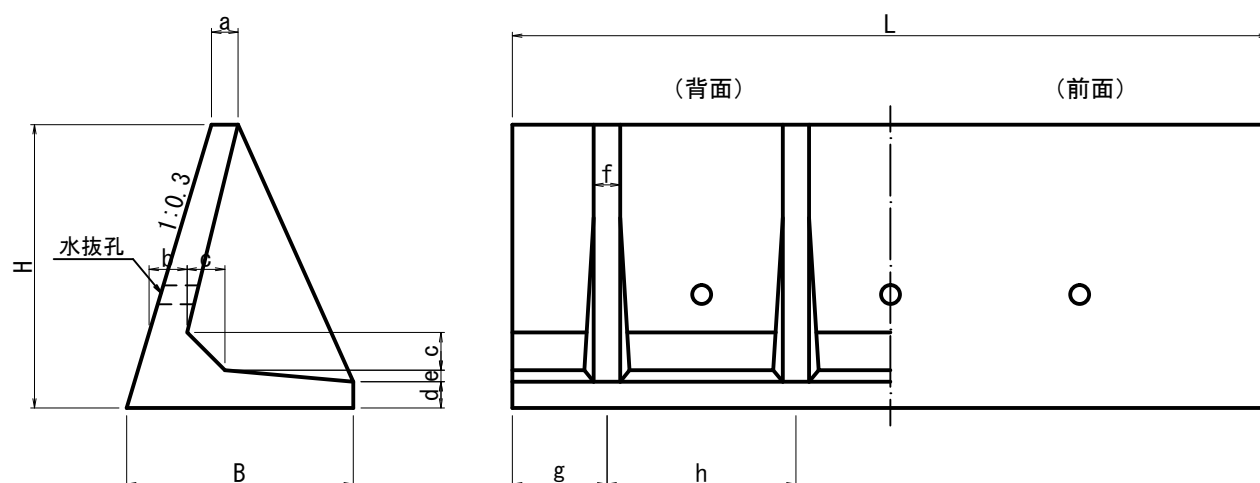
法先ブロック

標準設計番号

共－Ⅶ－1

工種記号

NW

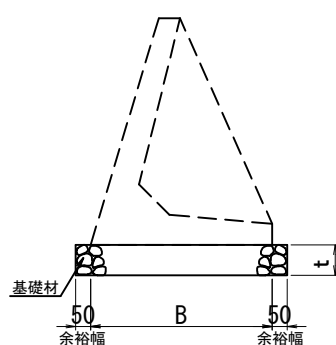


呼び名	寸 法 (mm)											参考質量 (kg)
	H	B	a	b	d	c	e	f	g	h	L	
500	500	450	70	70	70	70	—	70	250	500	2000 1000	355 178
750	750	600	70	100	70	100	30	70	250	500	2000 1000	644 322
許容差	±3					—					+5, -3	—

特記事項

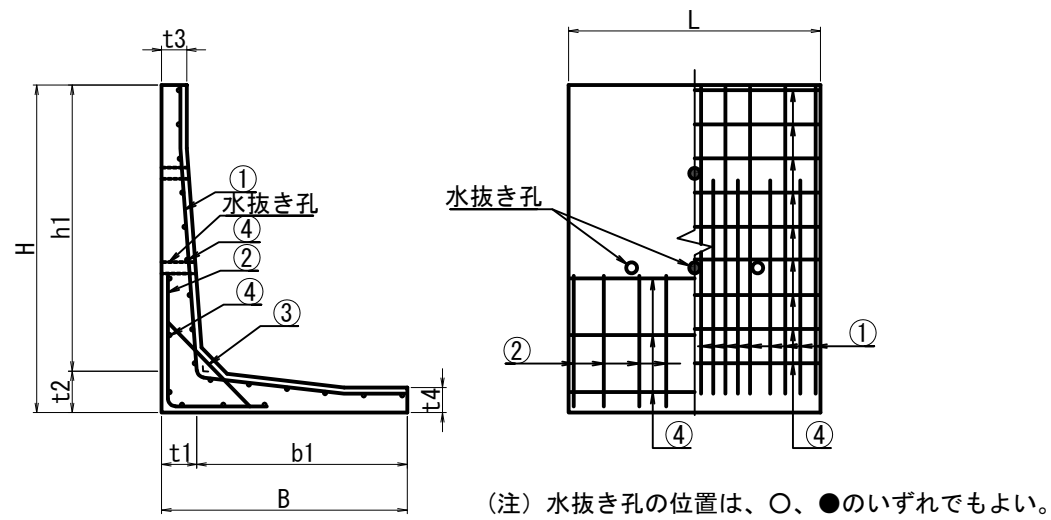
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ L寸法については、500mmとすることができる。この場合、控壁は中央に1箇所設けること。

参考図表



参考数量		延長1m当り	
項目	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
呼び名			
500	50	100	0.055
750			0.070

名 称	L 型擁壁	標準設計番号	共－Ⅶ－2
		工種記号	L W

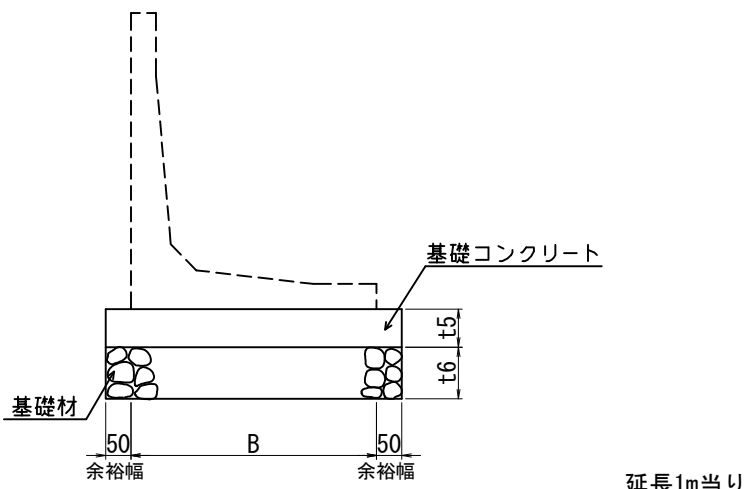


呼び名		寸 法 (mm)									鉄 筋								参考質量 (kg)						
											①		②		③		④								
		H	B	h ₁	b ₁	t ₁	t ₂	t ₃	t ₄	L	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数							
1000	AI	1000	800	900	700	100	100	100	100	4000	D6	21	D6	11	D6	11	D6	11	1750						
	AII		1000																			1950			
	BI		850								750	100	100	100	100	4000	D6	29	D6	15	D6	15	D6	12	1800
	BII		1200																						
	CI		1250		1150						D6	33	D6	17	D6	17	D6	14	2200						
1500	AI	1500	1050	1375	925	125	125	100	100	4000	D10	21	D10	11	D10	11	D6	15	2740						
	AII		1300																			2990			
	BI		1200								1075	125	125	100	100	4000	D10	25	D10	13	D10	13	D6	17	2890
	BII		1400																						
	CI		1550		1425						D10	33	D10	17	D10	17	D6	18	3240						
2000	AI	2000	1300	1850	1150	150	150	100	100	4000	D10	33	D10	17	D10	17	D6	18	3930						
	AII		1550																			4180			
	BI		1500								1350	150	150	100	100	4000	D10	41	D10	21	D10	21	D6	20	4130
	BII		1700																						
	CI		1850		1700						D13	29	D13	15	D13	15	D6	24	4480						
2500	AI	2500	1600	2320	1420	180	180	100	100	4000	D13	26	D13	14	D13	14	D10	22	5460						
	AII		1800																			5660			
	BI		1750								1570	180	180	100	100	4000	D13	34	D13	18	D13	18	D10	22	5610
	BII		2000																						
	CI		2150		1970						D13	42	D13	22	D13	22	D10	25	6010						
3000	AI	3000	1850	2775	1625	225	225	100	100	4000	D13	34	D13	18	D13	18	D10	26	7500						
	AII		2100																			7750			
	BI		2050								1825	225	225	100	100	4000	D13	42	D13	22	D13	22	D10	26	7700
	BII		2300																						
	CI		2450		2225						D16	34	D16	18	D16	18	D10	29	8100						
3500	AI	3500	2150	3200	1850	300	300	150	150	2000	D13	17	D13	9	D13	9	D10	28	6110						
	AII		2350																			6260			
	BI		2350								2050	300	300	150	150	2000	D13	21	D13	11	D13	11	D10	29	6260
	BII		2600																						
	CI		2700		2400						D16	17	D16	9	D16	9	D10	33	6520						
4000	AI	4000	2400	3700	2100	300	300	150	150	2000	D16	17	D16	9	D16	9	D10	34	6670						
	AII		2600																			6820			
	BI		2650								2350	300	300	150	150	2000	D16	21	D16	11	D16	11	D10	42	6860
	BII		2900																						
	CI		3000		2700						D16	25	D16	13	D16	13	D10	49	7120						
許容差			+10 - 5		—		+ 5 - 2			+10 - 5	—								—						

特記事項

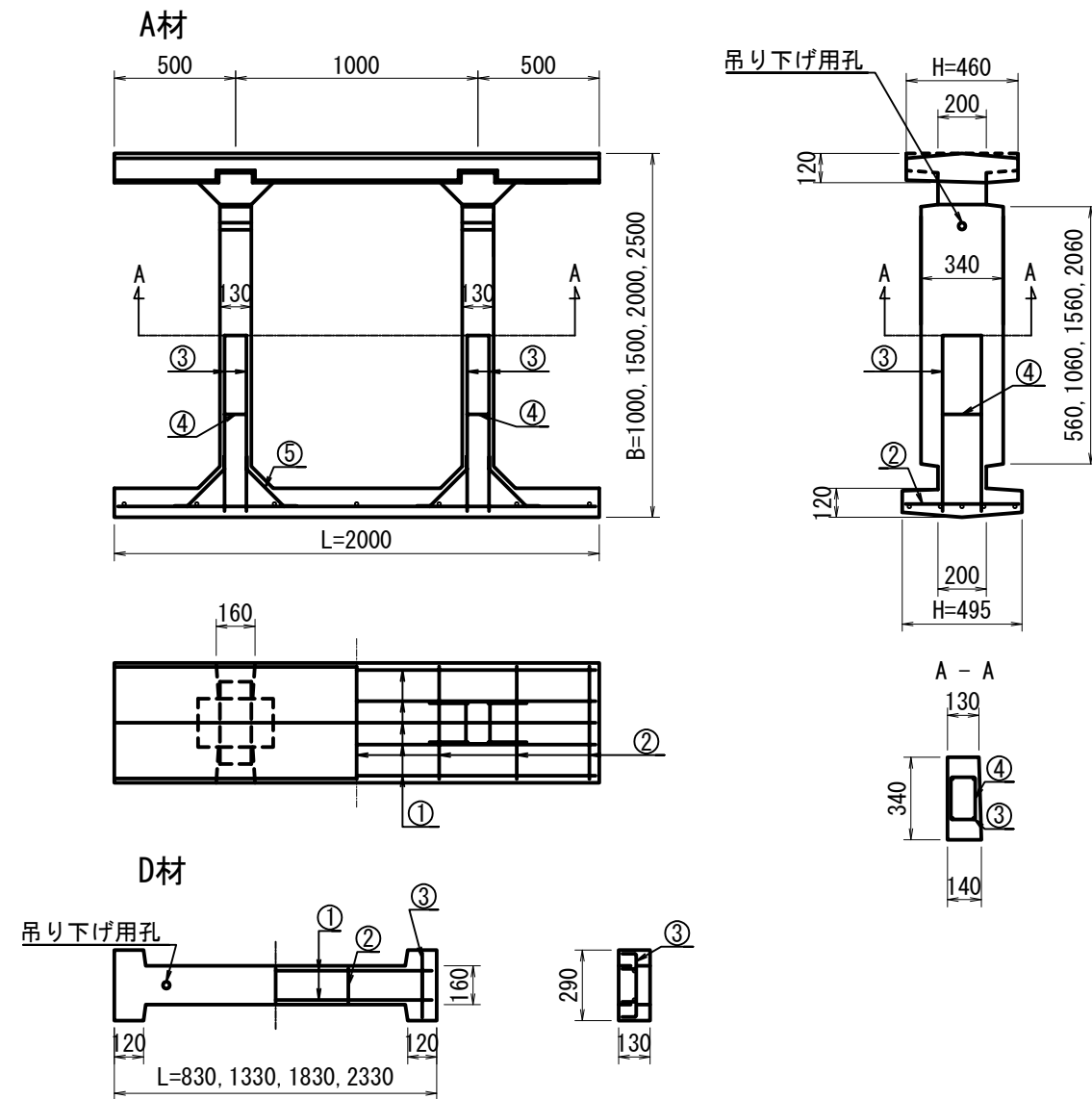
- ・ $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295とする。
- ・ 底版にグラウト注入用の小径の孔を設けることができる。

参考図表



項目 呼び名		基礎コンクリート リート余裕幅 (mm)	基礎コンクリート厚 t5 (mm)	コンクリート (m³)	型枠 面積 (m²)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t6 (mm)	延長1m当り	
								基礎材 (m³)	基礎材 (m³)
1000	AI	50	100	0.090	0.200	50	200	0.180	0.180
	AII			0.110	0.200			0.220	0.220
	BI			0.095	0.200			0.190	0.190
	BII			0.130	0.200			0.260	0.260
1500	CI	50	100	0.135	0.200	50	200	0.270	0.270
	AI			0.115	0.200			0.230	0.230
	AII			0.140	0.200			0.280	0.280
	BI			0.130	0.200			0.260	0.260
2000	BII	50	100	0.150	0.200	50	200	0.300	0.300
	CI			0.165	0.200			0.330	0.330
	AI			0.140	0.200			0.280	0.280
	AII			0.165	0.200			0.330	0.330
2500	BI	50	100	0.160	0.200	50	200	0.320	0.320
	BII			0.180	0.200			0.360	0.360
	CI			0.195	0.200			0.390	0.390
	AI			0.255	0.300	50	200	0.340	0.340
3000	AII	50	150	0.285	0.300			0.380	0.380
	BI			0.278	0.300			0.370	0.370
	BII			0.315	0.300			0.420	0.420
3500	CI			0.338	0.300	50	200	0.450	0.450
	AI	50	150	0.293	0.300			0.390	0.390
	AII			0.330	0.300			0.440	0.440
	BI			0.323	0.300			0.430	0.430
4000	BII	50	150	0.360	0.300	50	200	0.480	0.480
	CI			0.383	0.300			0.510	0.510
	AI			0.338	0.300			0.450	0.450
	AII			0.368	0.300			0.490	0.490
4000	BI	50	150	0.368	0.300	50	200	0.490	0.490
	BII			0.405	0.300			0.540	0.540
	CI			0.420	0.300			0.560	0.560
	AI			0.375	0.300	50	200	0.500	0.500
4000	AII	50	150	0.405	0.300			0.540	0.540
	BI			0.413	0.300			0.550	0.550
	BII			0.450	0.300			0.600	0.600
	CI			0.465	0.300			0.620	0.620

名称	井桁擁壁(フレーム型)	標準設計番号	共－Ⅶ－4
		工種記号	IW

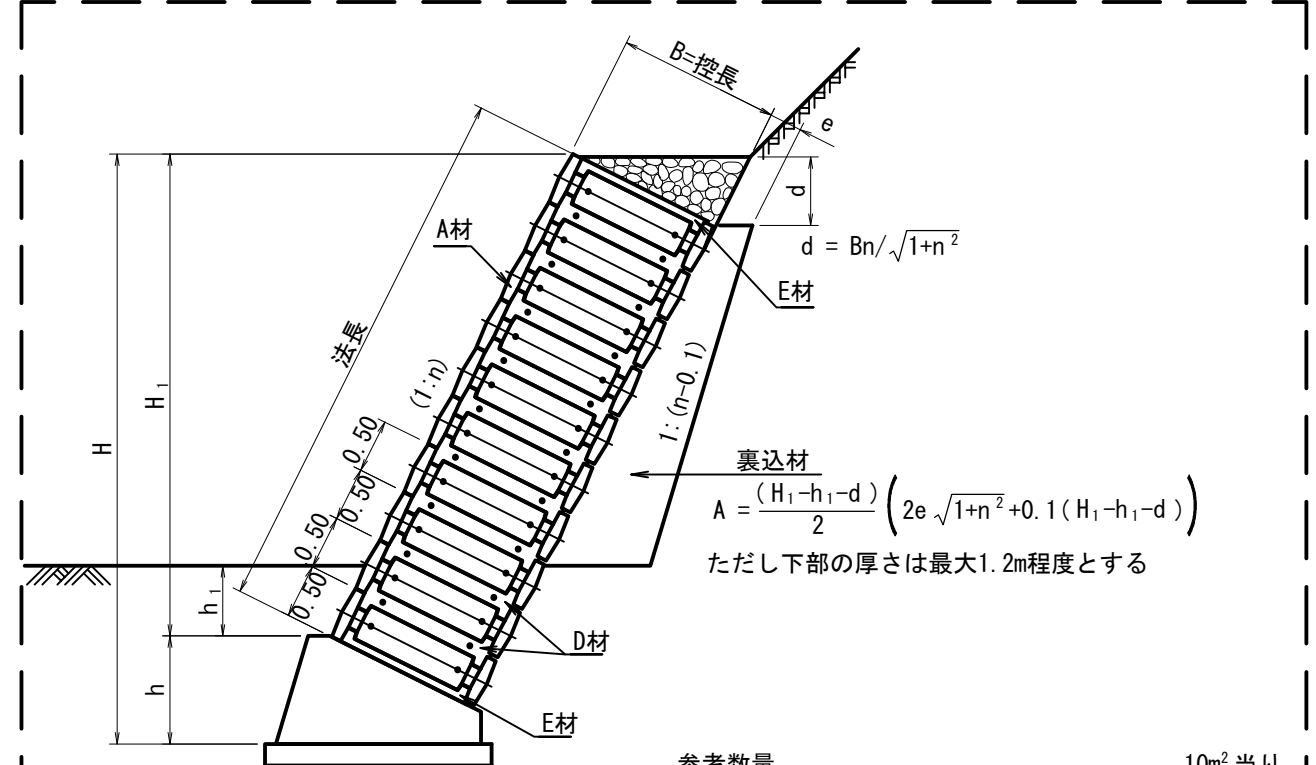


呼び名	寸法 (mm)	鉄筋										参考 質量 (Kg)
		①		②		③		④		⑤		
	B	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
A材	1000	D10	10	D10	14	D10	8	5	4	D10	16	638
	1500								6			748
	2000								6			858
	2500								8			969
D材	1000	D10	2	5	2	5	2	-	-	-	-	52
	1500				3							77
	2000				4							102
	2500				5							127
許容差 (mm)		B±3、H±3、L±5										

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

参考図表

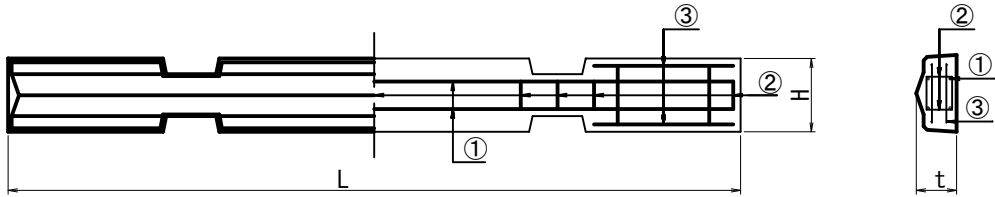


名称	井桁擁壁(組合せ型)	標準設計番号	共－Ⅶ－5
		工種記号	IC

I 型

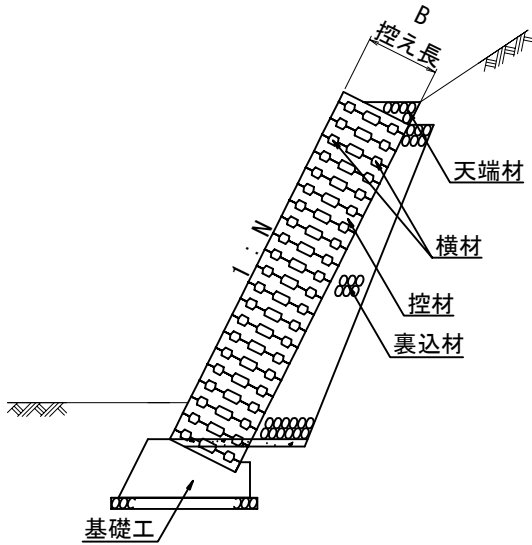
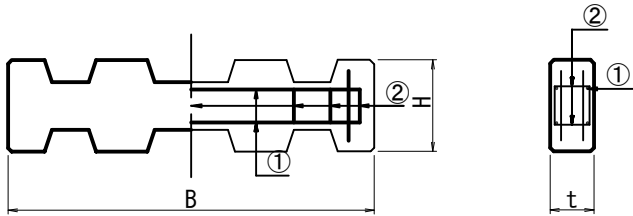
横 材

A材



控 材

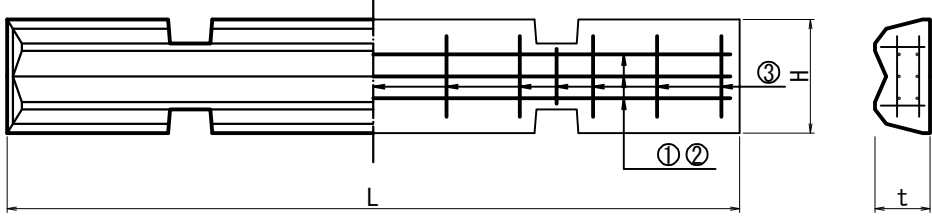
B材



Ⅱ 型

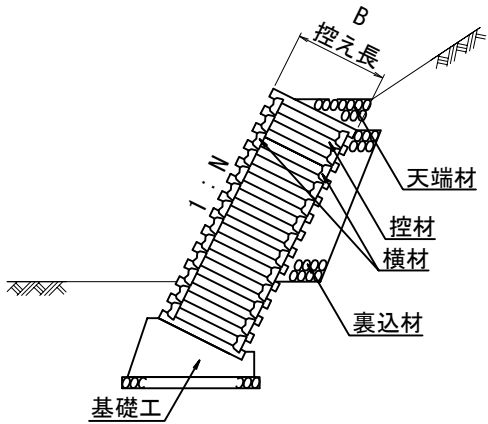
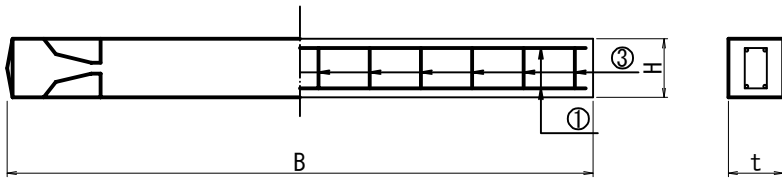
横 材

A材



控 材

D c材



呼 び 名			寸 法 (mm)				鉄 筋						参考質量 (kg)	
							①		②		③			
Ⅰ 型	A材	A-1	2000	—	110	210	D10	4	5.0	9	5.0	8	86	
		A-2	1250							8				52
		A-3	2250							12				95
	B材	B-1	—	1000	120	250	D10	4	5.0	7	—	—	54	
		B-2		1660						9				106
		B-3		2320						12				150
Ⅱ 型	A材	A-1	2000	—	150	160	D10	3	D6	3	5.0	26	176	
	Dc材	1000	—	1000				4	—	7		52		
		1660	—	1660				10	87					
許 容 差			+5,-3	+5,-3	+5,-3	+5,-3	—						—	

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名称

境界標

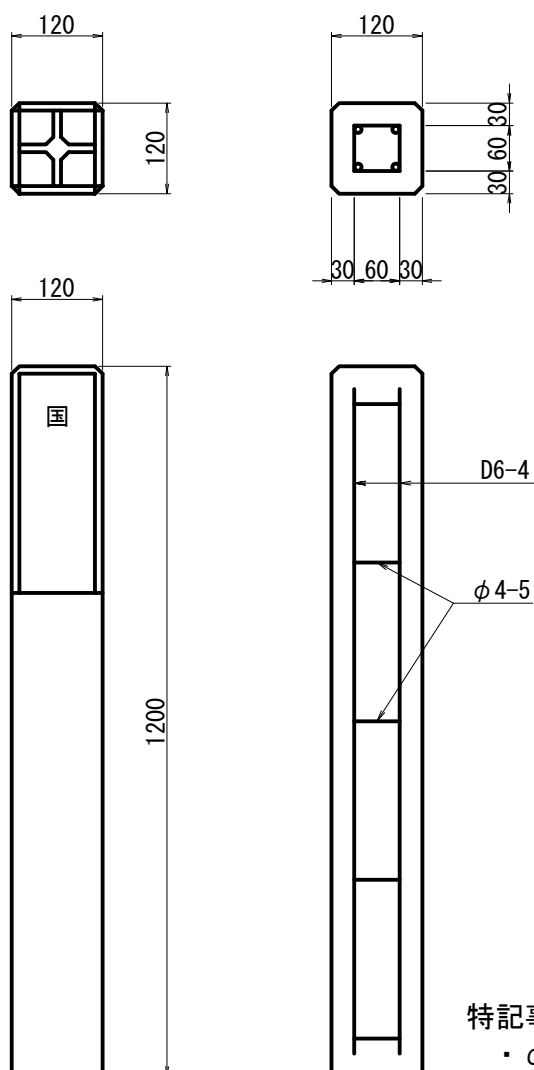
標準設計番号

共－Ⅷ－2

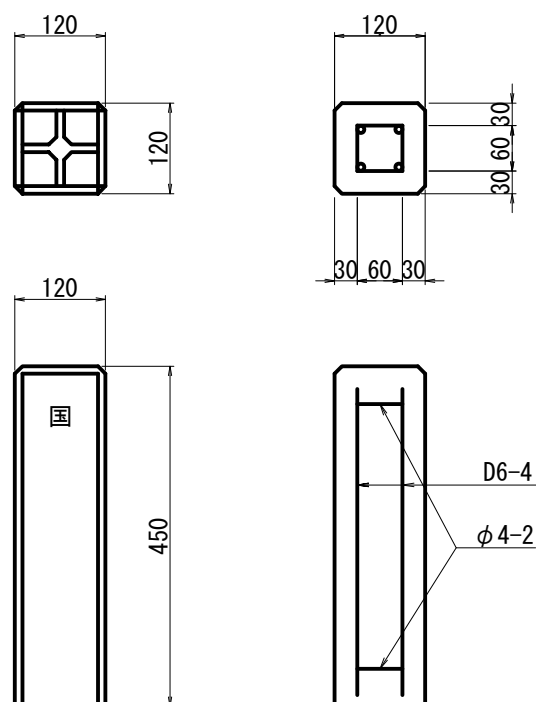
工種記号

K

Ⅰ 型



Ⅱ 型

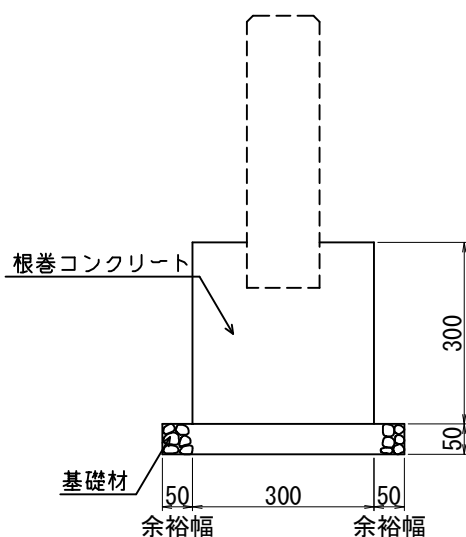


呼 び 名		Ⅰ 型	Ⅱ 型
参考質量 (kg)		39	15
許容差 (mm)	幅	±2	
	長さ	+5, -2	

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

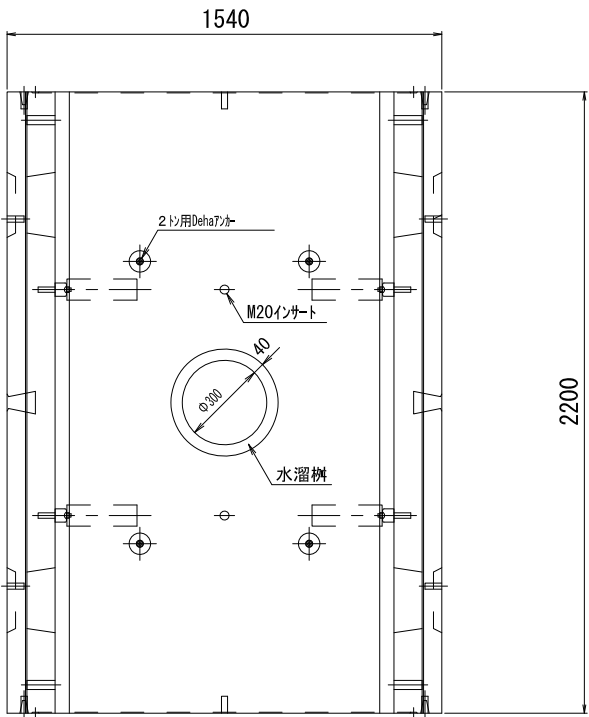
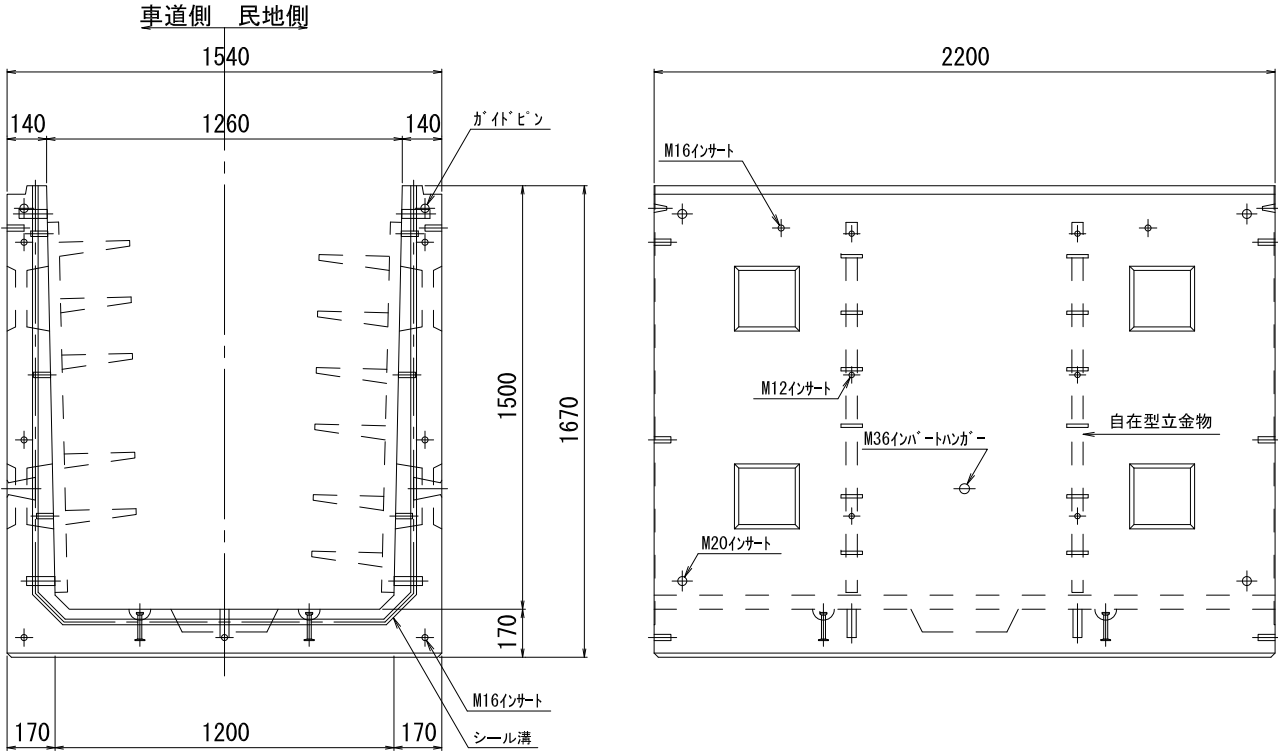
参考図表



項目		1本当り			
呼び名	コンクリート (m^3)	型枠面積 (m^2)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	基礎材 (m^3)
Ⅱ 型	0.027	0.360	50	50	0.008

名 称	電線共同溝（CCBOX）	標準設計番号	共－Ⅷ－3
		工種記号	CCBX

分岐接続部Ⅰ型



許容差

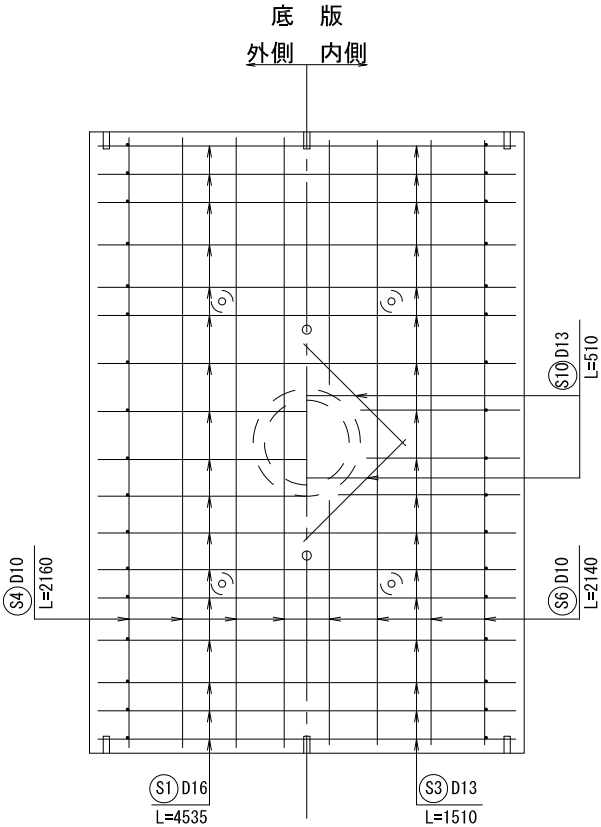
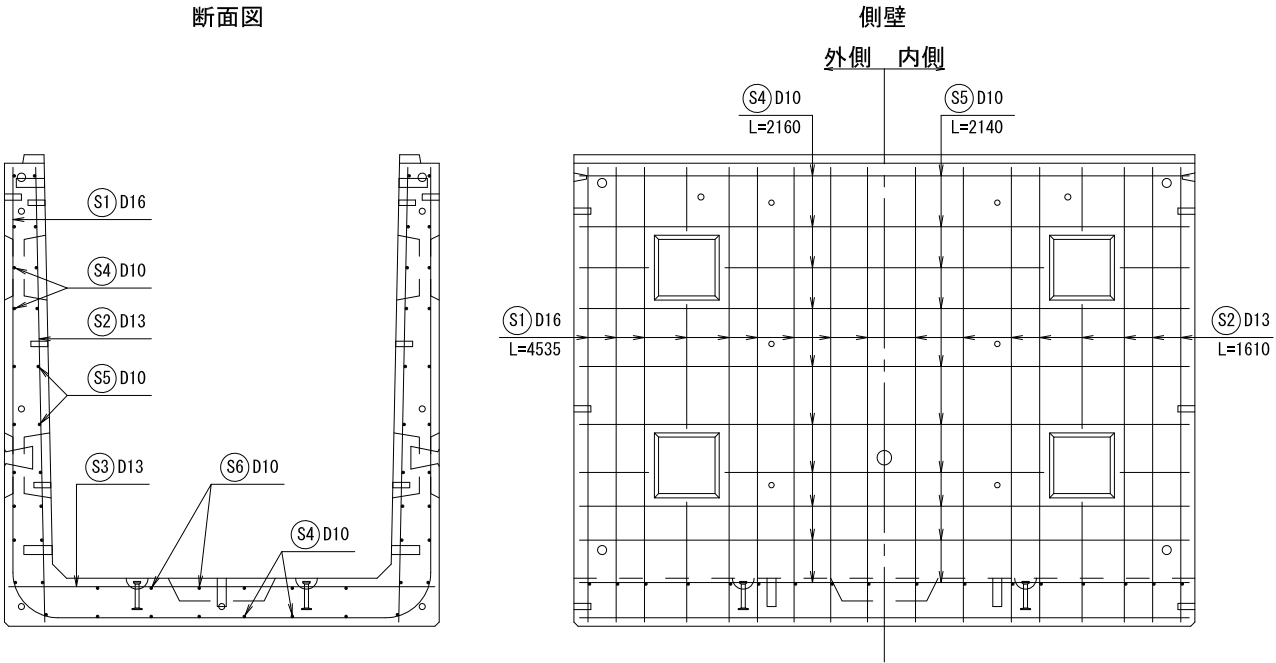
幅・高さ	長さ	部材厚さ
±5	+10、-5	+4、-3

製品参考質量 3850kg

特記事項

- ・構造の詳細は以下による。
 - 電線共同溝マニュアル（案） H12.11 建設省北陸地方建設局
 - 電線共同溝マニュアル（案）改訂版 H16.10 国土交通省北陸地方整備局
 - 電線共同溝（技術）マニュアル（改訂案） H27.10 北陸地方無電柱化協議会

断面図



鉄筋表

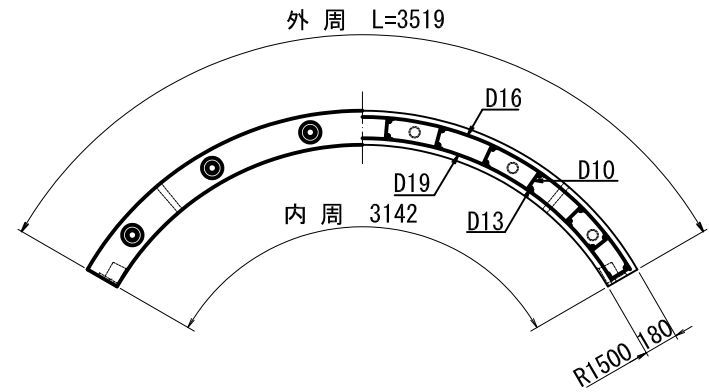
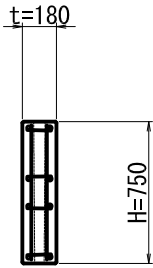
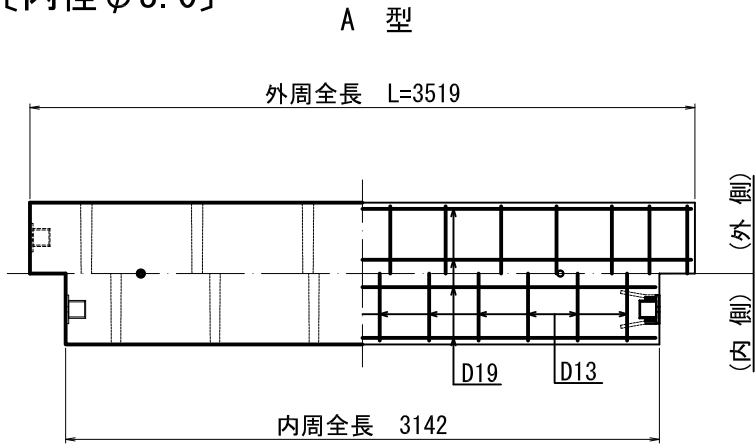
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単重 (kg)	重量 (kg)
S1	D16	4535	17	1.560	117.023
S2	D13	1610	34	0.995	52.397
S3	D13	1510	17	0.995	24.511
S4	D10	2160	28	0.560	32.659
S5	D10	2140	20	0.560	22.758
S6	D10	2140	6	0.560	6.731
S10	D13	510	4	0.995	2.030
合計	D16				117.023
	D13				78.938
	D10				62.148
	総合計				258.109

- ・ $\sigma_{ck} = 3 \text{ ON/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋はSD295及びJIS A 3532に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。
- ・桝には他に低圧分岐桝、横断桝、柱体接続桝、通信接続桝、特殊部Ⅱ型などがある。
- ・それらの製品図はH16.10国土交通省北陸地方整備局 電線共同溝マニュアル（案）改訂版による。
- ・旧タイプ（4期）製品は電線共同溝マニュアル（案）（H12.11 建設省北陸地方建設局）による。

名称	組立集水井筒	標準設計番号	共－Ⅷ－4
		工種記号	砂－集水

一般構造図（内径φ3.5）

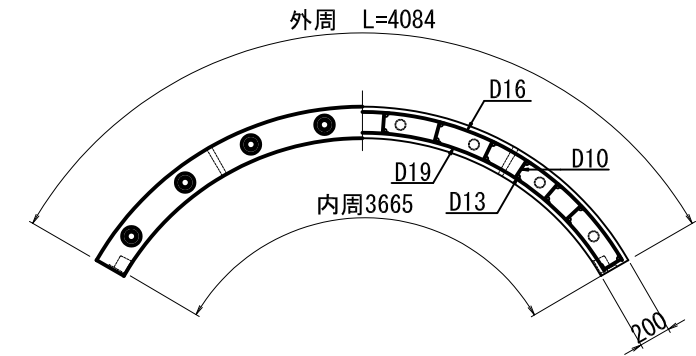
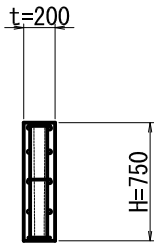
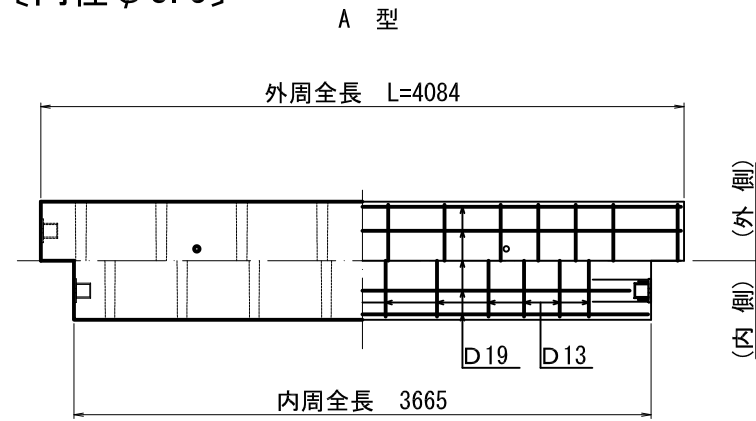
自重沈下方式
〔内径φ3.0〕



自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A 型	1040
	B 型	1040
	C 型	815

寸法許容差		
L	H	t
±3	±3	±3

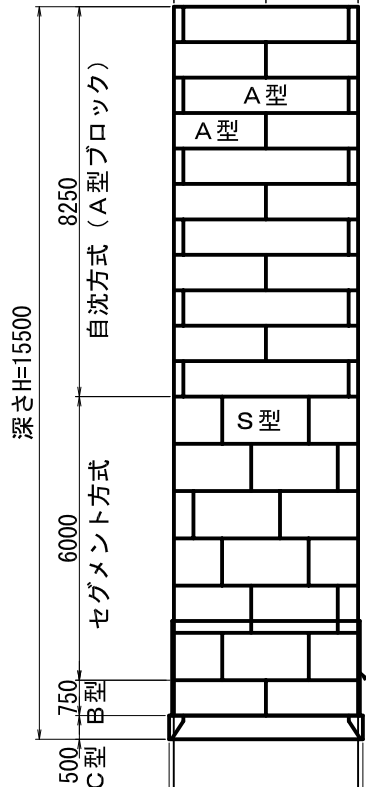
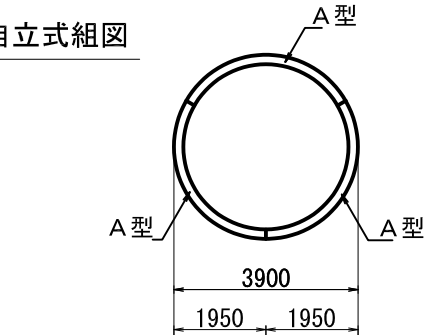
〔内径φ3.5〕



自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A 型	1340
	B 型	1360
	C 型	1030

寸法許容差		
L	H	t
±3	±3	±3

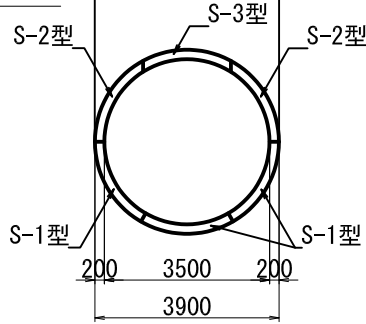
自立式組図



縦方向挿入鉄筋径

内径(m)	径	本数
φ 3.0	D16	18本
φ 3.5	D19	24本

セグメント式組図



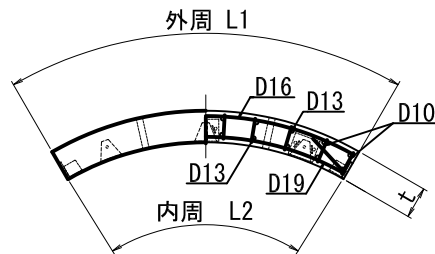
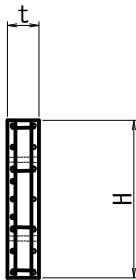
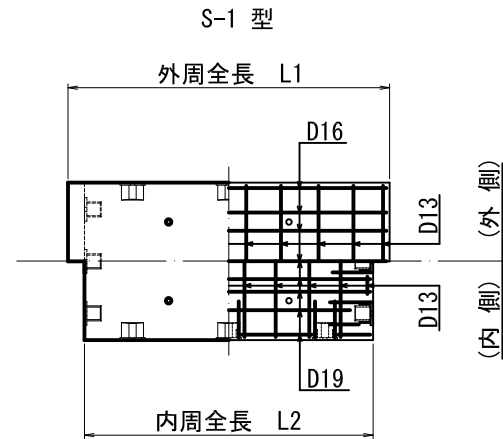
特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295とする。ただし、自沈方式に用いる縦方向挿入鉄筋はSD345とする。

名 称	組立集水井筒	標準設計番号	共－Ⅷ－ 4
		工種記号	砂－集水

セグメント方式

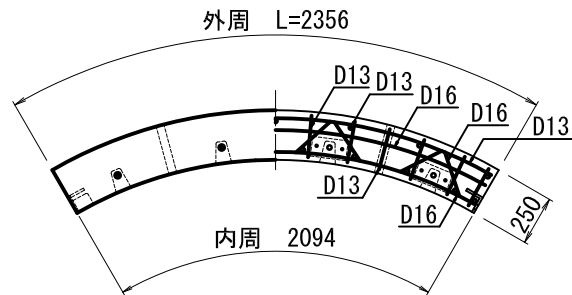
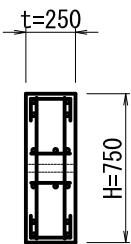
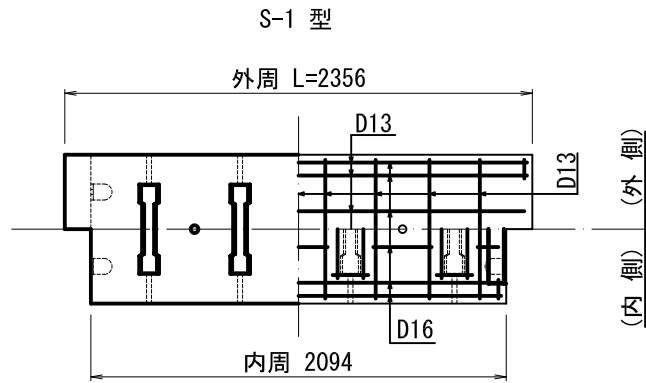
〔内径φ3.0・φ3.5〕



タイプ	参考質量 (kg)	
	内径φ3.0	内径φ3.5
S-1 型	515	900
S-2 型	515	900
S-3 型	515	905

	寸法 (mm)			
	L1	L2	H	T
内径φ3.0	1759	1571	750	180
内径φ3.5	2042	1833	1000	200
寸法許容差	±3	—	±3	±3

〔内径φ4.0〕

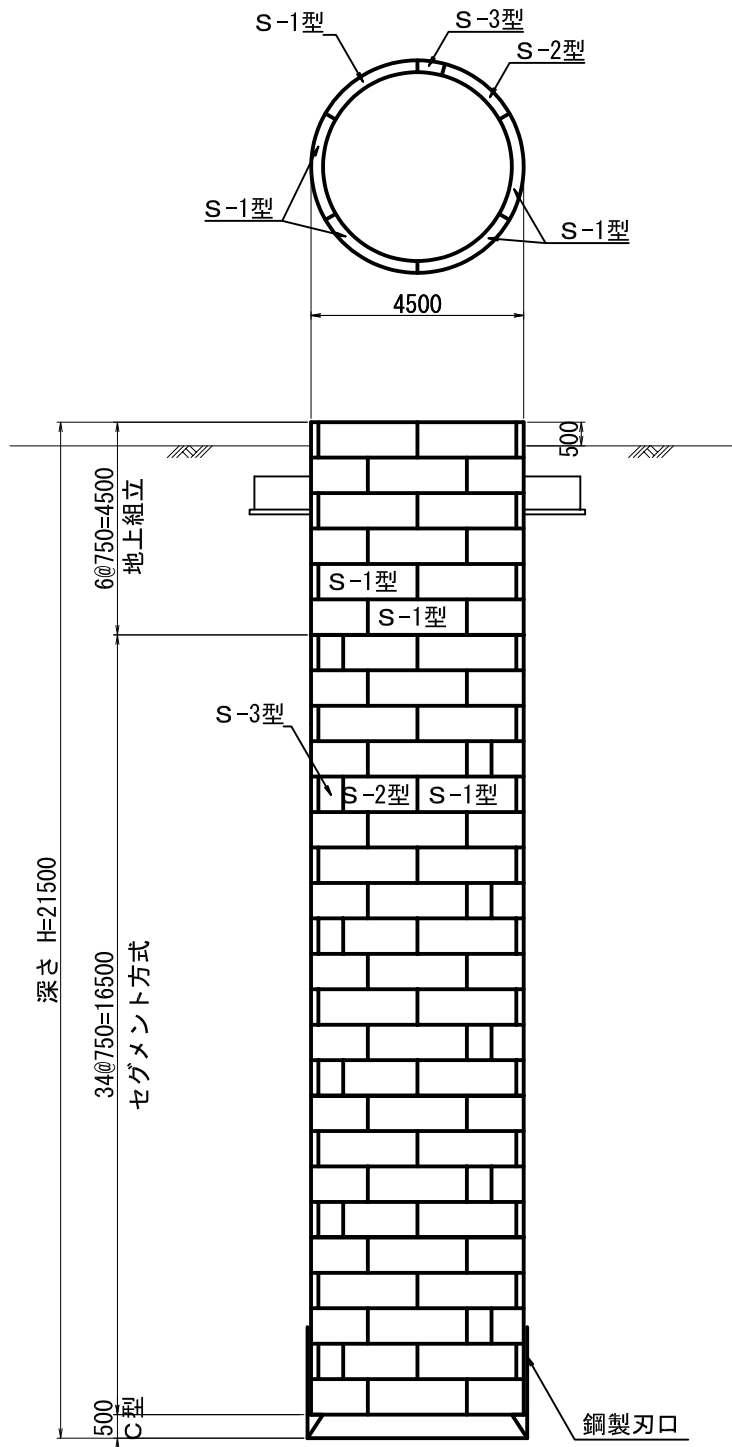


タイプ	参考質量 (kg)
S-1 型	1040
S-2 型	780
S-3 型	260

寸法許容差		
L	H	t
±3	±3	±3

一般構造図 (内径φ4.0)

セグメント式組図

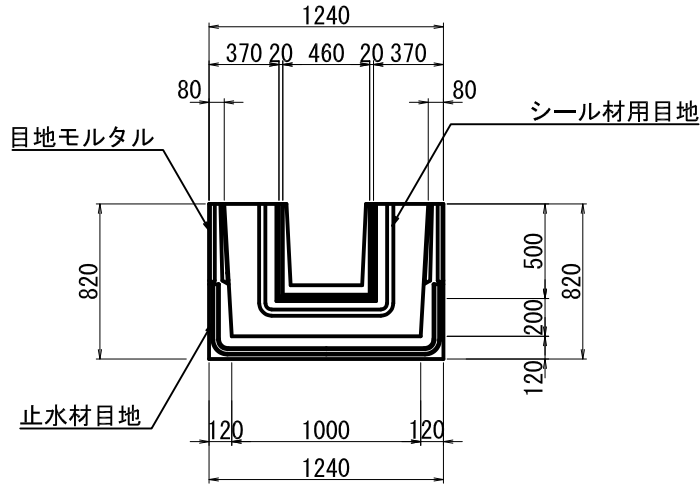
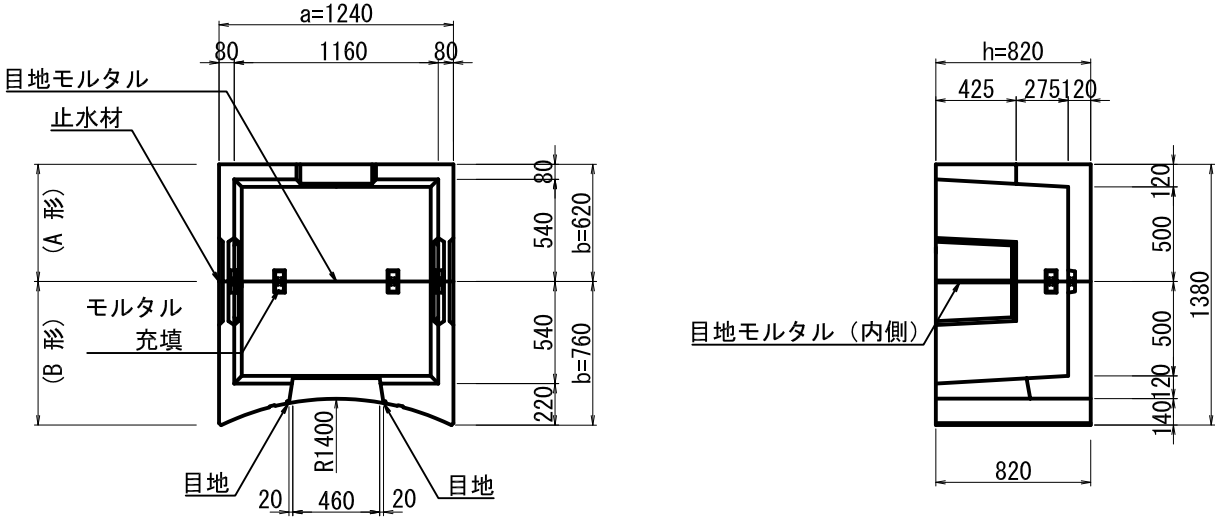


特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k=40N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295とする。
- ・セグメント方式の連結は、M22高力メッキボルト を使用する。

名称	円形落差工	標準設計番号	共－Ⅷ－5
		工種記号	砂－落差工

円形落差工用集水桝



参考質量 (kg)
1130

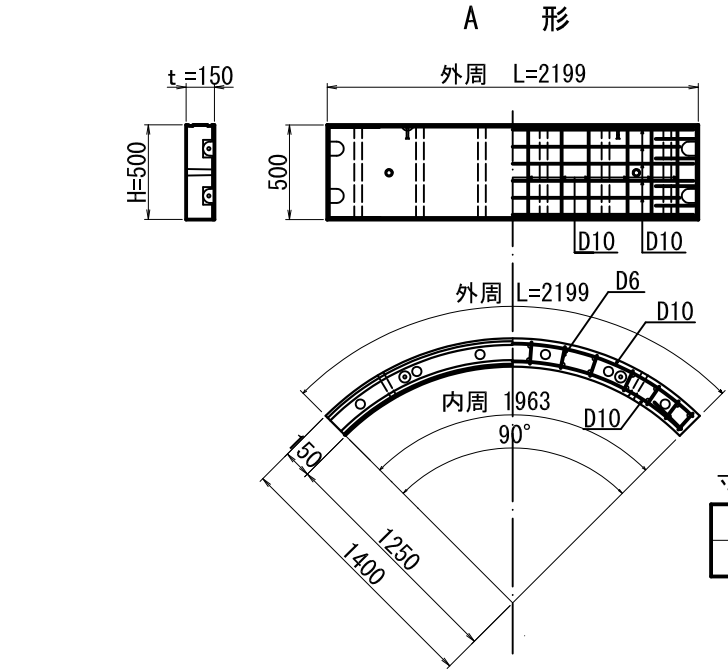
寸法許容差		
a	b	h
+3, -2	+3, -2	+3, -2

- 特記事項
- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
 - ・ $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 以上。
 - ・鉄筋は、SD295とする。
 - ・施工は、組立挿入鉄筋(D16)を挿入し、グラウトを充填する。
 - ・円形落差工本体と集水桝との連結は、ボルトを使用する。
 - ・基礎コンクリートは、現場打ちとする。

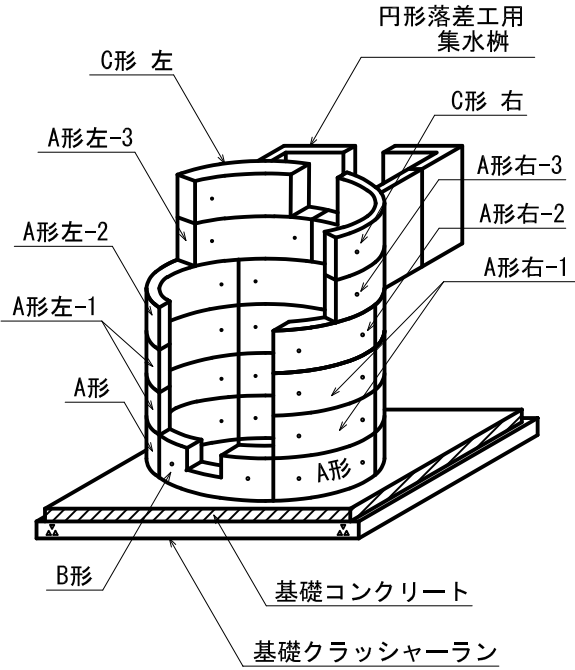
参考図表

参考数量						1基当り
項目 呼び名	基礎 寸法 (m)	基礎 厚さ (mm)	基礎材 厚さ (mm)	基礎材 余裕幅 (mm)	底張コン クリート厚さ (mm)	基礎 型枠面積 (m^2)
H = 2.0m	3.0×3.0	150	200	100	100	1.800
H = 2.5m						
H = 3.0m						

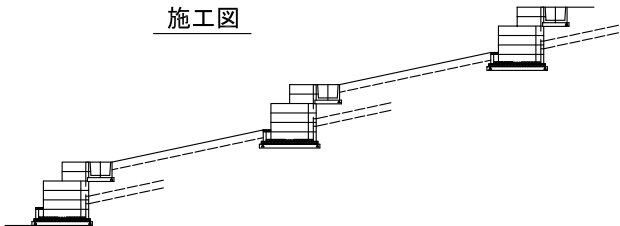
項目 呼び名	基礎コン クリート (m^3)	基礎材 (本体) (m^3)	基礎材 (集水桝) (m^3)	底張コン クリート (m^3)	垂直鉄筋	
					鉄筋径	鉄筋量 (kg)
H = 2.0m	1.350	2.048	0.404	0.491	D16 (SD345)	73
H = 2.5m						89
H = 3.0m						103



寸法許容差		
L	H	t
±5	±5	±5



施工図



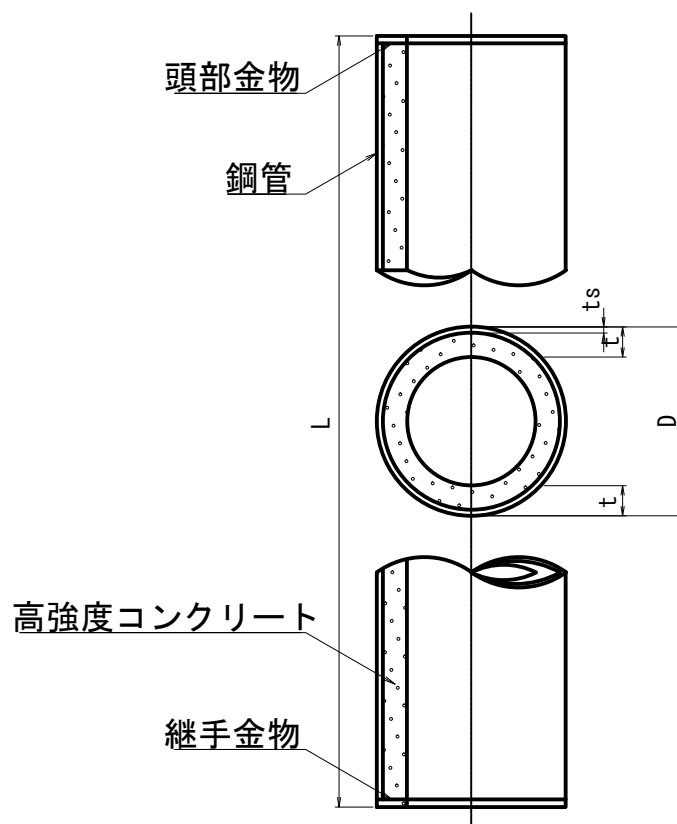
SCくい

標準設計番号

—

工種記号

—



呼び径 D (mm)	厚さ t (mm)	くい長さ L (m)	鋼管厚 ts (mm)	参考質量 (kg/m)
400	65	5～15	4.5～12	200～250
450	70	5～15	4.5～14	240～300
500	80	5～15	4.5～16	300～390
600	90	5～15	4.5～16	410～520
700	100	5～15	6～22	540～720
800	110	5～15	6～22	680～880

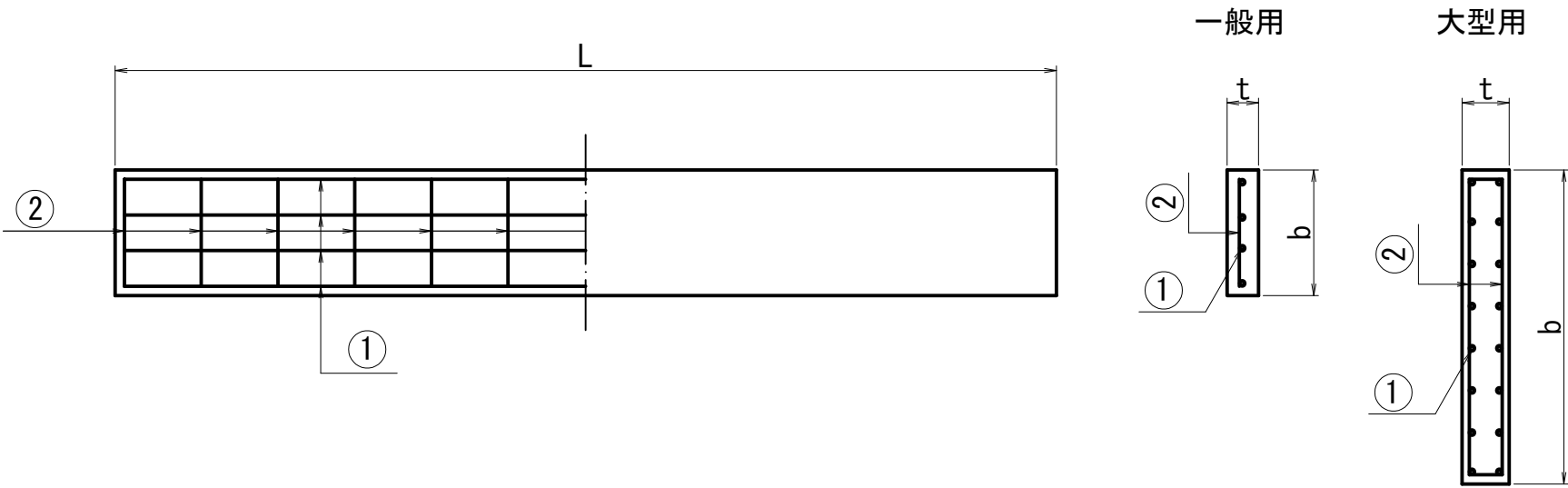
寸法の許容差 (mm)

区分	外径	厚さ	長さ
くい外径			
400～800	±0.5%	+規定せず, -0	+70, -30

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 80\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 金物は、SM400・490、鋼管はSKK400・490とする。

コンクリート基礎版	標準設計番号	－
	工種記号	－



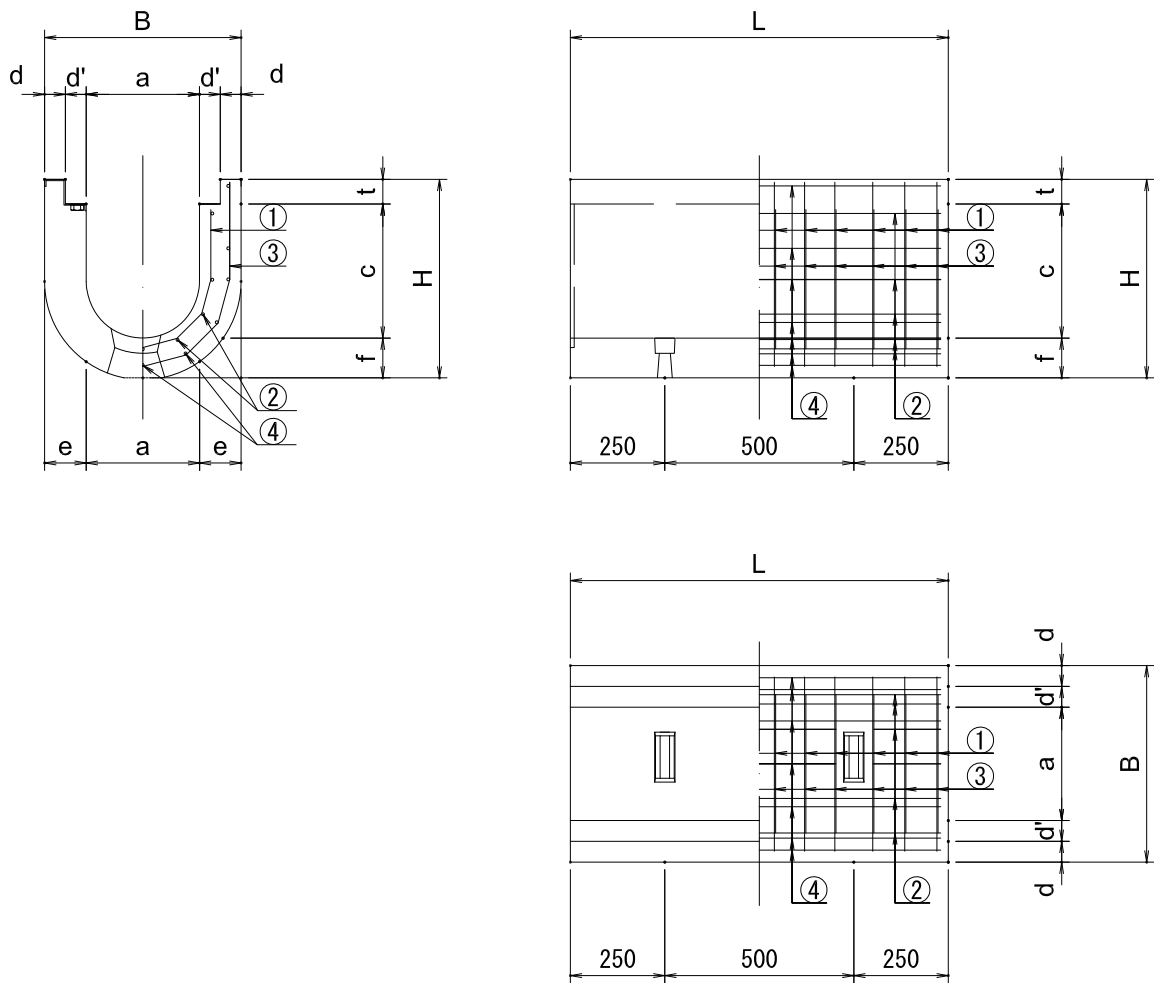
呼び名	寸 法 (mm)			鉄 筋				参考質量 (kg)
				①		②		
	b	t	L	径	本数	径	本数	
一般用	400	100	3100	D16	4	D10	13	298
大型用	1000 (2000)	150	3000	D13	16 (30)	D10	13	1120 (2250)
許容差	±5	+10, -5		—				—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295とする。

名 称	勾配対応型横断側溝	標準設計番号	――
		工種記号	――

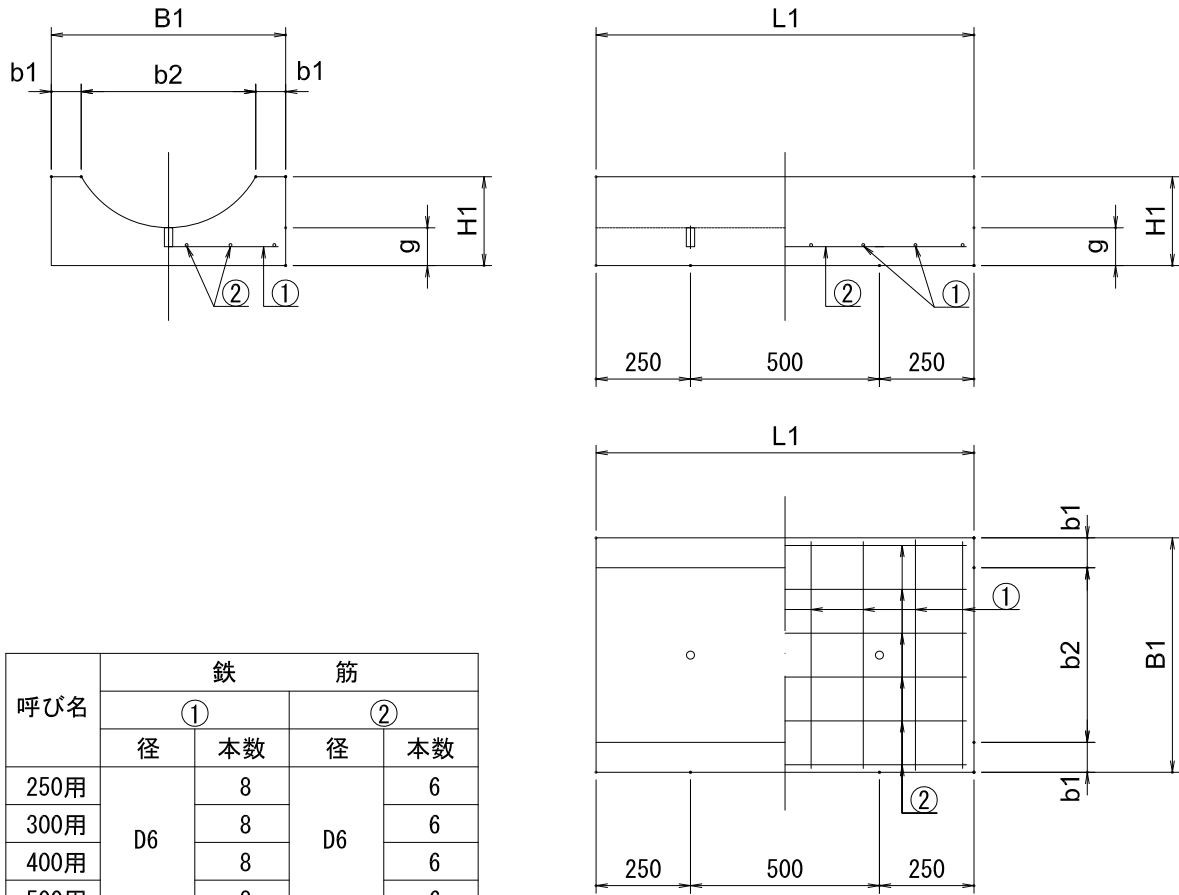
本 体



呼び名	寸 法 (mm)										参考質量 (kg)
	B	H	a	c	d	d'	e	f	t	L	
250A	460	455	250	295	50	55	105	100	60	1000 (500)	229 (115)
300A	520	525	300	355	55	55	110	105	65	1000 (500)	295 (148)
300B	520	625	300	455	55	55	110	105	65	1000 (500)	348 (174)
300C	520	725	300	555	55	55	110	105	65	1000 (500)	401 (201)
400A	630	650	400	460	60	55	115	110	80	1000 (500)	423 (212)
500A	750	785	500	580	70	55	125	120	85	1000 (500)	588 (294)
許容差	± 3									± 6	

呼び名	鉄 筋							
	内 側				外 側			
	①		②		③		④	
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数
250A	D6	10	φ 4	9	D6	10	φ 4	9
300A		12		9		12		11
300B	D10	8	φ 5	11	D10	8	φ 5	11
300C		10		11		10		11
400A		8		9		8		11
500A		10		11		10		11

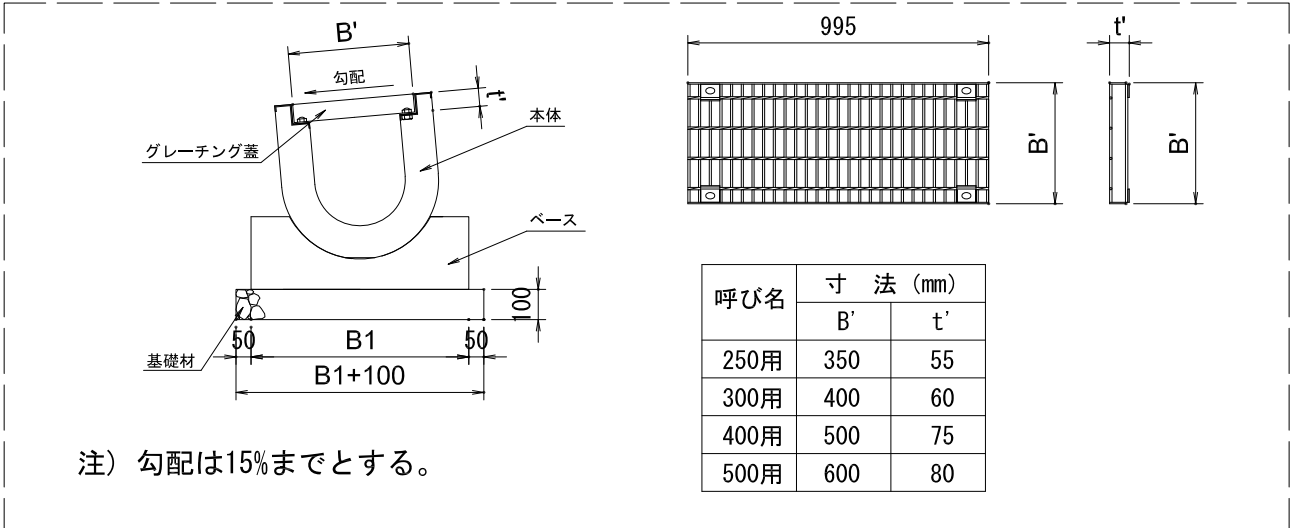
ベース



呼び名	鉄 筋			
	①		②	
	径	本数	径	本数
250用	D6	8	D6	6
300用		8		6
400用		8		6
500用		8		6

呼び名	寸 法 (mm)						参考質量 (kg)
	B1	b1	b2	H1	g	L1	
250用	560	78	404	215	100	1000 (1500)	212 (314)
300用	620	79	462	235	100	1000 (1500)	245 (368)
400用	730	88	554	260	100	1000 (1500)	304 (456)
500用	850	96	658	290	100	1000 (1500)	378 (567)
許容差	± 3					± 6	

参考図表

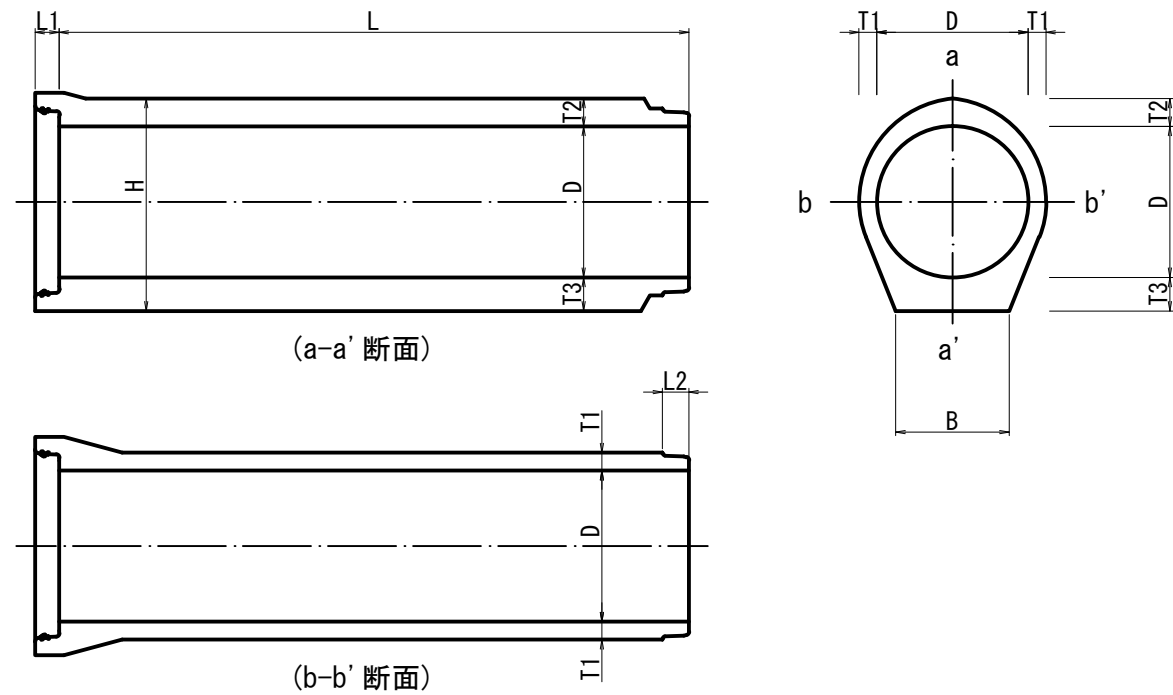


注) 勾配は15%までとする。

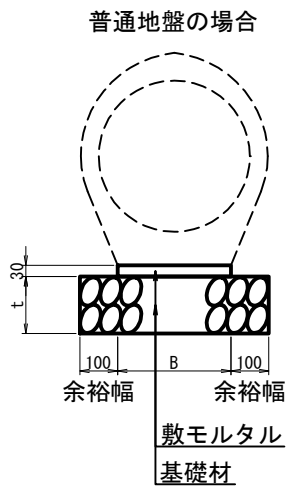
特記事項

- ・ $\sigma c k = 30N/mm^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。

名 称	台付鉄筋コンクリート管	標準設計番号	－
		工種記号	－



参考図表



継手形状 VP形 参考数量 延長1m当り			
項目 呼び名	敷 モルタル (m ³)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
VP-150	0.004	150	0.048
VP-200	0.005	150	0.054
VP-250	0.006	150	0.060
VP-300	0.007	150	0.066
VP-350	0.008	150	0.072
VP-400	0.010	150	0.078
VP-450	0.011	150	0.084
VP-500	0.012	150	0.090
VP-600	0.014	150	0.098
VP-700	0.015	150	0.105
VP-800	0.017	150	0.113
VP-900	0.018	150	0.120
VP-1000	0.020	200	0.170
VP-1100	0.021	200	0.180
VP-1200	0.023	200	0.192

継手形状 BZ形 参考数量 延長1m当り			
項目 呼び名	敷 モルタル (m ³)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m ³)
BZ-250	0.006	150	0.060
BZ-300	0.007	150	0.066
BZ-350	0.008	150	0.072
BZ-400	0.010	150	0.078
BZ-450	0.011	150	0.084
BZ-500	0.012	150	0.090
BZ-600	0.014	150	0.098
BZ-700	0.017	150	0.113
BZ-800	0.019	150	0.125
BZ-900	0.021	150	0.135
BZ-1000	0.023	200	0.196

・軟弱地盤の場合は、厚さ100mmの基礎材及び厚さ100mmの均しコンクリート(またはベース板)とする。

継手形状 VP形

項目 呼び名	寸 法 (mm)									参考質量 (kg)
	D	T1	T2	T3	H	B	L1	L2	L	
VP-150	150	33	48	60	258	120	60	69	1000	66
VP-200	200	38	59	73	332	160	70	76	1000	106
VP-250	250	45	70	84	404	200	69	74	2000	288
VP-300	300	50	69	86	455	240	95	99	2000	381
VP-350	350	54	72	91	513	280	95	101	2000	477
VP-400	400	58	74	98	572	320	95	101	2500	731
VP-450	450	62	96	105	651	360	95	105	2500	893
VP-500	500	65	101	114	715	400	95	105	2500	1,048
VP-600	600	71	110	125	835	450	95	105	2500	1,357
VP-700	700	77	119	136	955	500	110	120	2500	1,686
VP-800	800	83	129	149	1078	550	110	120	2500	2,075
VP-900	900	89	138	163	1201	600	126	136	2500	2,465
VP-1000	1000	95	147	176	1323	650	126	136	2500	2,977
VP-1100	1100	101	157	187	1444	700	126	136	2500	3,340
VP-1200	1200	107	166	200	1566	760	136	146	2500	3,880
許 容 差	日本下水道協会規格 JSWAS A-9 に準用する									－

- ・ VP台付管は継手部のシール材を施工時に管の差し口に装着する構造のもの。
- ・ φ150及びφ200は、日本下水道協会規格 JSWAS A-9の規格外。

継手形状 BZ形

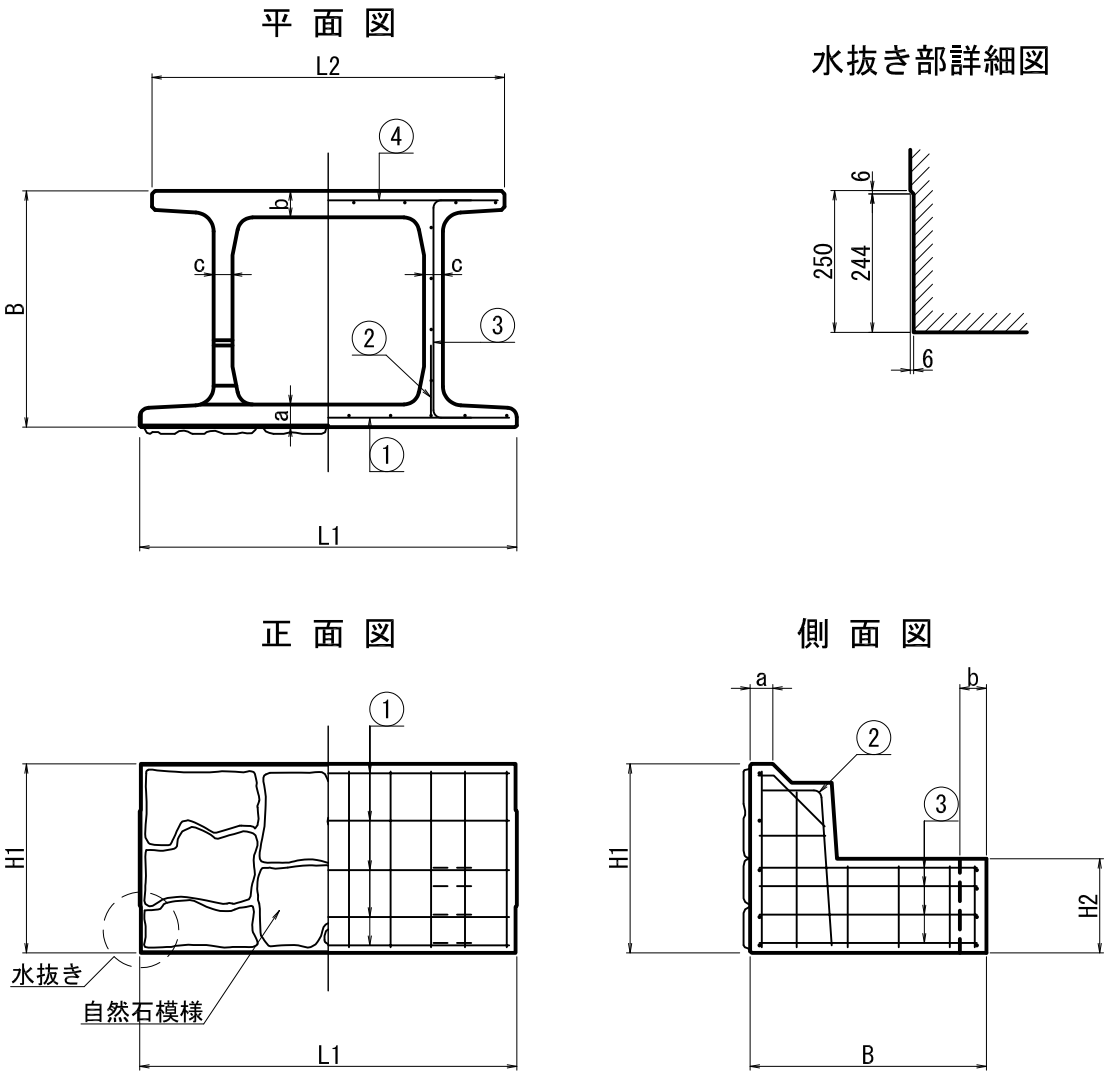
項目 呼び名	寸 法 (mm)									参考質量 (kg)
	D	T1	T2	T3	H	B	L1	L2	L	
BZ-250	250	45	70	90	410	200	95	99	2000	320
BZ-300	300	50	69	95	464	240	95	99	2000	390
BZ-350	350	54	72	100	522	280	95	101	2000	476
BZ-400	400	58	74	107	581	320	95	101	2500	720
BZ-450	450	62	96	114	660	360	95	105	2500	892
BZ-500	500	65	101	122	723	400	95	105	2500	1,048
BZ-600	600	71	110	133	843	450	95	105	2500	1,339
BZ-700	700	77	119	147	966	550	110	120	2500	1,731
BZ-800	800	83	129	161	1090	630	110	120	2500	2,149
BZ-900	900	89	138	174	1212	700	126	136	2500	2,603
BZ-1000	1000	95	147	188	1335	780	126	136	2500	3,129
許 容 差	日本下水道協会規格 JSWAS A-9 に準用する									－

- ・ BZ台付管は継手部のシール材が、管の受け口にあらかじめ埋め込まれている構造のもの。

特記事項

- ・ 詳細は、「管・函渠型側溝設計資料集（北陸土木コンクリート製品技術協会）」及び「日本下水道協会規格 JSWAS A-9 」による。
- ・ 施工用のアンカー等を設けるなど施工に配慮することができる。

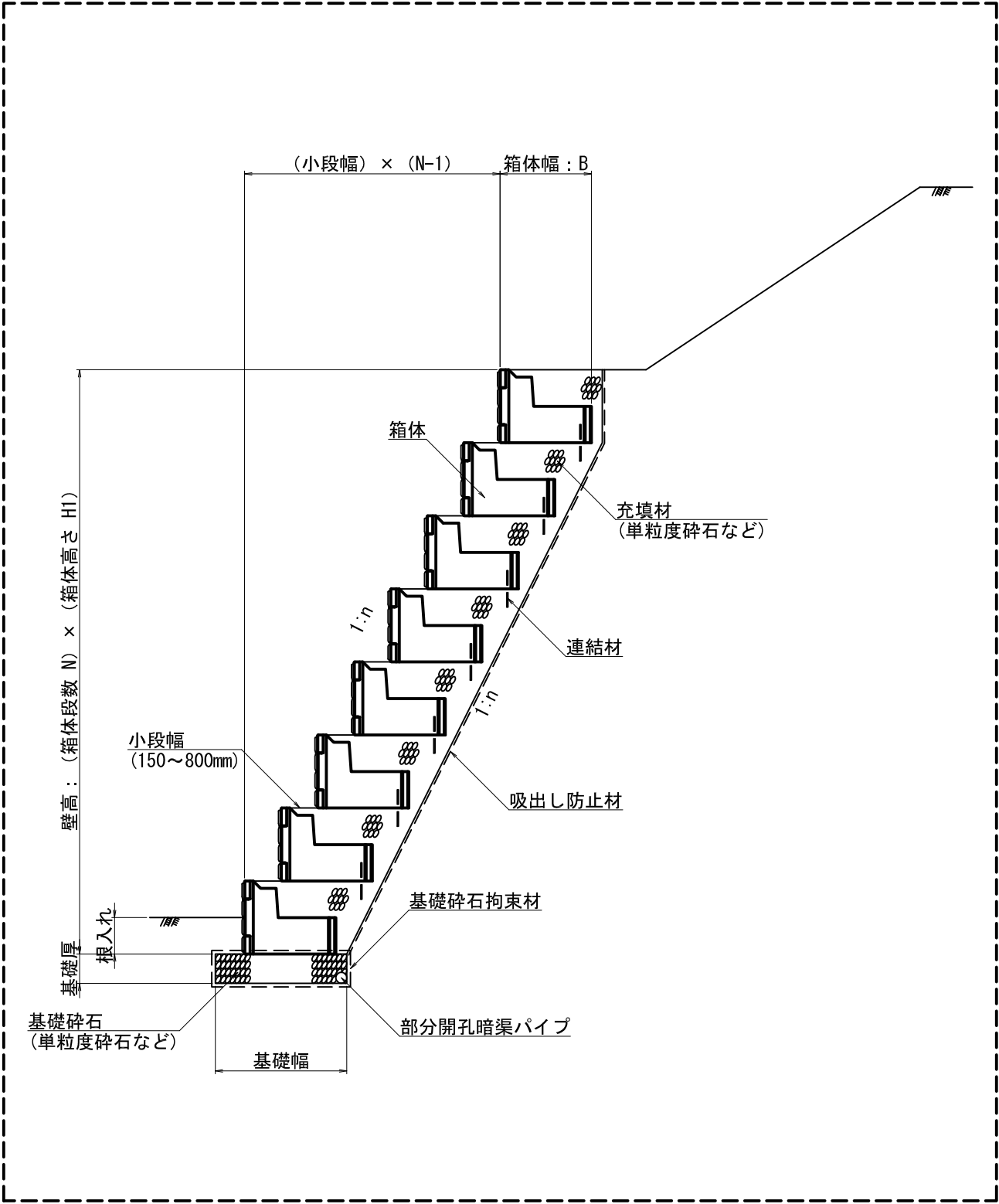
名 称	箱型擁壁	標準設計番号	ー
		工種記号	ー



呼び名	寸 法 (mm)								参考質量 (kg)
	H1	H2	B	L1	L2	a	b	c	
AL型	1000	498	1250	1995	1865	120	140	100	1304
BL型	1000	498	1250	1496	1262	120	120	100	1028
許容差	+10~-5				+5~-2				

呼び名	鉄 筋							
	①		②		③		④	
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数
AL型	D13	5	D13	2	D13	8	D13	4
BL型	D13	5	D13	2	D13	8	D13	4

参考図表

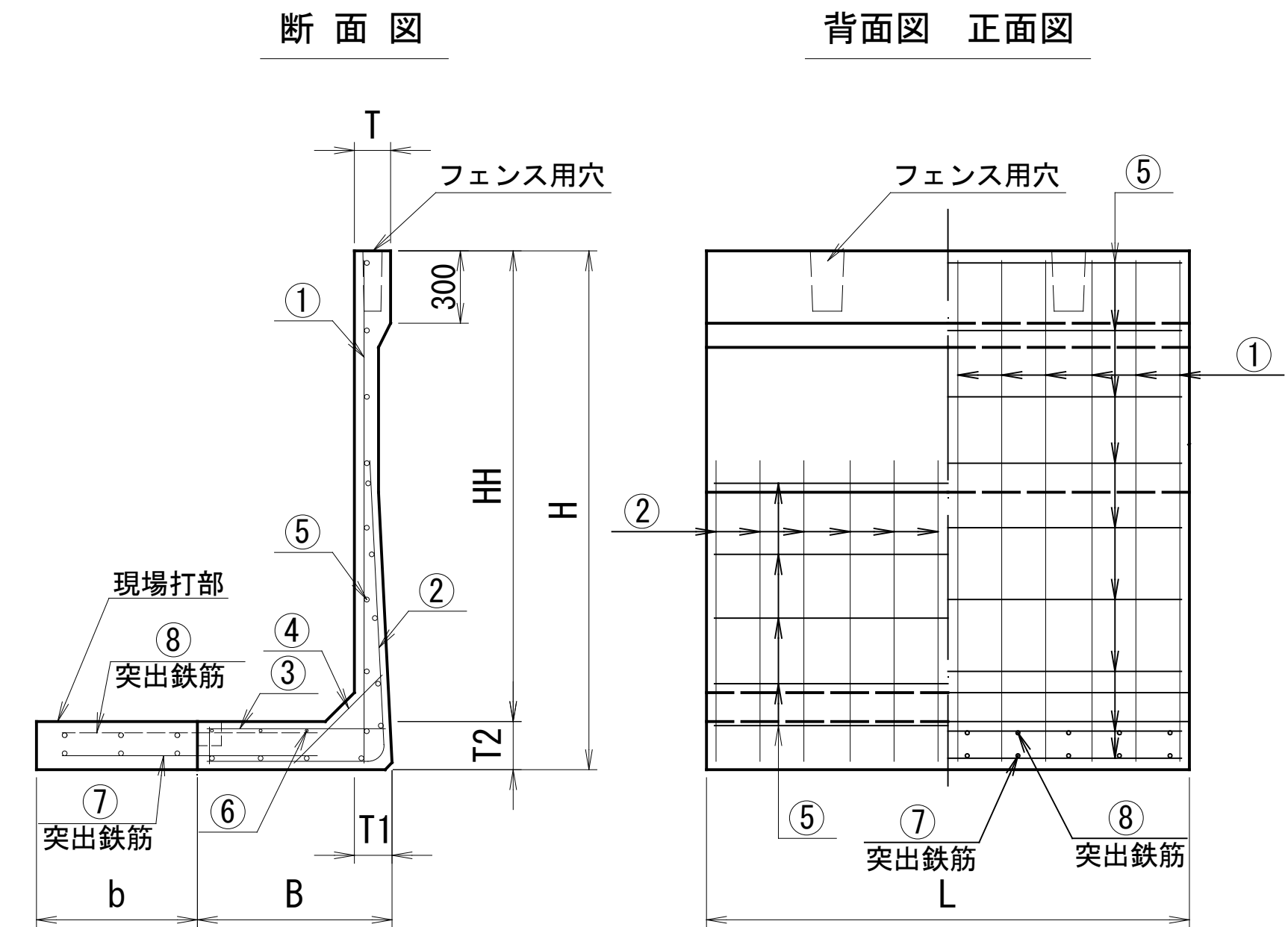


特記事項

- ・詳細は、「箱型擁壁工法 設計・施工マニュアル（一般財団法人 土木研究センター）」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 35\text{N/mm}^2$ 以上とする。
- ・鉄筋の種類は、SD295 及び SD345 とする。
- ・模様は、自然石模様のほかに陰影模様とすることができる。

名 称	貯水用L型ブロック	標準設計番号	－
		工種記号	－

I 型



呼び名	寸 法 (mm)									参考質量 (kg)
	H	HH	B	T	T1	T2	L	b		
								タイプA	タイプB	
1000	1100	1000	655	150	100	100	2000	500	500	840
1500	1630	1500	807	150	150	130	2000	550	600	1440
2000	2150	2000	808	150	150	150	2000	1000	1100	1790
2500	2700	2500	913	150	200	200	2000	1300	1500	2585
3000	3250	3000	1119	150	250	250	2000	1600	1800	3660
許容差	+10 -5		+5 -2				+10 -5	-		-

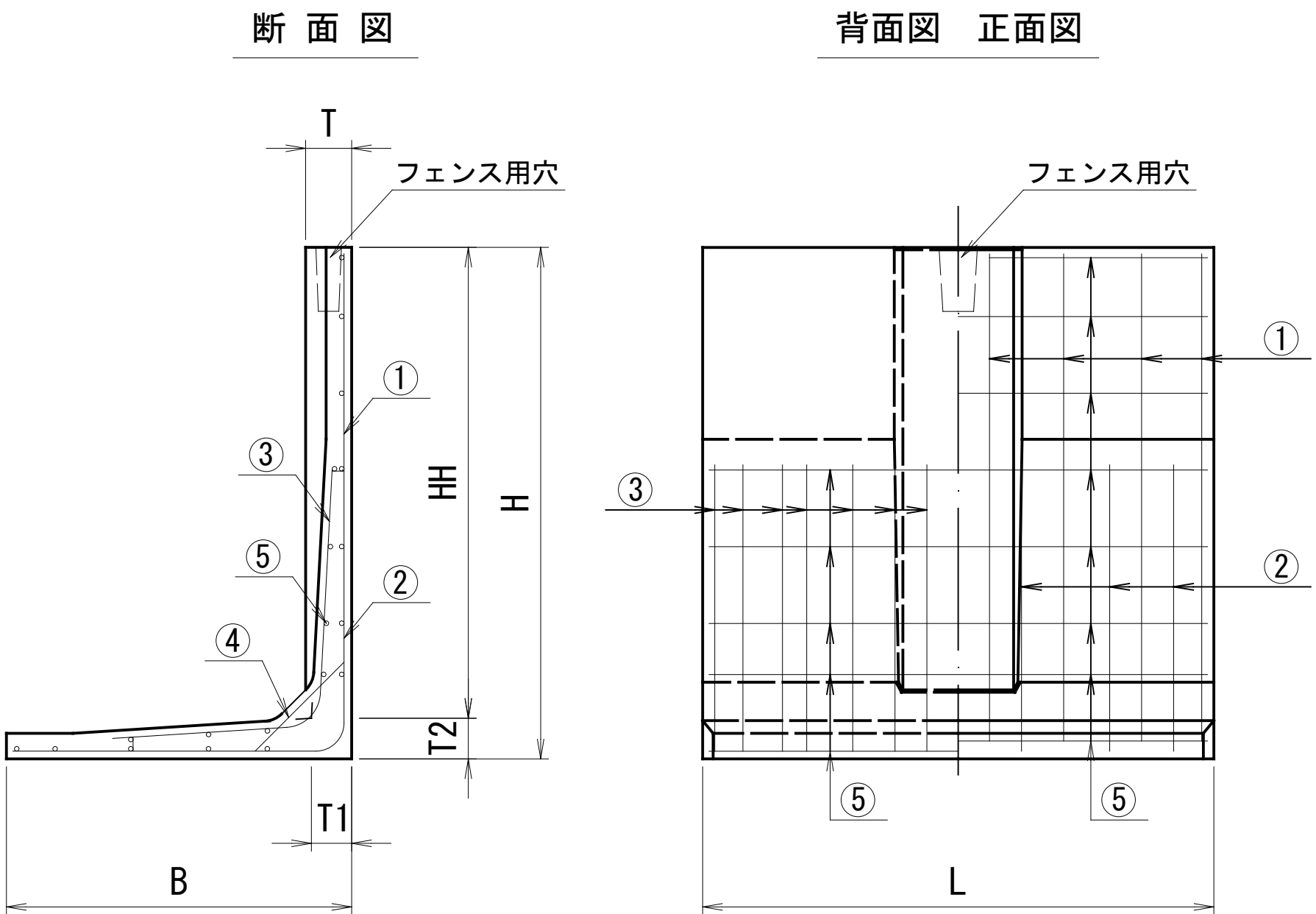
※) 通常条件では、b=タイプA。背面土が無い場合は、b=タイプBとする。
※) 突出鉄筋がダブル配筋の規格は、底版先端部に切欠が付く。

呼び名	鉄筋 (径－本数)								
	タイプ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1000	A, B	－	D10－ 8	－	D10－ 8	D 6－ 8	－	D13-10	－
1500	A, B	－	D13-10	－	D10－ 8	D 6-11	－	D13-12	－
2000	A	－	D16-12	－	D10－ 8	D10-12	－	D16-10	－
2000	B	D16-14	D16-12	D13－ 8	D10－ 8	D10-12	D 6－ 4	D16-14	－
2500	A	D13-12	D16-12	D10－ 8	D10－ 8	D10-20	D 6－ 3	D19-10	－
2500	B	D16-10	D16-12	D13-12	D10－ 8	D10-20	D 6－ 3	D19-10	D16-10
3000	A	D16-10	D16-14	D10－ 8	D10－ 8	D10-25	D 6－ 4	D19-12	－
3000	B	D16-12	D16-14	D16-12	D10－ 8	D10-29	－	D19-12	D16-12

※) 呼び名2000以下は、シングル鉄筋の配置である。
※) 底版現場打部の配力筋は、現場にて配置する。

参考図表

II 型

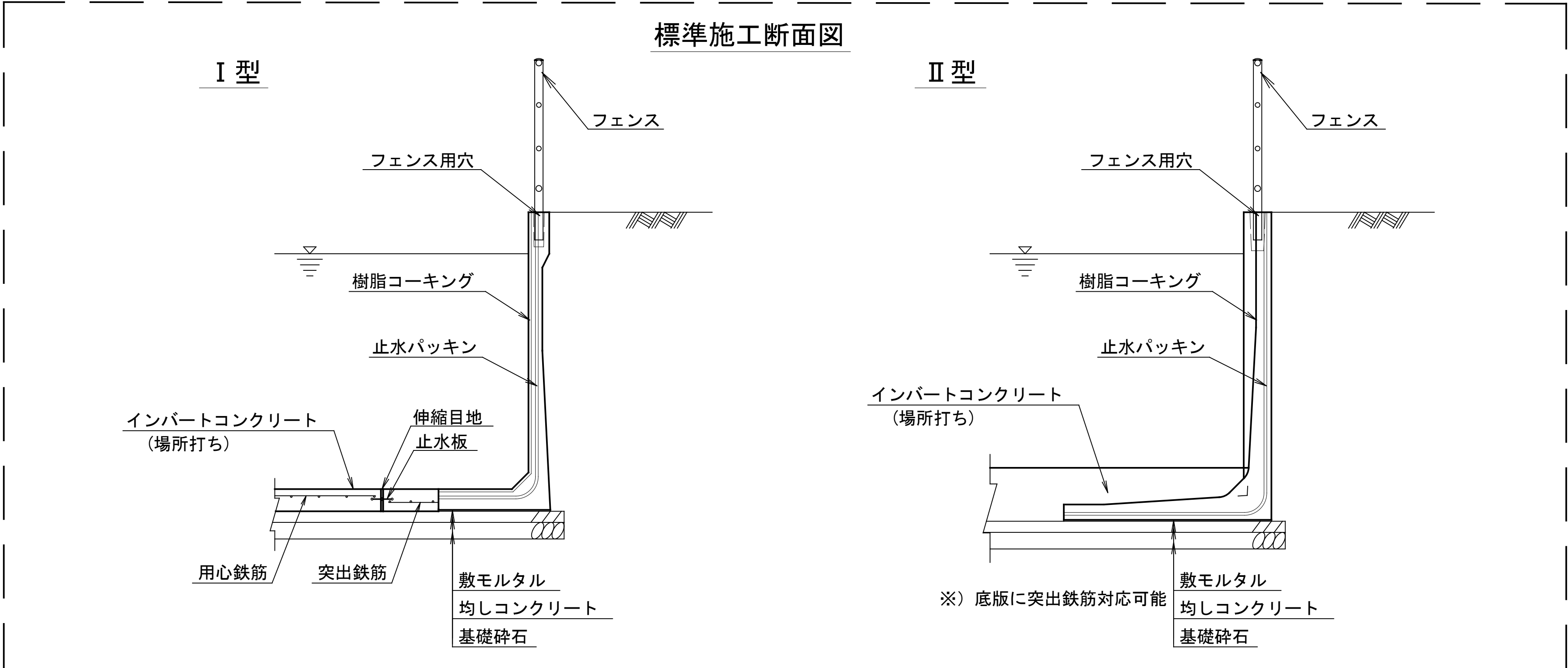


呼び名	寸 法 (mm)									参考質量 (kg)	
	H	HH	B	(B)	T	T1	T2	L		フェンス用穴有	フェンス用穴無
1000	1000	890	850	750	180	110	110	2000		940	830
1500	1500	1390	1100	1050	180	110	110	2000		1330	1200
2000	2000	1850	1350	1300	180	150	150	2000		1970	1840
2500	2500	2320	1600	1600	340	180	180	2000		2970	2560
3000	3000	2780	1850	1850	340	220	220	2000		3940	3490
許容差	+10 －5		+5 －2				+10 －5			－	－

※) (B)はフェンス用穴無の場合

呼び名	鉄筋 (径－本数)					
	タイプ	①	②	③	④	⑤
1000	フェンス用穴有	D10－ 8	D10－ 4	－	D10－ 8	D10－ 9
1000	フェンス用穴無	D10－ 8	D10－ 4	－	D10－ 8	D10－ 9
1500	フェンス用穴有	D10－ 8	D10－ 4	－	D10－ 8	D10-11
1500	フェンス用穴無	D10－ 8	D10－ 4	－	D10－ 8	D10-11
2000	フェンス用穴有	D13－ 8	D10－ 6	D10－ 8	D10－ 8	D10-19
2000	フェンス用穴無	D13－ 8	D10－ 6	D10－ 8	D10－ 8	D10-19
2500	フェンス用穴有	D16－ 6	D13－ 4	D13－ 8	D13－ 8	D10-23
2500	フェンス用穴無	D16－ 6	D13－ 4	D13－ 8	D13－ 8	D10-23
3000	フェンス用穴有	D16－ 8	D16－ 4	D13－ 8	D13－ 8	D10-29
3000	フェンス用穴無	D16－ 8	D16－ 4	D13－ 8	D13－ 8	D10-29

※) 呼び名1500以下は、シングル鉄筋の配置である。



特記事項

- ・ I 型は、 $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上。II 型は、 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 製品継手部は、止水パッキンおよび樹脂コーキングにて止水性を有する事。
- ・ 鉄筋は、SD295またはSD345とする。